

9. 生物調査の実施実績

令和4年度の東京湾環境一斉調査における生物調査では、干潟調査及びその他の調査が実施されました。調査参加機関のレポートに記載された参加状況を合算したところ、干潟調査（9-1）に、延べ50の小学校、これとは別に延べ160名が参加し、その他の調査（9-2）についても多くの機関によって調査が行われており、大勢の参加者によって生物調査が実施されました。

9-1 干潟調査

（1）干潟調査の概要

令和4年度は東京湾の三番瀬、葛西海浜公園等の干潟を対象として調査が実施されました。また、より多くの方に東京湾を身近に感じてもらうため、昨年度に引き続き干潟調査の一環として「カニ生息一斉調査」も実施されました。

（2）調査参加機関

令和4年度は、7団体から干潟調査の結果について報告があり（表9-1）、そのうちの2団体によりカニ生息一斉調査が実施されました。

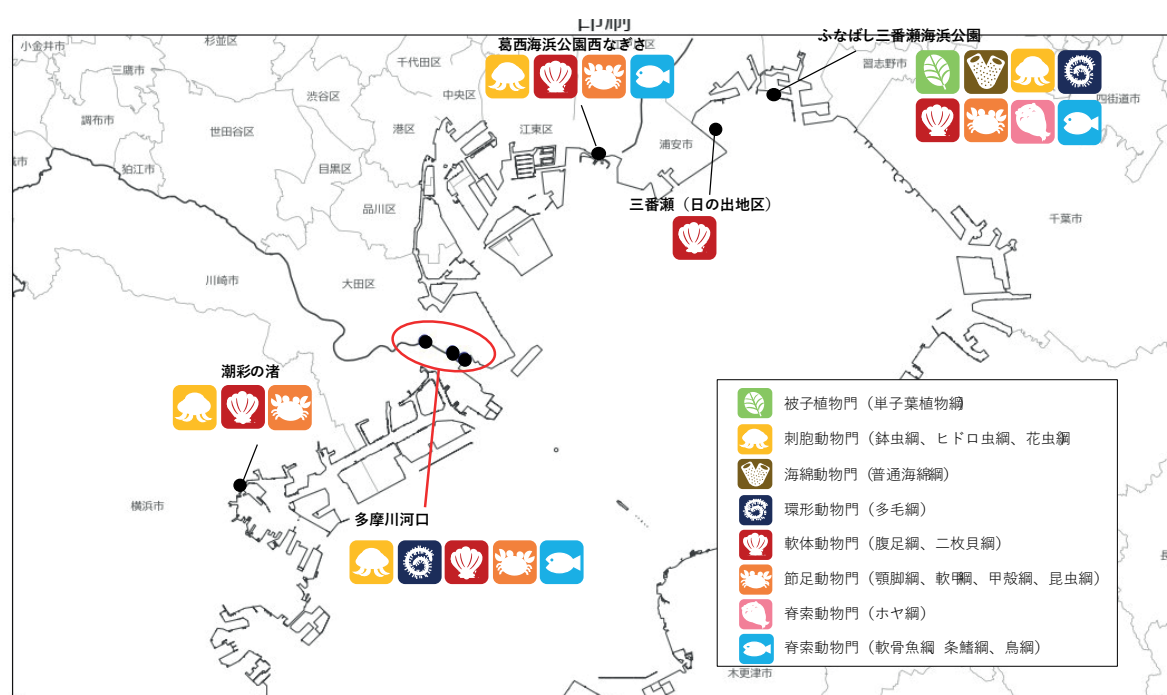
表9-1 干潟生物調査の実施実績（実施日順）

報告書 番号	実施機関	調査場所	実施日
①	ふなばし三番瀬環境学習館	ふなばし三番瀬海浜公園	5月24日 ～10月11日
②	大田区環境マイスターの会	多摩川河口大田区側	7月12日 7月15日 8月12日
③	横浜港湾空港技術調査事務所 江戸前アサリわくわく調査	横浜港湾空港技術調査事務所 「潮彩の渚」（人工干潟）	7月28日
④	浦安三番瀬を大切にする会	浦安市三番瀬（日の出地区）	7月30日
⑤	横浜港湾空港技術調査事務所 外来海洋生物観察会	横浜港湾空港技術調査事務所 「潮彩の渚」（人工干潟）	8月2日
⑥	NPO法人ふるさと東京を考える実行 委員会	葛西海浜公園西なぎさ	8月25日
⑦	江戸川区子ども未来館	葛西海浜公園 西なぎさ	8月27日 9月23日

(3) 干潟調査の結果

令和4年度の干潟調査は、7団体により5地点で実施されました（図9－1）。その結果、16綱125種（令和2年9綱49種、令和3年8綱35種）の生物の生息が確認されました（表9－2）。

さらに今回確認された生物種について、環境省レッドリスト2020（令和2年3月）及び環境省版海洋生物レッドリスト（平成29年3月）への掲載の有無を調べたところ、絶滅危惧Ⅱ類（VU）と評価される種が5種、準絶滅危惧（NT）と評価される種が6種含まれていることが確認できました。また、生態系被害防止外来種リスト（環境省及び農林水産省、2016）への掲載の有無について調べたところ、特定外来生物は含まれていなかったものの、総合対策外来種が9種含まれていることがわかりました。



出典：海洋状況表示システム(<https://www.msil.go.jp>)、国土地理院（GSI）

図9－1 干潟調査の実施地点と確認された生物種

表 9-2 干潟調査で確認された生物種

[illegible]

※環境省レッドリスト/海洋生物レッドリスト：評価カテゴリーは絶滅 (EX)、野生絶滅 (EW)、絶滅危惧 IA 類 (CR)、絶滅危惧 IB 類 (EN)、絶滅危惧 I 類 (CR+EN)、絶滅危惧 II 類 (VU)、準絶滅危惧 (NT)、情報不足 (DD)、絶滅のおそれのある地域個体群 (LP) の 8 つに分けられる。
絶滅危惧 II 類 (VU) は「絶滅の危険が増大している種」、準絶滅危惧 (NT) は「現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては『絶滅危惧』に移行する可能性のある種」と定義される。

※生態系被害防止外来種リスト：定着を予防する外来種（定着予防外来種）、総合的に対策が必要な外来種（総合対策外来種）、適切な管理が必要な産業上重要な外来種（産業管理外来種）の大きく 3 つに分類される。

表9-3 干潟調査で確認された生物種（過年度との比較）

関	科	種名		調査年		
		和名	学名	令和2年 (1団体1地点)	令和3年 (1団体1地点)	令和4年 (7団体5地点)
底生植物	アマモ	コアマモ	<i>Zostera japonica</i>			○
	イノカイテン	マツバカイテン	<i>Halodule wrightii (Halichondria) panicea</i>			○
	オキナワササ	アサナワササ	<i>Chrysora pacifica</i>		○	○
	ミズタカラ	ミズタカラ	<i>Aureella anura</i>	○	○	○
浮遊動物	ハナササナワササ	ハナササナワササ	<i>Otholoba fusus</i>	○		○
	タテジマノモンチャク	タテジマノモンチャク	<i>Haliphaella livida</i>			○
多毛	ゴカイ	ヤマトカワゴカイ	<i>Hediste diadroma</i>			○
		ゴゴカイ属の一種・未特定	<i>Hediste sp.</i>			○
	ハコゴカイ	-	-	○	○	○
	イソメ	イソメ	<i>Marpesia sanguinea</i>			○
	ナナナメ科	ナナナメ科	<i>Olympia tubicola</i>			○
	チロリ	-	-	○		○
	ミズヒキゴカイ	チロリ属の一種・未特定	<i>Glycera sp.</i>			○
	タマシキゴカイ	タマシキゴカイ	<i>Caprellia sentaculata</i>	○		○
	ニシキウスゴカイ	イボシウスゴカイ	<i>Arenicola brasiliensis</i>			○
	アサキゴカイ	アサキゴカイ	<i>Urechis caupo</i>	○		○
腹足	アサキゴカイ	アサキゴカイ	<i>Thais clausen</i>		○	○
	アサキゴカイ	アサキゴカイ	<i>Ranana venosa</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Bohlinia atramentaria</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Melanocharinus fulvipes</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Littorbia brevicula</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Assamulidius</i>	○		○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Acutellus acutellus</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Metellus pulcherrimus</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Perna viridis</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Venustolus venustus</i>			○
二枚貝	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Littoraria littoraria</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Solen strictus</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Littoraria littoraria</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Corbicula japonica</i>	○		○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Corbicula fluminea</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Tridacna striata</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Cyrtus cyrtus</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Meretrix meretrix</i>	○	○	○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Mytilus mytilus</i>	○	○	○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	○	○	○
明脚	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Natula natula</i>	○	○	○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Macoma cantabrigia</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Amphibalanus amphitrite</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Amphibalanus amphitrite</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Amphibalanus amphitrite</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Idia chinensis</i>	○	○	○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Idia chinensis</i>	○	○	○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Diogenes nitidulus</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
軟甲	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Diogenes nitidulus</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
甲殻	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
昆虫	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
海鞘	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
魚類	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
鳥類	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○
	タマシキワタ	タマシキワタ	<i>Chitonius chitonius</i>			○



キンセンガニ



コブヨコバサミ



アナジャコ



ヤマトオサガニ



マメコブシガニ



フジツボ



フナムシ



ミズクラゲ



アカクラゲ



サビシラトリ



タイワンシジミ



マテガイ



ムラサキイガイ



シオフキ稚貝



ソトオリガイ、ヤマトシジミ
アラムシロ

図 9 - 2 東京湾の干潟で確認された生物



ゴカイの仲間



マハゼ



ヒモハゼ



ウミネコ



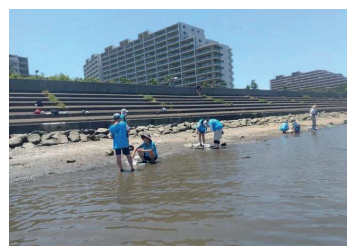
アオサギ



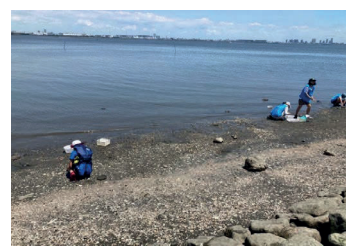
メダイチドリ



調査地点
(ふなばし三番瀬海浜公園)



調査地点周辺 (三番瀬)



調査地点周辺 (三番瀬)

図 9 - 2 東京湾の干潟で確認された生物

(4) カニ生息一斉調査について

令和4年度は2団体によりカニ生息一斉調査が実施されました（調査シートの例は図9-3）。なお、調査結果については干潟調査の結果（表9-2）に含まれています。



東京湾 カニ生息一斉調査 調査シート

(参加者用)

1. 調査情報

調査した日時	令和 年 月 日 時 分	調査した人	☐ 小学生未満 ☐ 小学生 ☐ 中学生 ☐ 高校生 ☐ 大人
天気 / 気温	☐ 晴れ ☐ くもり ☐ 雨 / ☐ 曇り ☐ 風速 (m/s)	調査した場所	
場所の様子	☐ 砂地 ☐ 泥地 ☐ ヨシ原 ☐ 林、草地 ☐ 奥水の浅瀬 ☐ 石ころ ☐ コンクリート ☐ カキの殻		

2. 観察された生き物

観察された生き物	発見数 (見つけたらチェック！)	見つけた場所の様子 カニの特徴 (大きさ、色など)
チチュウカイミドリガニ (P202, P203)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
マメコブシガニ (P105, P121)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
ケフサイソガニ (P102, P121)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
タカノケフサイソガニ (P102, P121)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
ハマガニ (P104, P122)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
アシハラガニ (P105, P122)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
アカデガニ (P105, P122)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
クロベンケイガニ (P106, P122)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
クシデガニ (P106, P122)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
ウモレベンケイガニ (P106, P122)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
イシガニ (P106, P122)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
コメツキガニ (P107, P122)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
チゴガニ (P107, P122)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
オサガニ (P107, P122)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
ヤマトオサガニ (P107, P122)	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	
種類がわからなかったカニ	☐ 1匹 ☐ 2匹 ☐ 3匹以上 (匹)	

種類がわからないときは、「干潟ベントスフィールド図鑑（日本国際湿地保全連合会）」が参考になるよ！（カニの観察のうしな、この図鑑のページが書いてあるよ！）

裏面のスケッチ欄も使ってみてね！



もし気に入ったカニがいたら、スケッチしてみよう！

カニの名前	
気に入ったポイント	

(ここに絵を書いてね)

※提出されたスケッチの一部は報告書「東京湾臨海一斉調査の結果」に掲載されます。

～・・・ご参加されたカニ生息一斉調査についてアンケートにご協力ください～・・・

ご参加者のご年齢	☐ 19歳以下 ☐ 20～29歳 ☐ 30～39歳 ☐ 40～49歳 ☐ 50～59歳 ☐ 60歳以上
お住まいの地域	☐ 東京都 ☐ 埼玉県 ☐ 千葉県 ☐ 神奈川県 ☐ その他()
ご参加のきっかけ (複数回答可)	☐ ホームページ ☐ 知人 ☐ 雑誌・チラシ ☐ SNS ☐ その他()
今回のカニ一斉調査の満足度	☐ 大変よかった ☐ ややよかった ☐ 普通 ☐ ややよくなかった ☐ よくなかった
その他、ご意見・ご感想、改善点などお聞かせください	

図9-3 カニ生息一斉調査の調査シート

(5) 各調査のレポート

各調査のレポートを紹介します。

干潟調査のレポート①

主催団体名	調査地点・海域	調査時期
ふなばし三番瀬環境学習館	ふなばし三番瀬海浜公園	5月24日～10月11日

調査情報		
団体名	ふなばし三番瀬環境学習館	
調査地点名	ふなばし三番瀬海浜公園	
位置座標 (可能であれば) ※スマートフォン・タブレット端末 等の地図アプリで取得してくださ い。	緯度	35.67023517
	経度	139.9711118
実施年月日	2022.8.14	
参加人数(人)	32人	

調査結果			
種類名	発見数(匹)	代表的な発見場所	
チチュウカイミドリガニ			
マメコブシガニ	9	潮だまり	
ケフサイソガニ			
タカノケフサイソガニ	28	堤防	
ハマガニ			
アシハラガニ			
アカテガニ			
クロベンケイガニ			
クシテガニ			
ウモレベンケイガニ			
イシガニ			
コメツキガニ	173	干潟	
チゴガニ			
オサガニ	5	潮だまり付近	
ヤマトオサガニ			
種類不明のカニ			
イソガニ	3	堤防	
ガザミ	3		
カクベンケイガニ	1		

備考
一般参加型のイベントとして実施。13:00-15:00の二時間。 スタッフがいくつかのポイントを選び、その周辺で参加者が探す形式で行った。 参加者の多くは生きもの探しに不慣れな家族。 干潟ではスコップを使用、堤防では手づかみで採集。 参加者内訳: スタッフ2人 一般参加30人(大人:14人、小学生11人、未就学児5人)

干潟調査の結果

団体名	ふなばし三番瀬環境学習館	
調査地点名	ふなばし三番瀬海浜公園	
位置座標 (可能であれば)	緯度	35.6702351728281
	経度	139.97111183644
実施年月日	2022. 5. 24-2022. 10. 11	
参加人数 (人)	期間中に来館した小学校 (50 校) の校外学習での採集。地点は同一。	

発見した生物の種名※	特記事項など
節足動物門	
コメツキガニ	全ての学校で採集された
オサガニ	潮だまりの際で採集された
マメコブシガニ	
イソガニ	採集地点から離れた、堤防や杭などでは多くみられる
タカノケフサイソガニ	採集地点から離れた、堤防や杭などでは多くみられる
チチュウカイミドリガニ	
ガザミ	
オオシロピンノ	貝から出ているものが 1 個体採集された
チゴガニ	採集地点から離れた地点では少数がみられる
キンセンガニ	2 個体採集
クルマエビ	
アナジャコ	潮だまりを歩いていたものが採集された
ニホンスナモグリ	50 校中 46 校で採集された
ユビナガホンヤドカリ	全ての学校で採集された
テナガツノヤドカリ	ユビナガホンヤドカリに混じって少数が採集された
コブヨコバサミ	1 個体採集
スナホリムシ科の一種	未同定
アメリカフジツボ	
タテジマフジツボ	
軟体動物門	
アサリ	
マテガイ	

マガキ	採集地点から離れた地点ではカキ礁が確認されている
タイワンシジミ	1 個体採集
シオフキ	
ソトオリガイ	
オキシジミ	
サビシラトリ	
ハマグリ属の一種	未同定
アラムシロ	
ホソウミナナ	1 個体採集。採集地点から離れた地点では多くみられる
イボニシ	
ヤミヨキセワタ	6 月に多く採集された
脊索動物門	
シロボヤ	
アカエイ	
ボラ	
サッパ	
マハゼ	
ヒモハゼ	
チクゼンハゼ	
環形動物門	
チロリ属の一種	未同定
タマシキゴカイ	
イワムシ	
スゴカイイソメ	
カワゴカイ属の一種	未同定
その他の動物門	
ナミイソカイメン	
タテジマイソギンチャク	
ミズクラゲ	
植物	
コアマモ	

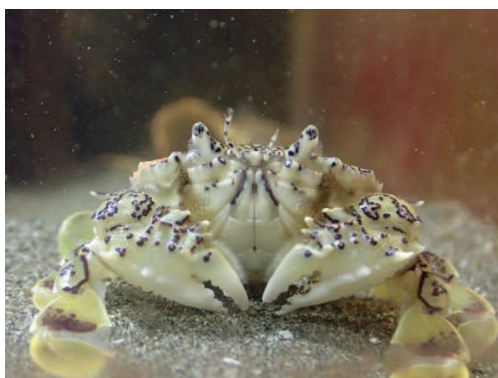
【調査方法】

校外学習で当館を訪れた小学生に対して、グループに 1 本スコップを配布し生きものの探しを実施。学級に 1 人スタッフが付き、その場で生きものを同定して学級ごとに紹介した。

【調査結果概要】



調査地点



採集されたキンセンガニ



採集されたコブヨコバサミ



採集されたアナジャコ



採集されたサビシラトリ



採集されたタイワンシジミ



確認されたコアマモ

干潟調査のレポート②

主催団体名	調査地点・海域	調査時期
大田区環境マイスターの会	多摩川河口大田区側	7月12日、7月15日、8月12日

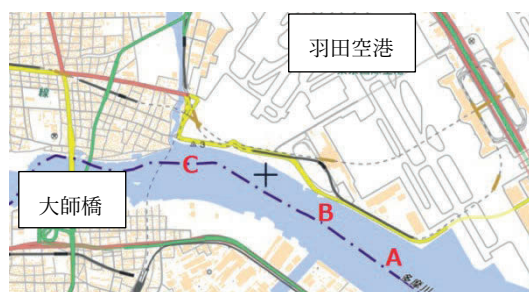
〔Ⅰ〕 調査概要

1. 実施者
大田区環境マイスターの会
2. 調査場所
多摩川河口大田区側
3. 調査目的
2017年より実施してきた同生息実態の調査を継続し、生態系の変化を確認すると共に、多摩川河口の干潟の環境保全に役立てる。
4. 調査内容
 - ① 底層の生物調査
 - ② 上記調査地点周辺の生物調査
 - ③ 周辺の鳥類調査
 - ④ 調査地点の底層調査
5. 調査対象生物
・貝類および節足動物類および鳥類

〔Ⅱ〕 底層の生物調査方法

1. 調査地点
2017年の調査開始以降多摩川の0kmポイント（B）を中心に、海側約800m（A）と上流約1km（C）を基本サンプル採取地点として調査を実施。今回は潮の関係で一部の地点で未実施。

〔図－1〕 調査地点の地図



[表－1] サンプル採取地点の場所

サンプル採取地点		場所	
A	1	河口先端域	陸側
	2		中間部
	3		川側
B	1	多摩川 0km ポイント	陸側
	2		川側
C	1	0km ポイントから上流側に約 1km離れた海老取り川との合流地点	陸側
	2		川側

2. サンプル採取方法

各採取地点の干潟で 25cm 四方、深さ 10cm の土壌を採取。約 1mm メッシュの袋にこの土壌を入れ、流水にて土砂を洗浄除去し、残渣中にいる生物を確認した。

また、土壌採取後湧き出た水を採取し、水温、pH および塩分濃度を測定した。

3. 計測機器

- 1) pH：東亜 DKK (HM-30p) ポータブル pH 計 測定範囲 pH 1~12
- 2) 塩分濃度：Dretec (EN904) 防水塩分計 測定範囲 0.1~5.0%
- 3) 位置：Garmin (ガーミン) 登山用 GPS
- 4) 温度：横河電気製温度計 Model2455/石原温度計製作所製 No. 7 赤液棒状温度計

[Ⅲ] 底層の生物調査結果

1. 調査実施時期

[表－2] 調査地点と実施時期

調査地点	調査実施日	
	調査日・時間	干潮時間（潮位）
A	7 月 12 日 (火) AM10:00~12:00	AM10:15 3cm
B	7 月 15 日 (金) AM11:00~13:00	PM 0:28 -7cm
C	8 月 12 日 (金) AM11:00~13:00	AM11:37 1cm

2. 調査地点の位置

[表－3] 調査地点の測位

地点	サンプル 採取地点	S	
		北緯	東経
A	1	N35° 32.213′	E139° 46.713′
	2	N35° 32.207′	E139° 46.703′
	3	N35° 32.201′	E139° 46.688′
B	1	N35° 32.410′	E139° 46.272′
	2	N35° 32.401′	E139° 46.261′
C	1	N35° 32.740′	E139° 45.237′
	2	N35° 37.730′	E139° 45.237′

3. 調査地点の水質

[表－4] 調査地点の水質

地点		調査項目			
		気温 (℃)	水温 (℃)	pH	塩分濃度 (%)
A	1	30.0	28.0	7.13	2.3
	2		28.0	6.98	2.2
	3		28.0	7.23	2.3
	河川水		30.0	6.97	2.3
B	1	30.0	27.0	6.64	1.9
	2		28.0	6.65	2.0
	河川水		28.0	6.94	1.7
C	1	31.0	27.0	6.96	2.0
	2		27.0	6.84	2.0
	河川水		27.0	7.12	1.3

4. 確認生物

生物の写真は[別紙 1 生物の写真]参照

4-1) サンプル採取で確認した貝の種類別個体数

① アサリ (単位: mm)

[表-5] アサリの大きさ別個体数

大きさ (mm)	A1	A2	A3	B1	B2	C1	C2	計
0～5	0	2	0	0	0	0	0	2
6～10	0	0	0	0	0	0	0	0
10mm 以上	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	2	0	0	0	0	0	2

② ヤマトシジミ (単位: mm)

【表-6】 ヤマトシジミの大きさ別個体数

大きさ (mm)	A1	A2	A3	B1	B2	C1	C2	計
0～5	0	0	0	1	0	0	0	1
6～10	0	0	0	0	0	0	0	0
10mm 以上	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	1	0	0	0	2

4-2) 採取底層中のその他の生物と周辺生物

[表-8] 採取底層中のその他生物と周辺生物

A	シオフキ 5mm*	イトコカイ類	アラムシロガイ	ニホンスナモクリ	オキシジミ
	ヤマトカリコカイ	アラムシロガイ	ソトリガイ	ハナカサクラゲ	コメツキカニ
B	フシツボ	アラムシロガイ	コカイ類	ミスクラゲ	オサカニ
	ヤマトオサカニ	ムロミサウミナナシ			
C	ヤマトカリコカイ	イトコカイ類	ムロミサウミナナシ	オキシジミ	

* : 採取底層中にいた生物

4—3) 周辺の鳥類

[表－9] 周辺の鳥類

(注)A、B 地点周辺の左岸河川区域において観察された鳥類。

種名、羽数、観察された行動とその環境を記録

調査方法：8 倍または 10 倍の双眼鏡使用。

①A・B 地点 7/12 調査 14 種記録

	種類	数	行動	環境
1	カルガモ	1	採餌/休息	水面/湿地
2	カワラバト（ドバト）	3	飛翔	湿地
3	カワウ	3	採餌/休息	水面/湿地
4	アオサギ	1	採餌/休息	湿地/水際
5	ダイダギ	1	採餌/休息	湿地/水際
6	コサギ	2	採餌/休息	湿地/水際
7	メダイチドリ	9	飛翔/採餌	湿地/草地
8	ウミネコ	15+	採餌/休息	水面/湿地
9	コアジサシ	1	飛翔/採餌	水面
10	ハシブトガラス	1	飛翔	裸地
11	ツバメ	1	飛翔	水面/草地
12	セッカ	1	飛翔/囀り	草地
13	スズメ	2	飛翔/採餌	草地/構造物
14	カワラヒワ	2	飛翔/採餌	草地/裸地

【特記】

- ・ウミネコは成鳥および1年目、2年目の若鳥がいた。
- ・メダイチドリは夏羽から冬羽に換羽中。9羽であちこち飛びまわり採食していた。

②A・B地点 7/29 調査 13 種を記録。

	種類	数	行動	環境
1	ドバト (カワラバト)	1	飛翔	湿地/川面
2	カワウ	10+	飛翔	水際/水面
3	アオサギ	4+	採餌/休息	湿地/水際
4	ダイサギ	4+	採餌/休息	湿地/水際
5	コサギ	4+	採餌/休息	湿地/水際
6	メダイチドリ	2	採餌	湿地
7	キアシシギ	7	飛翔/採餌	湿地/岩場/水際
8	ウミネコ	15+	採餌/休息	水面/湿地/水際
9	ハシブトガラス	1	採餌	湿地
10	ツバメ	2	飛翔	水面/草地
11	セッカ	1	飛翔/囀り	草地
12	スズメ	2	飛翔/採餌	草地/構造物
13	カワラヒワ	2	飛翔/採餌	草地/裸地

【特記】

- ・ウミネコは成鳥および1年目、2年目の若鳥がいた。
- ・メダイチドリは夏羽から冬羽に換羽中。湿地で採食していた。
- ・キアシシギは、7羽で河沿いに飛び回り、湿地や岩場で採食していた。

【IV】底層調査

(ア) 底質調査

- ① 目的：2019年の台風19号により底質が泥質化したため、底層（約20cm）の底質調査を実施し、底質がどのように変化しているかを確認する。
- ② 調査方法：表層から約20cm下まで管を挿入、底層をサンプリングして底質の変化を確認する。

【管の中の底層サンプル】



- ③ 結果：A地点およびC地点周辺で調査を実施したが、昨年同様表層から20cm程度の深さまですべて砂質となっていた。2020年の底質調査結果と比較する大きく異なっており、環境改善が進んでいると推定される。

【表-9】 2022 年の底質調査結果

調査地点	A			B		C	
	1	2	3	1	2	1	2
底質	砂質	砂質	砂質	砂質	砂質	砂質	砂質

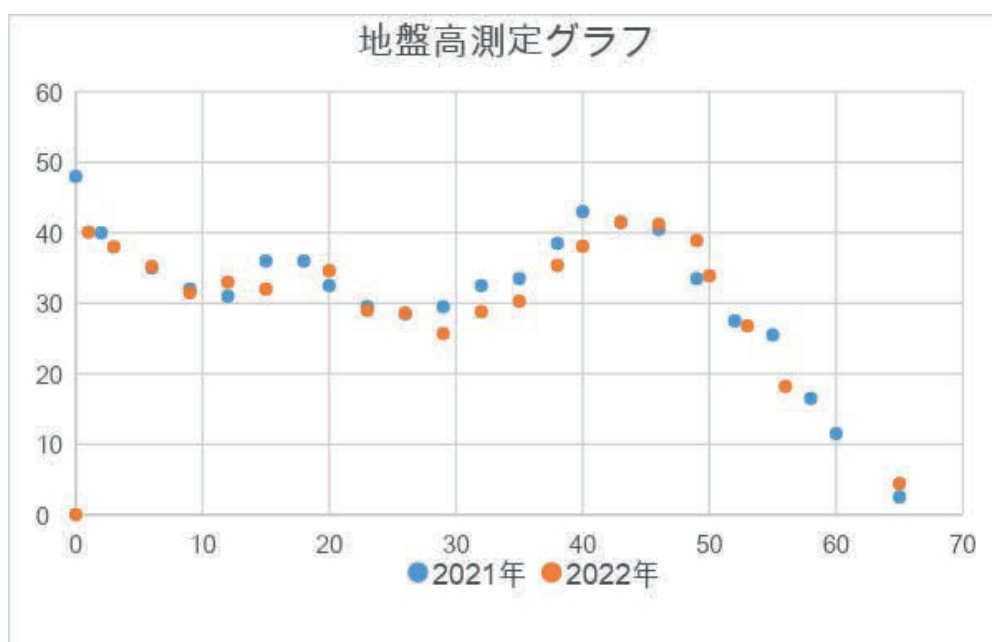
【参考】 2020 年底質調査結果

調査地点	表層からの深さ		
	10cm		20cm
地点① 陸側から約 10m 地点	砂層		泥層
地点② ①と③中間地点	砂層	泥層	砂層
地点③ 川側	砂層	泥層	砂層

約 10cm 深いところに泥層があり、泥沼状態の底層が多かった

2. A 地点の地盤高調査（詳細は[別紙 2] A 地点の地盤高調査報告参照）

- ・ 目的：2020 年（2019 年台風 19 号被害以降）から底質調査と合わせて地盤高を調査し地盤の変化を確認する。
- ・ 調査方法：別紙参照
- ・ 結果：①昨年同様砂に置き換り安定した地盤となっている。
②昨年は台風直後の 2020 年に比べ平均で 6.3cm 高くなっていたのに対し、今年は逆に 1.3 cm 程度沈下しており、上流からの砂泥の供給が減っていると思われる。

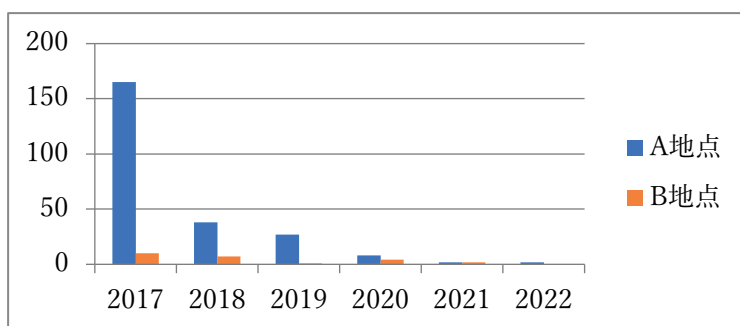


[VI] 考察

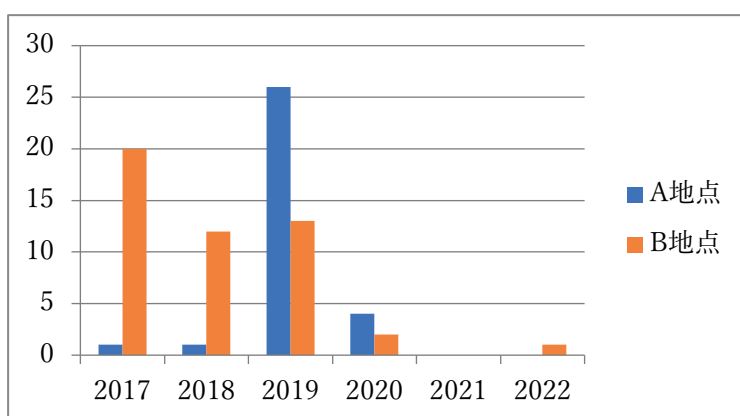
1. 貝類の個体数が大幅に減少

調査を開始した2017年以降減少傾向が続いている。要因として2019年台風による底層の泥質化、さらには川崎との連絡橋工事や護岸工事の影響で干潟の様相も一変したことなどが考えられるが、現在は底層の砂層化が進み工事も終了したことから来年以降に期待したい。

【図-1】アサリの年別採取個体数



【図-2】ヤマトシジミの年別採取個体数



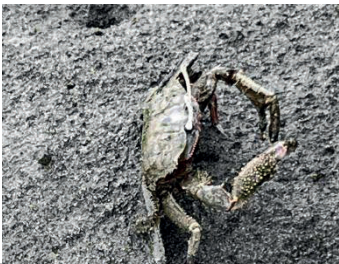
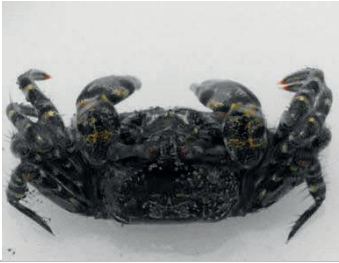
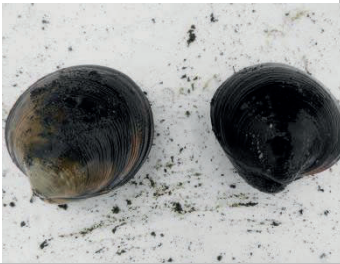
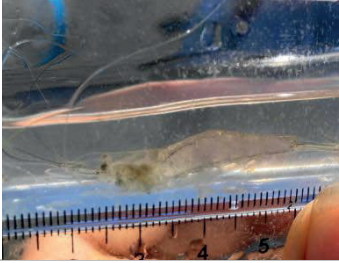
このほか昨年も堤防の石に生息していたカキやフジツボなどがかなり減少したが、工事がさらに進んだことからほぼ全滅状態になっていた。――詳細は[別紙3 護岸工事前後の干潟の変化]参照

2. 他の生物も生息場所が変化し、個体数も減っている

貝以外にもカニなど多様な生物が生息していたが、上記工事の影響で全体的に生息数が減っていた。逆に、干潮時堤防の石積の先に水路ができ、ハゼなどの小魚が多く生息おり、魚の生育の場として期待できる。

以上

追記) 調査にご協力いただきました古川先生に感謝いたします。

		
ヤマトオサガニ	ヤマトオサガニ	ヤマトオサガニ
		
マメコブシガニ	マメコブシガニ	コメツキガニ
		
ソトオリガイ、ヤマトシジミ、アラムシ ロ	マテガイ	シオフキ稚貝
		
オキシジミ	ムラサキイガイ	フジツボ
		
アナジャコ取りの戦果	ニホンスナモグリ	スジエビ

2022 年東京湾環境一斉調査多摩川河口大田区側干潟生物調査結果

[別紙 1] 生物の写真 1

		
ヤマトカワゴカイ	ヤマトカワゴカイとソトオリガイ	ゴカイの仲間
		
アカクラゲ	ミズクラゲ	ムロミスナウミナナフシ
		
フナムシ	マハゼ	ヒモハゼ
		
ウミネコ	ウミネコ	ウミネコ
		
コサギ	アオサギ	メダイチドリ

2022 年東京湾環境一斉調査多摩川河口大田区側干潟生物調査結果

〔別紙 1〕 生物の写真 1

干潟調査のレポート③

主催団体名	調査地点・海域	調査時期
横浜港湾空港技術調査事務所 江戸前アサリわくわく調査	横浜港湾空港技術調査事務所 「潮彩の渚」(人工干潟)	7月28日

干潟調査の結果

団体名	横浜港湾空港技術調査事務所 江戸前アサリわくわく調査	
調査地点名	横浜港湾空港技術調査事務所「潮彩の渚」(人工干潟) 221-0053 横浜市神奈川区橋本町 2-1-4	
位置座標 (可能であれば)	緯度	
	経度	
実施年月日	令和4年7月28日	
参加人数(人)	16人	

発見した生物の種名※	特記事項など
アサリ	干潟上段、中段(潮が引ききっていない状態)で確認された。

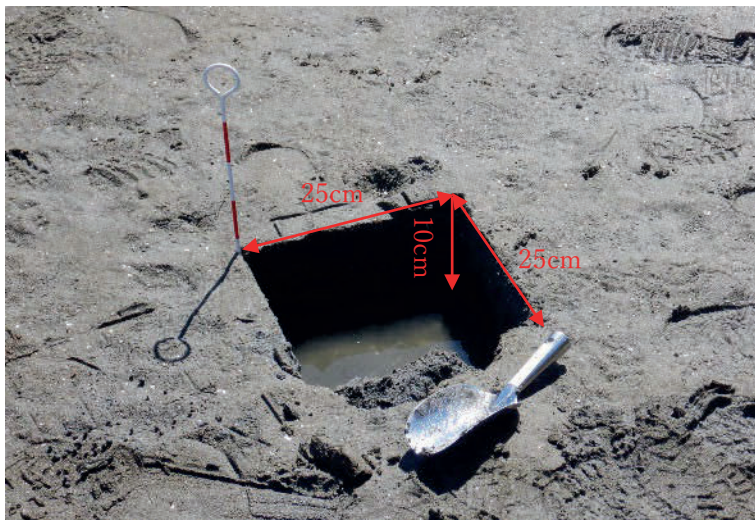
【調査場所】

横浜港湾空港技術調査事務所

生物共生型護岸「潮彩の渚」(人工干潟)



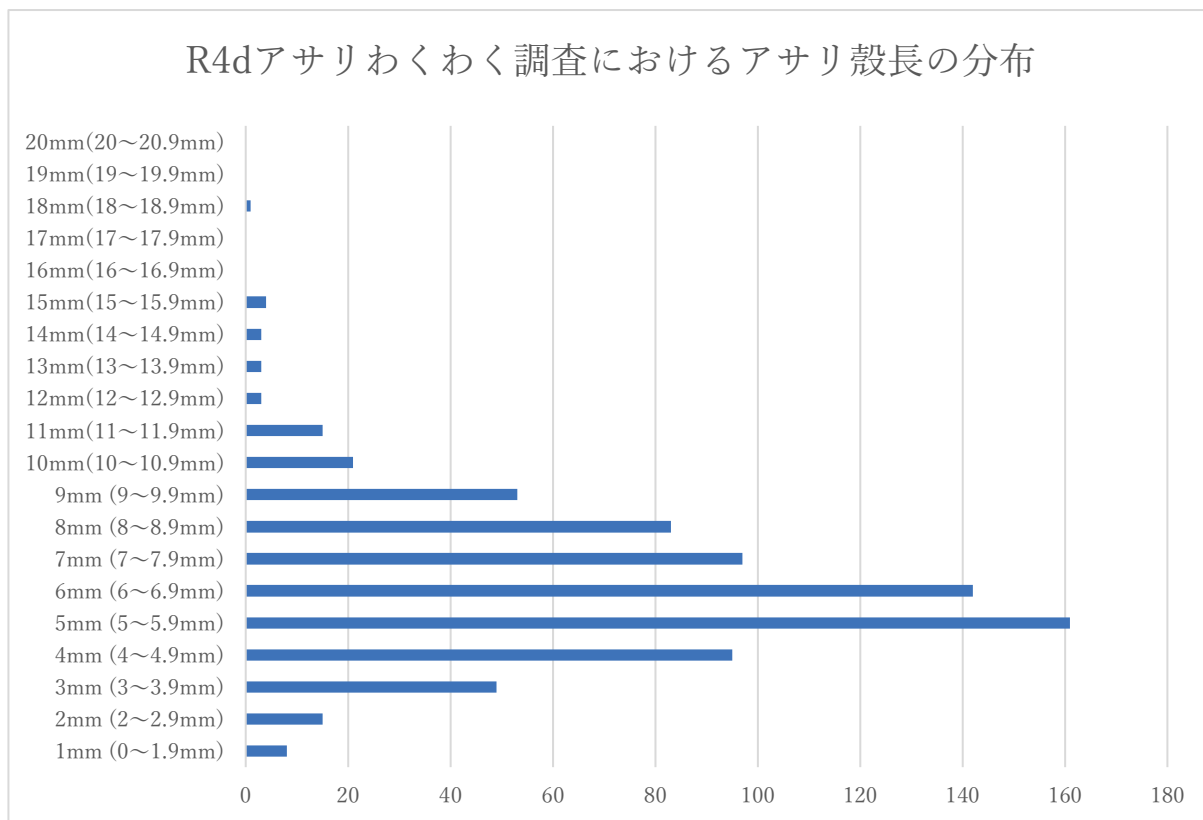
1 2 箇所(1 箇所あたり 25cm×25cm×10cm)



【調査結果概要】

調査地点 1 2 箇所(25cm×25cm×10cm/1 箇所)で、合計 7 5 3 個、殻長は 1 ～ 1 8 mm でした。

1 箇所当たりの単純比較としては、昨年度と同程度のアサリ個体数を確認しました。今後はアサリの生育状況を観察しつつ、引き続き人工干潟での調査・試験に取り組めます。



【調査の様子】



干潟調査のレポート④

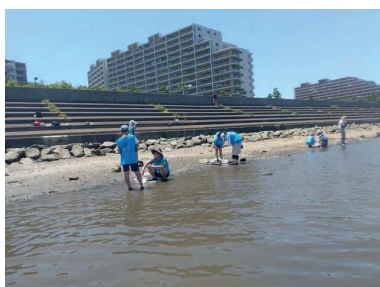
主催団体名	調査地点・海域	調査時期
浦安三番瀬を大切にする会	浦安市三番瀬(日の出地区)	7月30日

干潟調査の結果

団体名	浦安三番瀬を大切にする会	
調査地点名	浦安市、三番瀬(日の出地区)	
位置座標 (可能であれば)	緯度	35.649738,
	経度	139.929537
実施年月日	令和4年7月30日(日) 10時30分～14時30分	
参加人数(人)	25人	

発見した生物の種名※	特記事項など
アサリ	調査ポイントA(護岸寄り)では 21mm をピークとした分布が見られ、調査ポイントB(沖寄り)では、6mm、10mm、21mm、27mm での複数のピークを有する分布が見られた。 ※比較的大きな個体の出現は、調査ポイントA(護岸寄り)が多い。 ⇒全平均値は 18.2mm/個 ※比較的小さな個体の出現は、調査ポイントB(沖寄り)が多い。 ⇒全平均値は 14.6mm/個

【調査地点】



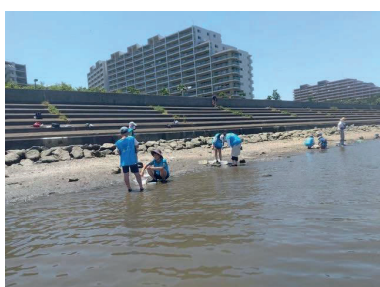
【オリエンテーション1】



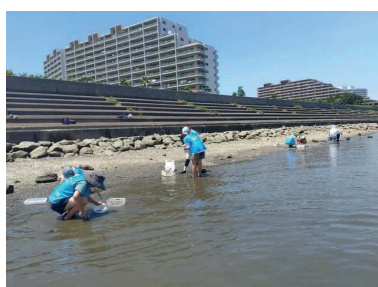
【オリエンテーション2】



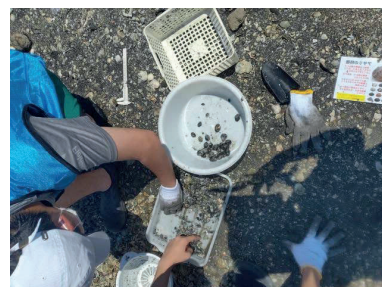
【調査状況1】



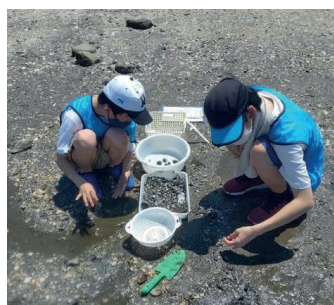
【調査状況2】



【調査状況3】



【調査状況4】



【調査状況5】

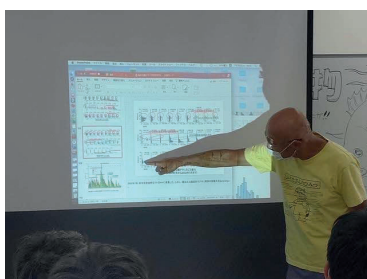
(小学生はライフジャケット着用)



【調査状況6】



【調査後の学習会1】



【調査後の学習会2】

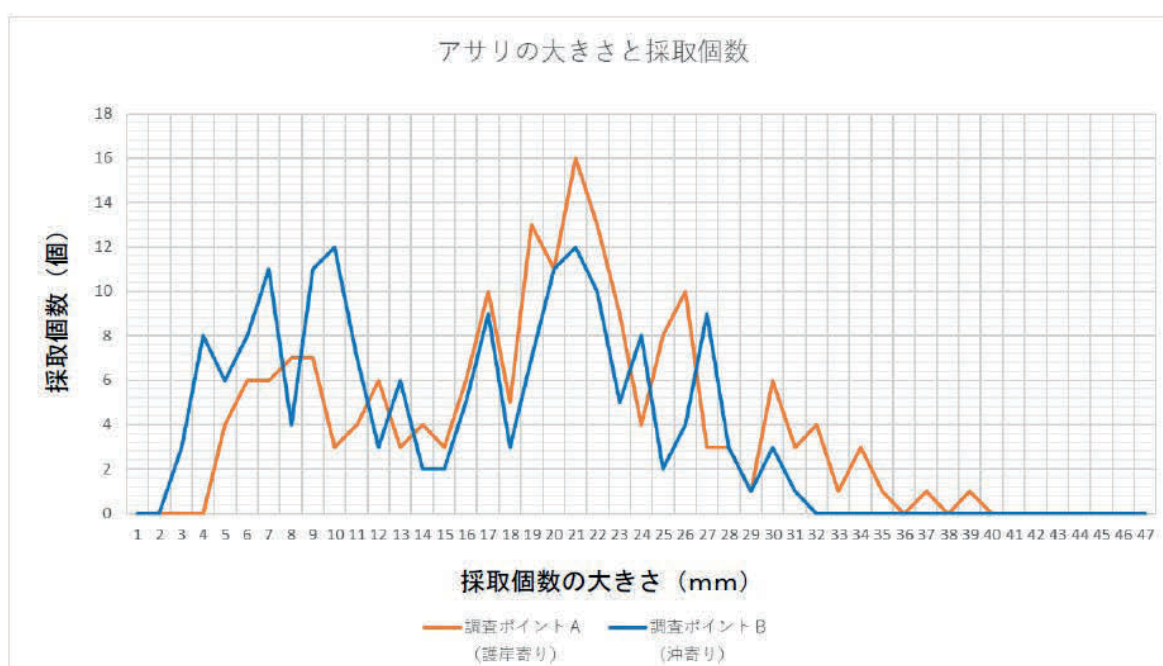
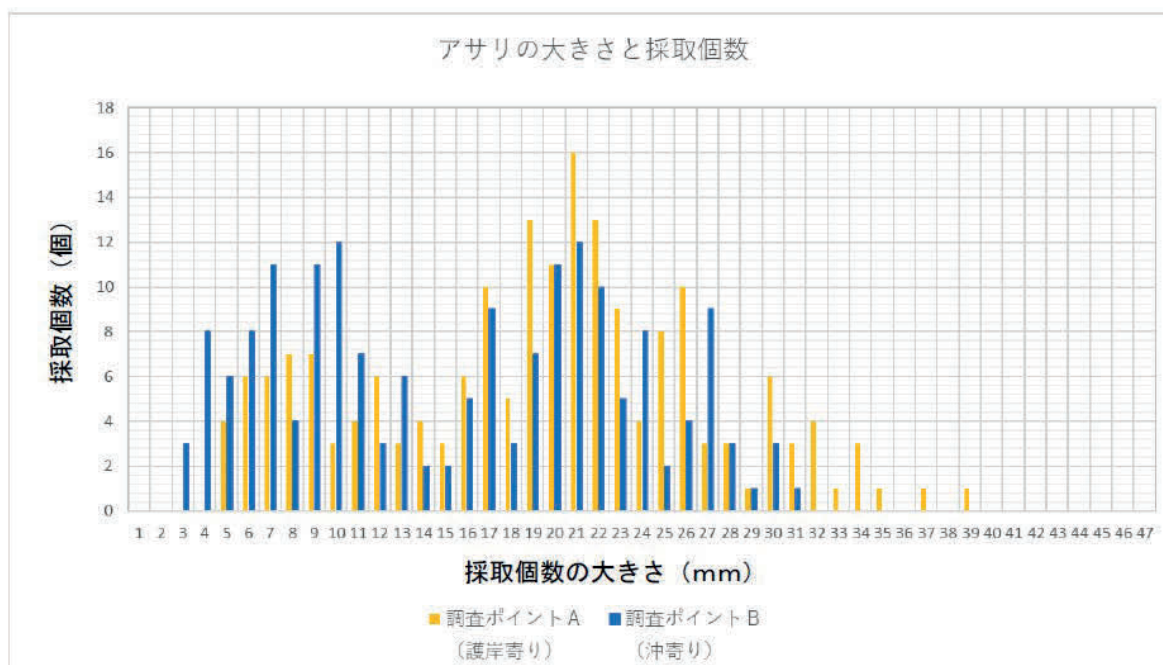


アサリわくわく調査（実施日：令和4年7月30日（土））																
大きさ (mm)	採集個体数/25×25cm2										AB合 計					
	調査ポイント A（護岸寄り）															
	1	2	3	4	5 2枠分	6	7	8	合計							
0										個						
1										個						
2										個						
3										個						
4	2			2					4	個						
5	3			1	1			1	6	個						
6				2	2	1		1	6	個						
7	2	2		1	2				7	個						
8	3			3	1				7	個						
9				1	2				3	個						
10				1	2			1	4	個						
11	2			1	2	1			6	個						
12					2	1			3	個						
13				3	1				4	個						
14	3								3	個						
15	2	1		2	1				6	個						
16	2		2	1	3	2			10	個						
17	1		1	1	2				5	個						
18	3	1	1	1	4	2		1	13	個						
19	1		1	4	3	1		1	11	個						
20		1	1	3	8	2		1	16	個						
21	1		2	3	4	2		1	13	個						
22			2	1	5	1			9	個						
23					2	2			4	個						
24	2			2	4				8	個						
25	2		2			6			10	個						
26					2	1			3	個						
27	1				2				3	個						
28						1			1	個						
29	1				2	2		1	6	個						
30					2	1			3	個						
31					3	1			4	個						
32					1				1	個						
33	2					1			3	個						
34						1			1	個						
35										個						
36				1					1	個						
37										個						
38					1				1	個						
39										個						
40										個						
41										個						
42										個						
43										個						
44										個						
45										個						
46										個						
合計	33	5	12	34	64	29	0	8	185	個						
総合計											361	361				

大きさ (mm)	採集個体数/25×25cm2										AB合 計
	調査ポイント B（沖寄り）										
	1	2	3	4	5	6	7	8	合計		
0										個	
1										個	
2						1	2		3	個	3
3	2			1			5		8	個	8
4				1			5		6	個	10
5							7	1	8	個	14
6			1	3			5	2	11	個	17
7							3	1	4	個	11
8				3		2	4	2	11	個	18
9	1		3	2			6		12	個	15
10		1	1	2			1	2	7	個	11
11			1	1			1		3	個	9
12		1					4	1	6	個	9
13			1				1		2	個	6
14	1	1							2	個	5
15			3				2		5	個	11
16		2		2		1	3	1	9	個	19
17							3		3	個	8
18	1	2					4		7	個	20
19	1	3					5	2	11	個	22
20		2	1	1			6	2	12	個	28
21			3	1			6		10	個	23
22	2					1	2		5	個	14
23	1						7		8	個	12
24	1						1		2	個	10
25			1				1	2	4	個	14
26						1	7	1	9	個	12
27			1				2		3	個	6
28							1		1	個	2
29							2	1	3	個	9
30							1		1	個	4
31										個	4
32										個	1
33										個	3
34										個	1
35										個	
36										個	1
37										個	
38										個	1
39										個	
40										個	
41										個	
42										個	
43										個	
44										個	
45										個	
46										個	
合計	10	12	16	17	0	6	97	18	176	個	361

※ほとんどの調査ポイントで採取されている。

※最終数は調査ポイントAの方がやや多い



※調査ポイントA（護岸寄り）では21mmをピークとした分布が見られ、調査ポイントB（沖寄り）では、6mm、10mm、21mm、27mmでの複数のピークを有する分布が見られた。

※比較的大きな個体の出現は、調査ポイントA（護岸寄り）が多い。

⇒全平均値は18.2mm/個

※比較的小さな個体の出現は、調査ポイントB（沖寄り）が多い。

⇒全平均値は14.6mm/個

干潟調査のレポート⑤

主催団体名	調査地点・海域	調査時期
横浜港湾空港技術調査事務所 外来海洋生物観察会	横浜港湾空港技術調査事務所 「潮彩の渚」(人工干潟)	8月2日

干潟調査の結果

団体名	横浜港湾空港技術調査事務所 外来海洋生物観察会「横浜の海はいま?～ハマにたどり着いた見知らぬ生きものたち～」	
調査地点名	横浜港湾空港技術調査事務所「潮彩の渚」(人工干潟) 221-0053 横浜市神奈川区橋本町 2-1-4	
位置座標 (可能であれば)	緯度	
	経度	
実施年月日	令和4年8月2日	
参加人数(人)	20人	

発見した生物の種名※	特記事項など
アメリカフジツボ	付着力が強く、採取に苦労していた。
ヨーロッパフジツボ	アメリカフジツボに似ている。
ムラサキイガイ	岩に付着し、上段・中段でよく見つかる。
ミドリイガイ	岩の隙間で見つかる。
ケフサイソガニ	上段でよく見つかる。
ベンケイガニ	上段・中段でよく見つかる。
マガキ	よく見つかる。殻に付着している生物も多かった。
イボニシ	護岸背後の隙間でよく見つかる。
アラムシロ	護岸背後の隙間でよく見つかる。
タテジマイソギンチャク	岩に付着し、よく見つかる。

【調査場所】

横浜港湾空港技術調査事務所

生物共生型護岸「潮彩の渚」(人工干潟)



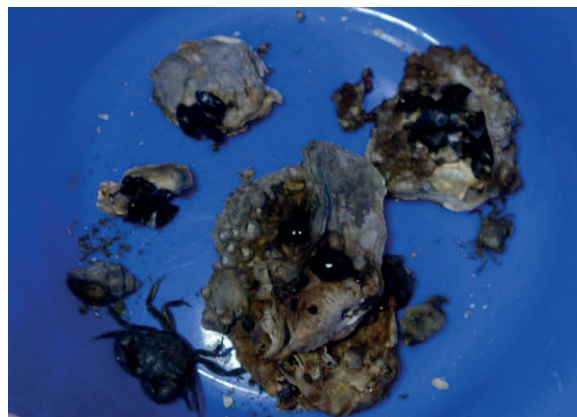
物等



【調査結果概要・調査状況】

潮彩の渚では、主に以下の種が確認されました。

マガキ、アメリカフジツボ(カキ殻に付着)、タテジマイソギンチャク(カキ殻に付着)、ムラサキイガイ、ベンケイガニ、イボニシ、など



観察用の生物

干潟調査のレポート⑥

主催団体名	調査地点・海域	調査時期
NPO法人ふるさと東京を考 える実行委員会	葛西海浜公園西なぎさ	8月25日

干潟調査（貝類調査）の結果

団体名	NPO法人ふるさと東京を考 える実行委員会
調査地点名	葛西海浜公園西なぎさ
実施年月日	令和4年8月25日
参加人数（人）	6人

発見した生物の種名※	特記事項など
ソトオリガイ	計9個
アサリ	計34個
マテガイ	計3個
シオフキ	計3個
シジミ	計5個
ハマグリ	計2個
ホンビノス	計1個
ホトトギス	計1個

令和4年度 葛西海浜公園西なぎさ 二枚貝生息調査報告

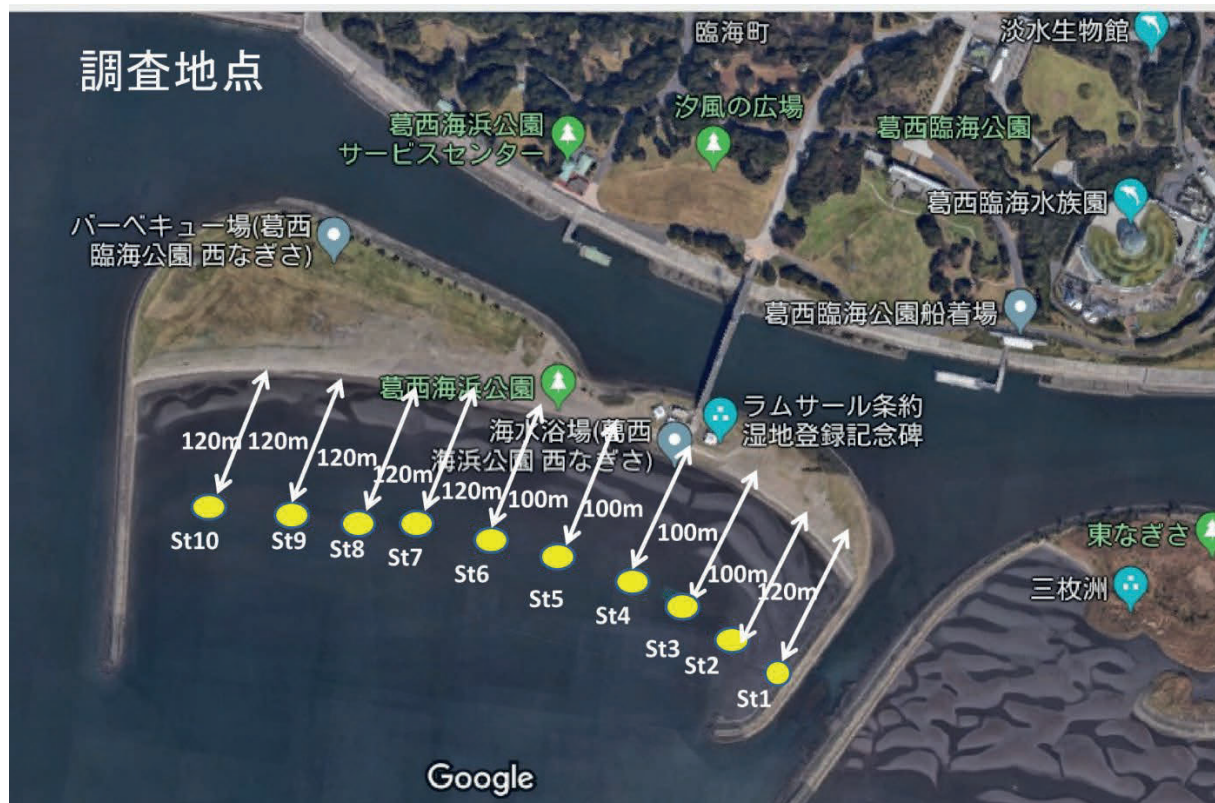
NPO法人ふるさと東京を考える実行委員会



〒134-0083 東京都江戸川区中葛西6-7-12 ビックバン株式会社内
TEL03-3867-1992/FAX03-3688-5955/E-mail yuzo@sekiguchi-sekkei.co.jp

調査の目的

- ・二枚貝は、水質浄化の機能を持っており、
- ・さらに、冬場、2万羽程度飛来するスズガモの餌となっているほか、
- ・海浜公園を訪れた人々が、潮干狩りを楽しむ対象ともなっているため、
- ・西なぎさに豊富な二枚貝が存在するようにしていく必要があります。
- ・しかしながら、最近では、その数が激減しているように感じられるため、
- ・この度、当会が独自に調査を行ったので、ここに報告いたします。



調査結果 合計69g 58個

		St1	St2	St3	St4	St5	St6	St7	St8	St9	St10	計
ソトオリガイ	重量(g)	4	0	0	0	2	0	15	7	0	0	29
	個数	2	0	0	0	1	0	4	2	0	0	9
アサリ	重量(g)	0	0	—	0	—	0	3	5	2	4	16
	個数	0	0	3	0	3	0	10	4	6	8	34
マテガイ	重量(g)	0	0	0	0	0	0	0	—	10	—	11
	個数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3
シオフキ	重量(g)	0	0	0	4	0	0	1	0	0	2	8
	個数	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	3
シジミ	重量(g)	2	0	—	0	0	0	0	0	1	0	3
	個数	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	5
ハマグリ	重量(g)	0	0	0	0	—	0	0	0	—	0	1
	個数	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
ホンビノス	重量(g)	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	—
	個数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
ホトトギス	重量(g)	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	—
	個数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
重量計	重量(g)	5	0	—	4	5	0	21	13	15	6	69
個数計	個数	5	0	4	1	5	0	16	7	10	10	58

葛西海浜公園西なぎさの水域は
約23ha

今回の調査では、69g/2.5 m²
1m²あたりでは、27.6gの二枚貝が
生息すると仮定すると、

$$230,000 \text{ m}^2 \times 0.0276 \text{ kg/m}^2 = 6,348 \text{ kg} \\ \doteq 6.3 \text{ t}$$

※20,000羽のスズガモが食べる貝は、20t/日
⇒飛来して、7.5時間で食べつくされる量

経年変化

単位g

	2020/8/17 調査面積1m ²	2021/8/21 調査面積2.25m ²	2022/8/25 調査面積2.5m ²
ソトオリガイ	2	10	29
アサリ	—	30	16
マテガイ	0	0	11
シオフキ	—	2	8
シジミ	0	30	3
ハマグリ	0	9	1
ホトトギス	0	0	—
重量計	3	93	69
重量計/m ²	3	41.3	27.6

干潟調査のレポート⑦

主催団体名	調査地点・海域	調査時期
江戸川区子ども未来館	葛西海浜公園 西なぎさ	8月27日 9月23日

調査情報							
団体名	江戸川区子ども未来館						
調査地点名	葛西海浜公園 西なぎさ						
位置座標 （可能であれば） ※スマートフォン・タブレット端末 等の地図アプリで取得してくださ い。	緯度						
	経度						
実施年月日	2022年8月27日						
参加人数（人）	37人						

調査結果			
種類名	発見数(匹)	代表的な発見場所	
チチュウカイミドリガニ			
マメコブシガニ			
ケフサイソガニ			
タカノケフサイソガニ	10	干潟 タイドプール	
ハマガニ			
アシハラガニ			
アカテガニ			
クロベンケイガニ	3	草地 石ころ	
クシテガニ			
ウモレベンケイガニ			
イシガニ			
コメツキガニ	1	砂地	
チゴガニ			
オサガニ	1	砂泥質の干潟	
ヤマトオサガニ	8	砂泥質の干潟	
種類不明のカニ			
カクベンケイガニ	10	石ころ 岩場	
ガザミ	3	砂地 泥地 タイドプール	

干潟調査の結果

団体名	江戸川区子ども未来館	
調査地点名	葛西海浜公園 西なぎさ	
位置座標 (可能であれば)	緯度	
	経度	
実施年月日	2022 年 8 月 27 日	
参加人数 (人)	37 人	

発見した生物の種名※	特記事項など
シモフリシマハゼ	
チチブ	
マハゼ	
ミミズハゼ	
ヒモハゼ	
アシシロハゼ	
ボラ	
コチ	
ワニゴチ	
ギマ	幼魚 3 匹捕獲
コショウダイ	幼魚
イダテンギンポ	
ヤマトシジミ	
ソトオリガイ	
オキシジミ	
マガキ	
マテガイ	
シオフキガイ	
カワヒバリガイ	
コウエンカヒバリガイ	
ウネナシトマヤガイ	
タマキビ	
アサリ	

アカニシ（卵塊）	
ガザミ	
ユビナガスジエビ	
シラタエビ	
テナガエビ	
ニホンスナモグリ	
イソテッポウエビ	
ウリタエビジャコ	
ユビナガホンヤドカリ	
アナジャコ	

干潟調査の結果

団体名	江戸川区子ども未来館	
調査地点名	葛西海浜公園 西なぎさ	
位置座標 (可能であれば)	緯度	35.638096
	経度	139.857298
実施年月日	2022 年 9 月 23 日	
参加人数 (人)	24 人	

発見した生物の種名※	特記事項など
エドハゼ	
チクゼンハゼ	
マメコブシガニ	
オサガニ	
ヤマトオサガニ	
タカノケフサイガニ	
カクベンケイガニ	
アナジャコ	
ニホンスナモグリ	
ウリタエビジャコ	
イソコツブムシ類	
シラタエビ	
ユビナガスジエビ	
フナエビ、イソエビ、ウミエビ類	
ハマグリ	
オキシジミ	
イソシジミ	
ヤマトシジミ	
シオフキ	
アカニシ	
アラムシロガイ	
ミズクラゲ	
マガキ	
ホトトギスガイ	
	以下、陸生

ヒシバツタ類	
チョウセンカマキリ	
オンブバツタ	
オカメコオロギ類	
クルマバツタモドキ	
マダラバツタ	
ショウリョウバツタ	
ショウリョウバツタモドキ	
トノサマバツタ	
シバズ	
ホシササキリ	
アキアカネ	
エンマコオロギ	
セスジスズメ	
キタキチョウ	
アオメアブ	
ユビナガホシヤドカリ	
コメツキガニ	
オオハサミムシ	

9-2 その他の調査

(1) 調査参加機関

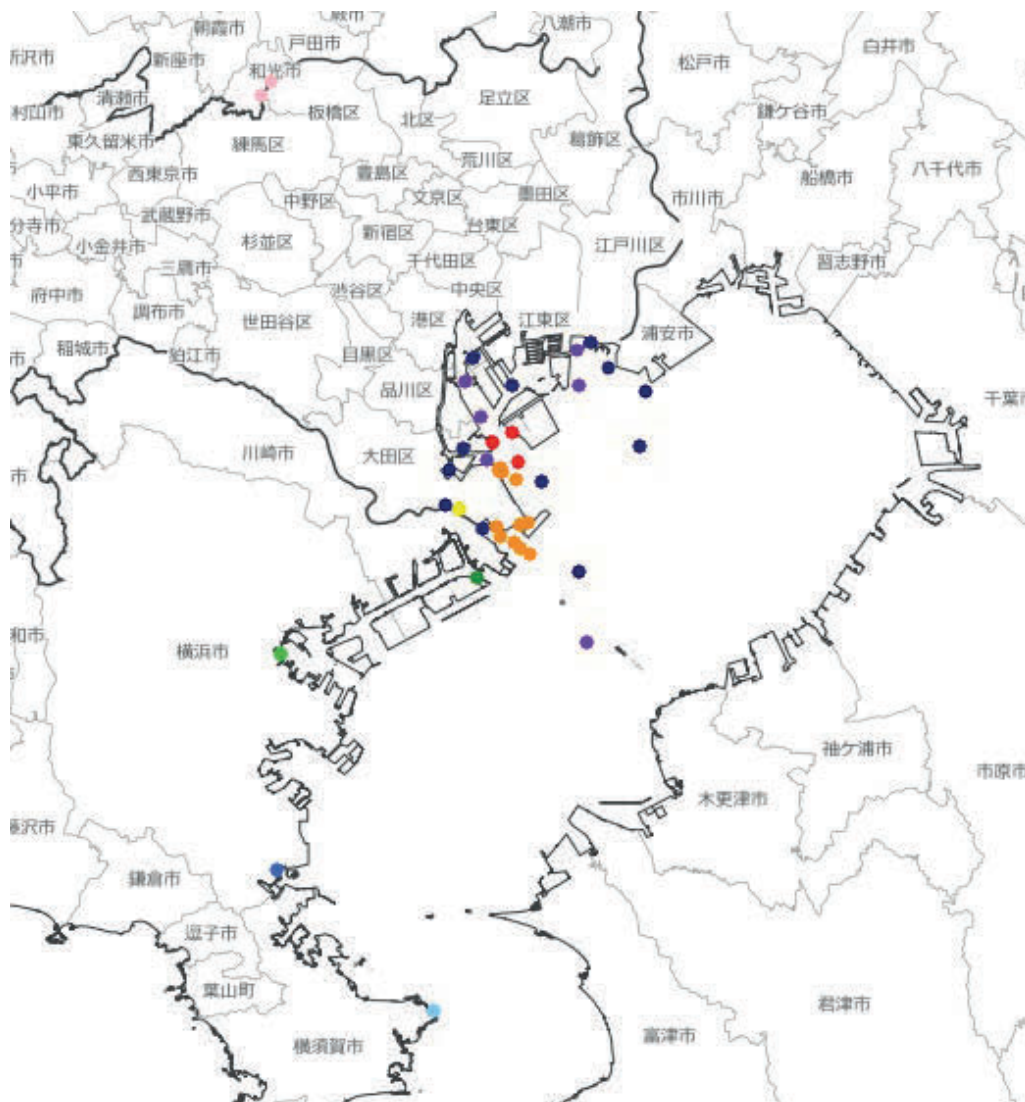
令和4年度は、11団体から干潟以外の調査について報告がありました（表9-4）。

表9-4 その他の調査の実施実績（実施日順）

報告書番号	実施・主催機関	調査場所・地点名	実施日	調査内容
①	東京湾再生官民連携フォーラム モニタリング推進PT	東京湾全域	7月1日～ 9月30日	マハゼ
②	東京都環境局自然環境部水環境課	東京湾内	7月20日 8月3日 8月4日 8月17日	動植物プランク トン
③	川崎市環境総合研究所 （日本海洋生物研究所協力）	東扇島東公園人工海 浜「かわさきの浜」	7月21日 8月15日 9月9日	底生生物等
④	板橋区	白子川（東埼橋、 白藤橋）	7月28日	魚類、底生動物
⑤	国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所	東京湾内	①8月3日 ②8月1 日、2日、 8日、10日	①海底に生息す る底生生物 ②浅場に生息す る水生生物
⑥	国土交通省 関東地方整備局	臨港パーク	8月5日	浅場（砂地）及 び石積、護岸の 水生生物
⑦	合同会社オフショアテクノロジー ズ	神奈川県立観音崎公 園 海岸園地前の磯	8月11日	潮間帯に生息す る水生生物
⑧	(株)日本海洋生物研究所	多摩川河口域	8月12日	コアマモ
⑨	国土交通省 関東地方整備局 東京港湾事務所	東京湾内	8月23日 8月26日	底生生物、付着 生物、動植物プ ランクトン
⑩	東京都環境局自然環境部水環境課	東京湾内	①8月24日 ②9月7日 ③9月16日 ④9月26日	①底生生物 ②稚魚 ③成魚 ④鳥類
⑪	株式会社横浜八景島	横浜市海の公園	8月29日	水生生物

(2) 調査実施地点

調査は、図9-4に示す地点で実施されました。



出典：海洋状況表示システム(<https://www.msil.go.jp>)、国土地理院 (GSI)

- 東京都環境局自然環境部水環境課（東京湾内）（報告書番号②）
- 川崎市総合研究所（日本海洋生物研究所協力）（東扇島東公園人工海浜「かわさきの浜」）（報告書番号③）
- 板橋区 白子川（東埼橋、白藤橋）（報告書番号④）
- 国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所（東京湾内）（報告書番号⑤）
- 国土交通省 関東地方整備局（臨港パーク）（報告書番号⑥）
- 合同会社オフショアテクノロジー（神奈川県立観音崎公園 海岸園地前の磯）（報告書番号⑦）
- （株）日本海洋生物研究所（多摩川河口域）（報告書番号⑧）
- 国土交通省 関東地方整備局 東京港湾事務所（東京湾内）（報告書番号⑨）
- 東京都環境局自然環境部水環境課（東京湾内）（報告書番号⑩）
- 株式会社横浜八景島（横浜・八景島シーパラダイス）（横浜市海の公園）（報告書番号⑪）

※東京湾再生官民連携フォーラム モニタリング推進PTは東京湾全域で調査を行った。

図9-4 その他の調査の実施地点

(3) 各調査のレポート

各調査のレポートを紹介します。

生物調査（干潟以外）のレポート①

実施・主催機関	調査場所・地点名	実施日	調査内容
東京湾再生官民連携 フォーラム モニタリング推進 PT	東京湾全域	7 月 1 日～9 月 30 日	マハゼ

生物調査の結果

団体名	東京湾再生官民連携フォーラム モニタリング推進 PT		
調査地点名	東京湾全域		
位置座標	緯度		
	経度		
実施年月日	令和 4 年 7 月 1 日～9 月 30 日		

【対象生物】

マハゼ

【調査概要】

江戸前ハゼ復活プロジェクトとして、東京湾再生官民連携フォーラム モニタリング推進 PT、東京水産振興会、海辺つくり研究会、国土技術政策総合研究所検眼海洋・防災研究部海洋環境研究室が協働し、マハゼの棲み処調査を例年 7 月～12 月に実施している。本報告時には調査が終了していないので、7 月～9 月の上期における速報を報告する。

主な調査場所としては、神奈川県：平潟湾、金沢文庫、野島公園、富岡船溜り公園、横浜港、高島水際線公園、東神奈川など、東京都：多摩川河口・中流、海老取川、羽田周辺、京浜運河（新芝運河・大井ふ頭中央海浜公園）、京浜島つばさ公園、墨田川、東京港（朝潮運河・お台場海浜公園・佃掘）、東京内港（小名木川・横十間川・仙台堀川）、荒川河口・中流など、千葉県：中川、旧中川、江戸川河口・中流、旧江戸川、江戸川放水路、三番瀬・浦安・境川、行徳、花見川、船橋、千葉港、市原、袖ヶ浦、木更津港、富津市、外房（一宮川）、松戸市などから合計 9372 匹の全長情報が寄せられた。

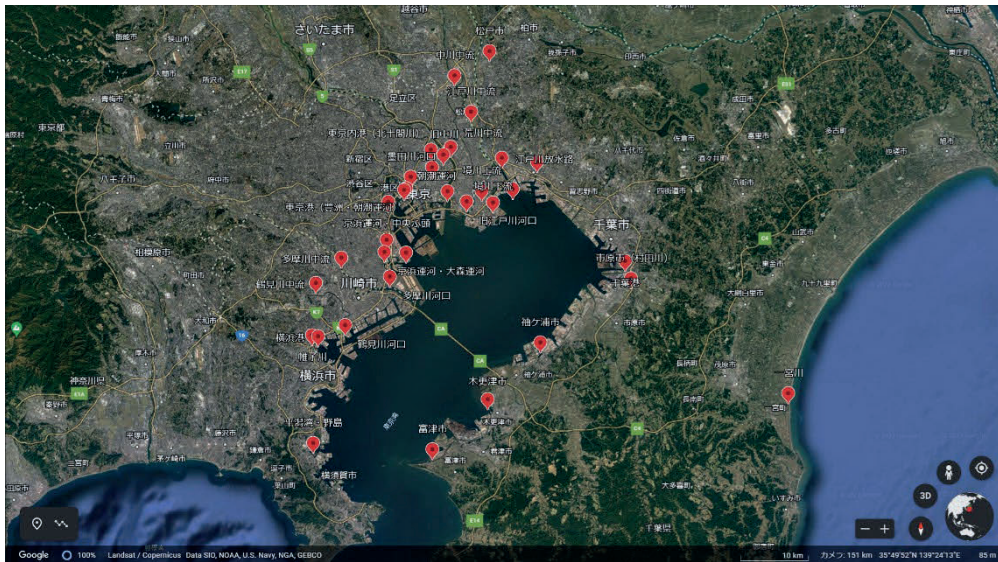


図1 調査地点概略図（場所は正確な調査地点ではない）

表1 収集データ数（2022 年上期）

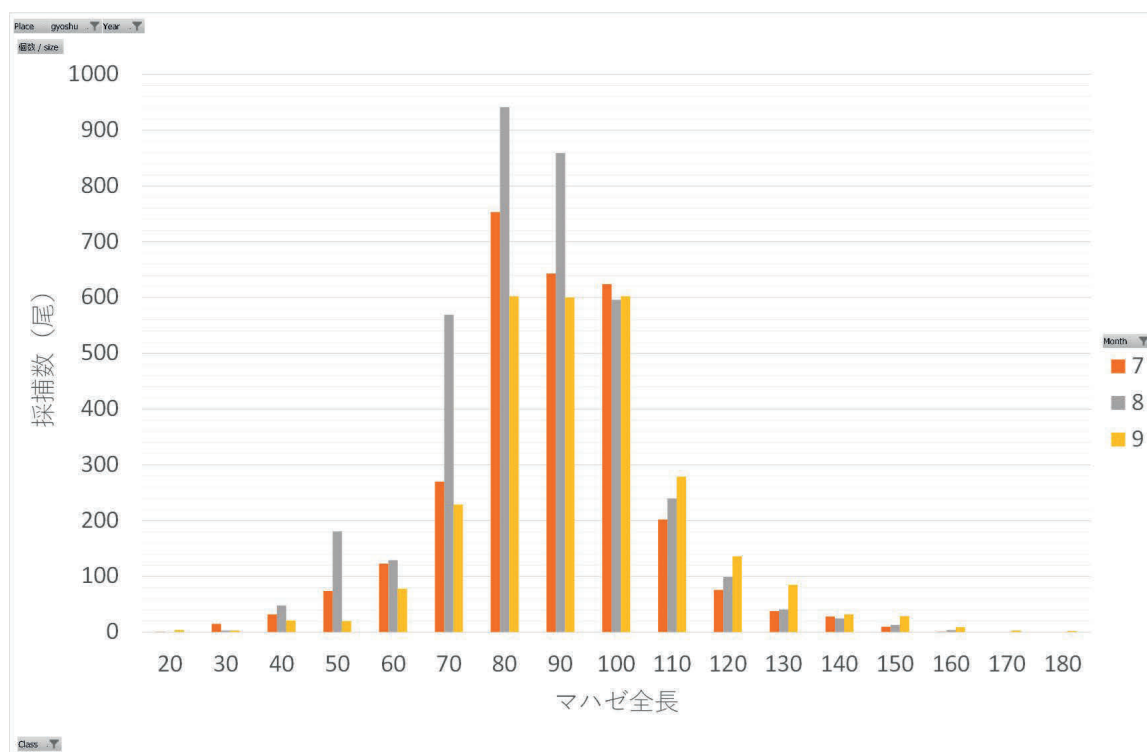
計測月	7 月	8 月	9 月
2022 年	2890	3748	2734

【結果概要】

今年のハゼ釣りはシーズン初め、4-5 cm の小型の当歳魚（デキハゼ）、8 cm の中型のハゼ、12 cm の大型のハゼが混在する状況でスタートしたが、7 月を平均すると、8-9 cm 程度の前年秋生まれとみられる系群が卓越していた。昨年に比べるとやや小型という印象がある。8 月に入ると、5 cm 程度の新たな系群の加入は昨年同様の傾向である。9 月に入ると 7 月に 8 cm であったハゼが 9-10 cm 程度に成長していること、16 cm を超える大型のハゼもつれ始めてきた。この大型ハゼは、昨年初夏（6 月）生まれ群として、昨年も観測されていた群で、その動向が注目される。

【調査体制】

昨年より、東京水産振興会により「江戸前ハゼ復活プロジェクト」の Web サイトが運営され、その中でオンラインでのデータ登録も実施してきている (<https://mahaze.suisan-shinkou.or.jp/>)。



2022 年マハゼの棲み処調査速報値 (7-9 月の調査データより)

生物調査（干潟以外）のレポート②

実施・主催機関	調査場所・地点名	実施日	調査内容
東京都環境局自然環境部水環境課	東京湾内	7月20日、8月3日、8月4日、8月17日	動植物プランクトン

プランクトン調査結果

東京都環境局自然環境部水環境課

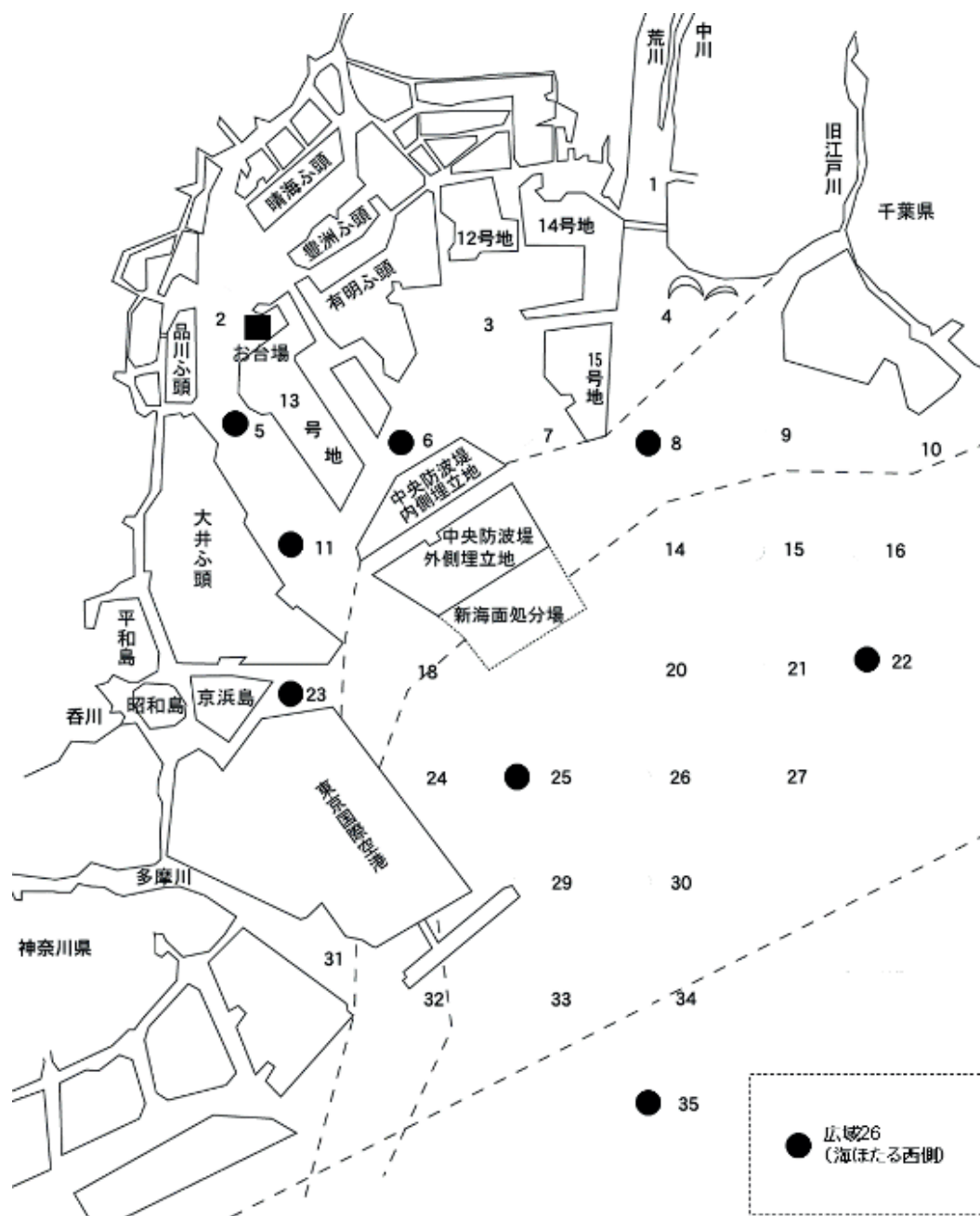
東京都環境局では、水質汚濁防止法第16条の測定計画に基づく毎月の水質測定調査時に動植物プランクトン上位10種の同定・計数を行っているほか、夏季期間中に延べ17日間の赤潮調査（上位5種）を実施し、概ね毎週、赤潮発現の推移を見ている。

令和4年8月に実施した水質測定調査と7月20日の赤潮調査で確認されたプランクトン種を報告する。

【調査実施日・地点】

①内湾水質測定調査：8月3, 4, 17日 計9地点 (St.5, 6, 8, 11, 22, 23, 25, 35, 広域26)

②赤潮調査：7月20日 計8地点 (お台場, St.6, 8, 11, 22, 23, 25, 35)



【①水質測定調査】

8月3日 (St. 23, 25, 35, 広域 26) : 前5日間は降雨がなく、当日の天候は曇時々晴れ。

8月4日 (St. 5, 11) : 調査を開始したが雷雨により中断し、未調査地点を17日に延期した。

8月17日 (St. 6, 8, 22) : 前3日間は降雨がなかったが、当日は5 mm の降雨があった。

調査した9地点のうち、6地点 (St. 5、St. 6、St. 11、St. 22、St. 23、St. 25) で赤潮が見られ、St. 8 と St. 22 を除く7地点では底層の溶存酸素量が2.0mg/L以下の貧酸素状態であった。

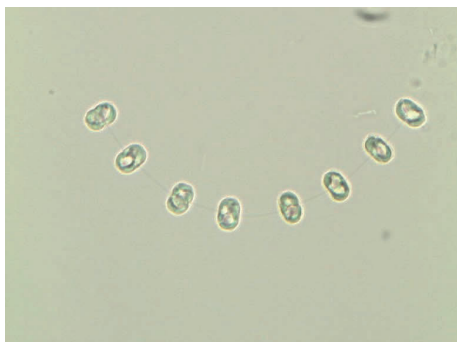
各地点の動植物プランクトン上位10種と細胞数は表1のとおり。

Cryptomonadaceae や *Thalassiosira binata* が細胞数での優占種となり、そのほか *Skeletonema costatum* や *Heterocapsa* sp. などが多く観察された。

また、動物プランクトンではOligotrichida や *Tintinnopsis* sp. などが見られた。

観察された主な種の顕微鏡下写真

植物プランクトン



Thalassiosira binata



Cylindrotheca closterium

動物プランクトン



Tintinnopsis corniger



Favella ehrenbergii

表1 8月の水質測定調査におけるプランクトン定量結果

調査地点	St.5	St.6	St.8	St.11	St.22	St.23	St.25	St.35	広26
採集年月日	8月4日	8月17日	8月17日	8月4日	8月17日	8月3日	8月3日	8月3日	8月3日
植物プランクトン									
種 名	細胞数 (単位: $\times 10^6$ 細胞/ m^3)								
Cryptomonadaceae	20,500	21,500	12,600	6,260	15,000	6,910	5,780	918	5,060
<i>Gyrodinium</i> sp.								76	118
Gymnodiniales		408	232		312			144	360
<i>Heterocapsa</i> sp.	936	2,050	1,630	357	1,370	612	250		84
<i>Protoperidinium bipes</i>								45	
Peridinales		114						46	
<i>Skeletonema costatum</i>	3,500	2,170	1,490	1,020	1,510	1,390	1,060		
<i>Thalassiosira binata</i>	16,700		762	24,000	1,750	21,600	9,790		423
Thalassiosiraceae	1,320	1,000	126	147		1,370	492		
<i>Rhizosolenia fragilissima</i>			145		333				
<i>Cerataulina pelagica</i>								206	306
<i>Neodelphineis pelagica</i>					230				
<i>Navicula</i> sp.	216			190		294	270		232
<i>Cylindrotheca closterium</i>	202	250	149	880	280	399	2,660	648	3,020
<i>Heterosigma akashiwo</i>					166				
Euglenophyceae	300	672		436		508	336	100	228
Prasinophyceae	856	984	111	460		1,200	309	65	
other Micro-flagellates	2,040	2,120	750	1,320	1,250	660	690	484	464
others	254	584	685	346	878	245	941	234	568
動物プランクトン									
種 名	個体数 (単位: $\times 10^6$ 個体/ m^3)								
<i>Mesodinium rubrum</i>					1.10	1.00	1.00	0.30	0.20
<i>Tintinnidium mucicola</i>			0.07						
<i>Codonella</i> sp.		1.55	0.81	0.95			1.05		
<i>Tintinnopsis aperta</i>	0.32	0.42		0.60		0.04			
<i>Tintinnopsis corniger</i>		0.19							
<i>Tintinnopsis directa</i>	0.38	1.60	0.46	0.07	2.30		3.60	0.02	
<i>Tintinnopsis</i> sp.	0.17	7.60	2.30	2.70	4.20		1.15	0.04	
<i>Helicostomella fusiformis</i>			0.42		4.80	0.06			
<i>Favella ehrenbergii</i>		0.04			1.05	0.10			
<i>Eutintinnus lusus-undae</i>						0.15			
<i>Eutintinnus tubulosus</i>					1.00			0.05	0.04
<i>Amphorellopsis acuta</i>								0.12	0.09
Oligotrichida	9.00	7.00	1.10	14.00	3.35	4.00	9.00	0.55	0.60
Ciliata			0.05		0.90	1.30			
<i>Brachionus plicatilis</i>	1.40			1.40	0.80	0.45	0.05		
<i>Trichocerca marina</i>	0.04	0.07		0.06					
<i>Synchaeta</i> sp.								0.05	
Veliger larva of Bivalvia	0.20			0.05			0.42		
Polychaeta larva							0.16		0.01
<i>Penilia avirostris</i>									0.01
<i>Evadne tergestina</i>									0.01
<i>Oithona davisae</i>	0.02		0.06					0.01	0.06
Copepodite larva of <i>Oithona</i>	0.06	0.03	0.13	0.11		0.01	0.06	0.21	0.92
Nauplius larva of Copepoda	6.00	0.70	0.75	0.70	1.10	0.05	0.55	1.60	3.60

【②赤潮調査（7月20日）】

前2日間と当日は降雨がなく、最高気温が30℃を超える日が続いた。

調査した8地点すべてで赤潮が確認され、St. 8とSt. 23を除く6地点では底層の溶存酸素量が2.0mg/L未満の貧酸素状態であった。

東京都では、1回の赤潮調査につき数地点で表層水を採水し、動植物プランクトン優占5種の定量を実施している。7月20日はお台場、St. 6、St. 25の3地点について定量を行った。

結果は表2のとおり、細胞数では *Thalassiosira* spp. が優占種となり、次いで *Thalassiosiraceae* や *Skeletonema costatum*、Cryptomonadaceaeが多く見られた。また、動物プランクトンでは *Mesodinium rubrum*、Oligotrichidaなどが見られた。

表2 7/20 赤潮調査におけるプランクトン定量結果

調査地点	お台場	St.6	St.25
採取年月日	7/20	7/20	7/20
植物プランクトン			
種名	細胞数(単位: $\times 10^6$ 細胞数/m ³)		
Cryptomonadaceae	3,310	2,160	3,310
<i>Skeletonema costatum</i>	10,300	8,350	4,970
<i>Thalassiosira</i> spp.	37,700	35,000	25,500
Thalassiosiraceae	36,500	13,400	3,120
<i>Chaetoceros</i> sp.		1,870	1,800
Prasinophyceae	1,730		
other phytoplankton	4,610	4,250	6,190
動物プランクトン			
種名	個体数(単位: $\times 10^6$ 個体数/m ³)		
<i>Didinium</i> sp.	2.53	1.26	
<i>Mesodinium rubrum</i>	14.8		
<i>Amphorella quadrilineata</i>		2.53	2.63
<i>Eutimninus</i> sp.		5.05	2.89
Oligotrichida	8.84	16.4	0.53
Ciliata	0.95		
<i>Trichocerca marina</i>			0.79
Nauplius of Copepoda	0.71	1.58	1.58
other zooplankton	1.11	1.42	1.58

観察された主な種の顕微鏡下写真



Thalassiosira spp.



Skeletonema costatum.

生物調査（干潟以外）のレポート③

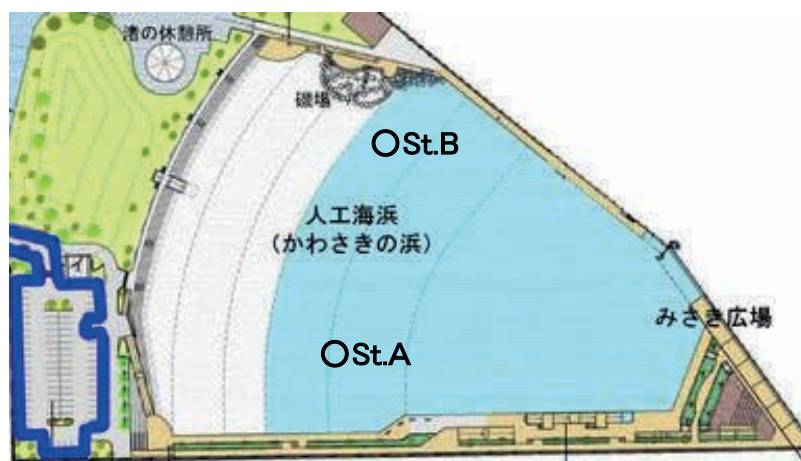
実施・主催機関	調査場所・地点名	実施日	調査内容
川崎市環境総合研究所（日本海洋生物研究所協力）	東扇島東公園人工海浜「かわさきの浜」	7月21日 8月15日 9月9日	底生生物等

生物調査の結果

団体名	川崎市環境総合研究所（日本海洋生物研究所協力）		
調査地点名	東扇島東公園人工海浜「かわさきの浜」 神奈川県川崎市川崎区東扇島 58-1		
位置座標 （可能であれ	緯度	N 35° 30' 15.7″	
	経度	E 139° 46' 31.8″	
実施年月日	令和4年7月21日、令和4年8月15日、令和4年9月9日		

1 調査概要

令和4年7月から9月の間に、川崎市東扇島東公園人工海浜「かわさきの浜」において、アマモ及び底生生物等の生育状況を確認する調査を行った。



調査場所 川崎市東扇島東公園人工海浜「かわさきの浜」

2 調査方法

(1) アマモ生育状況調査

徒歩、シュノーケリングまたはスクーバ潜水で、アマモの生育状況を記録し確認する。

(2) 定性観察調査

徒歩、シュノーケリングまたはスクーバ潜水で観察された生物を記録し確認する。

(3) 底生生物等調査

軟体動物等については目視で確認し、底生生物についてはグラブ型採泥器またはスコップによる定量採取（50cm 四方のコドラート枠）で海底泥を採取し、1mmのふるいで選別したうえ

で試料とし、10%ホルマリンで固定した。採取した生物を記録し確認する。

3 調査結果

2の(1)及び(2)の結果を表1に、2の(3)の結果を表2に示す。

表1 アマモ生育状況調査及び定性観察調査 確認種一覧

番号	分類	門	綱	目	和名	調査日	7月21日	8月16日	9月9日
1	海藻・藻類	緑色植物	緑藻	アオサ	アオサ属		○	○	○
2				ミル	ミル		○	○	
3	底生動物	刺胞動物	花虫	海鯉	ウミサボテン		○	○	
4				磯巾着	磯巾着目		○	○	○
5		軟体動物	腹足	新腹足	レイシガイ		○	○	○
6					イボニシ		○	○	○
7					アカニシ		○	○	○
8					アラムシロ		○	○	○
9				アメフラシ	トゲアメフラシ			○	○
10				裸鰓	クロシタナシウミウシ			○	
11			二枚貝	フネガイ	サルボウガイ			○	
12				イガイ	ムラサキイガイ		○	○	○
13					ミドリイガイ		○	○	○
14					コウロエンカワヒバリガイ		○	○	○
15				マルスダレガイ	トリガイ			○	
16					ホンビノスガイ			○	○
17					カガミガイ			○	○
18					アサリ		○	○	○
19			頭足	八腕形	マダコ				○
20		節足動物	軟甲	十脚	フタミゾテッポウエビ			○	
21					ケブカヒメヨコバサミ			○	○
22					キンセンガニ				○
23					イシガニ		○	○	○
24					タイワンガザミ				○
25					スベスベオウギガニ				○
26					イソガニ		○	○	○
27					タカノケフサイソガニ		○	○	○
28					ショウジンガニ				○
29					コメツキガニ			○	
30	苔虫動物	裸喉	櫛口		ホンダワラコケムシ		○	○	○
31	棘皮動物	ヒトデ	モミジガイ		トゲモミジガイ		○		○
32			ヒメヒトデ		イトマキヒトデ				○
33		ウニ	ホンウニ		サンショウウニ				○
34		ナマコ	マナマコ		マナマコ				○
35	原索動物	ホヤ	マメボヤ		カタユウレイボヤ		○	○	○
36			マボヤ		エボヤ		○	○	○
37					シロボヤ		○	○	○
							20	28	30

表2 底生生物等 確認種一覧

番 号	門	綱	目	測点	St. A			St. B				
				調査日 項目	7月21日 個体数	8月15日 個体数	9月9日 個体数	7月21日 個体数	8月15日 個体数	9月9日 個体数		
1	刺胞動物	花虫	磯巾着	磯巾着目		○	○					
2	扁形動物	渦虫	多岐腸	多岐腸目			○					
3	紐形動物	ー	ー	紐形動物門		○	○	○		○		
4	軟体動物	腹足	盤足	シマハマツボ	○		○					
5				ウミゴマツボ		○						
6				シマメノウフネガイ		○						
7			新腹足	ムシロガイ	○							
8				アラムシロ	○	○	○	○	○			
9			異旋	クチキレガイ	○							
10			頭楯	マメウラシマガイ	○				○			
11				マツシマコメツブガイ					○			
12				キセワタガイ	○							
13		二枚貝	フネガイ	サルボウガイ		○	○	○				
14				イガイ	ムラサキイガイ				○			
15				ミドリイガイ			○					
16				コウロエンカワヒバリガイ			○	○				
17				ホトトギスガイ	○	○	○	○	○	○		
18			マルスダレガイ	ブンブクヤドリガイ科				○				
20				バカガイ	○		○	○	○	○		
21				シオフキガイ	○		○	○	○	17		
22				チヨノハナガイ	○							
23				サクラガイ					○			
24				ヒメシラトリガイ	○		○		○			
25				シズクガイ	○	○						
26				マテガイ	○	○	○	○	○	○		
27				ウスカラシオツガイ	○	○	○	○	○			
28				ホンビノスガイ	○	○	○	○	○	○		
29				カガミガイ	○	○	○	○	○	○		
30				アサリ	○	○	○	○	○	○		
31					ハマグリ					○		
33		環形動物		多毛	サンバゴカイ	Eteone sp.						○
34						オトヒメゴカイ科			○			
35			ハナオカカギゴカイ				○					
36	コケゴカイ					○	○	○	○	○		
37	ヒメゴカイ		○			○	○		○			
38	アシナガゴカイ		○				○					
39	オウギゴカイ		○			○	○	○				
40	ツルヒゲゴカイ						○					
41	チロリ						○			○		
42	Glycera sp.						○	○	○	○		
43	Glycinde sp.		○									
44	ハヤテシロガネゴカイ		○					○		○		
45	ミナミシロガネゴカイ							○				
46	スピオ		ケンサキスピオ						○	○		
47			シノブハネエラスピオ			○			○			
48			イトエラスピオ			○						
49			Dipolydora			○			○			
50			Pseudopolydora sp.			○				○		
51			ヒゲスピオ				○			○		
52			Scoelelepis sp.						○			
53			Spio sp.						○	○		
54			Cirriiformia sp.		○		○	○	○	○		
55	イトゴカイ		Capitella sp.						○			
56			Mediomastus sp.			○	○	○	○	○		
57	オフェリアゴカイ		タケフシゴカイ科		○			○	○			
58			ツツオオフェリア						○			
59	チマキゴカイ		チマキゴカイ						○			
60	フサゴカイ		フサゴカイ科				○					
61	ケヤリ		Chone sp.		○							
62			ケヤリ科				○					
63	節足動物	軟甲	等脚	ヒメスナホルムシ	○				○			
64				ニホンドロソコエビ		○	○	○	○			
65				Monocorophium sp.						○		
66				イソヨコエビ			○					
67				メリタヨコエビ属			○					
68			十脚	タイワンガザミ						○		
69				スネナガイソガニ			○					
					26	21	36	25	29	22		

4 調査に関する写真



調査の様子



かわさきの浜の様子



キンセンガニ



スベスベオウギガニ



フタミゾテッポウエビ



ケブカヒメヨコバサミ



ハマグリ



サクラガイ



ムシロガイ

生物調査（干潟以外）のレポート④

実施・主催機関	調査場所・地点名	実施日	調査内容
板橋区	白子川（東埼橋、白藤橋）	7月28日	魚類、底生動物

生物調査の結果

団体名	東京都板橋区	
調査地点名	白子川 (1) 東埼橋 (2) 白藤橋	
位置座標 (可能であれば)	緯度	(1) N35.46.47 (2) N35.47.15
	経度	(1) E139.37.28 (2) E139.37.52
実施年月日	令和4年7月28日（木）	

令和4年度 白子川生物調査の概要

1 調査概要

① 調査地点及び調査実施日

河川名	調査地点名	調査実施日	調査時間	天候	気温 (℃)	水温 (℃)
白子川	①東埼橋上流付近	2022/7/28 (木)	9:00~10:45	晴れ	32.0	25.0
	②白藤橋付近	2022/7/28 (木)	11:45~15:30	晴れ	34.0	32.0

② 調査方法

各調査地点において投網、タモ網（手網）及びカゴ網を用いて、魚類、底生動物を採集した。

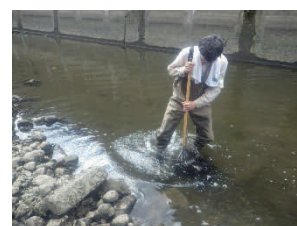
採集した個体は現地で種の同定、個体の計測、写真撮影を行い、再放流した。現地での同定が困難な個体については、10%ホルマリンで固定して持ち帰り、実体顕微鏡下で同定した。底生動物については、肉眼でみえる個体を採集対象とした。



投網



カゴ網



タモ網

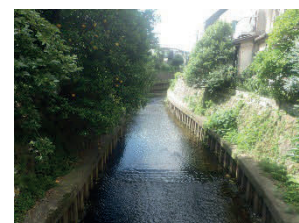
2 調査結果

① 河川状況

(1) 東埼橋上流付近

東埼橋直下に S 型の淵があり、更にその下流に高い落差工がある。増水によりかなり水位が上昇しなければこの落差を魚類が遡上することは困難と考えられる。淵の上流は水際が綱矢板等で護岸され、河床が布型枠等で護床されている。

カゴ網は子安橋の上・下流部で、やや淵状になっている 2 箇所に設置した。



(2) 白藤橋付近

河床はコンクリート張りであるが、白藤橋の下流約 100m の位置に土砂が堆積しており、浅い淵と瀬が形成されている。

カゴ網は白藤橋の下流のやや淵状になっている 2 箇所に設置した。



② 魚類調査結果

白子川の2地点全体では、ニホンウナギ、オイカワ、アブラハヤ、モツゴ、ドジョウ、アユ、ヌマチチブなど、4目6科14種の魚類が確認された。

出現種のうち、「環境省 RL2020」に該当する種として、絶滅危惧ⅠB類に該当するニホンウナギ、準絶滅危惧に該当するドジョウが確認された。

「東京都 RL2020 区部」に該当する種として、絶滅危惧ⅠB類に該当するニホンウナギ、絶滅危惧Ⅱ類に該当するアブラハヤ、準絶滅危惧に該当するマルタ、ウキゴリ、ヌマチチブ、情報不足に該当するオイカワ、ドジョウ、シマヨシノボリ、旧トウヨシノボリ類が確認された。

外来種については「特定外来生物」に該当する種は確認されなかった。

.....

○「環境省 RL2020」：環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）2020年
絶滅危惧ⅠB類（EN）：ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

準絶滅危惧（NT）：現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種

○「東京都 RL2020 区部」：東京都レッドリスト（本土部）2020年版

絶滅危惧ⅠB類（EN）：ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの

絶滅危惧Ⅱ類（VU）：現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの

準絶滅危惧（NT）：現時点での絶滅危険度は小さいが、生育・生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの

情報不足（DD）：環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリーに移行し得る属性を有しているが、生息状況をはじめとして、ランクを判定するに足る情報が得られていないもの

○外来種

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」環境省に指定された種（2017）。

「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」環境省及び農林水産省に指定された種（2016）

.....

魚類調査結果

No.	目名	科名	種名		白子川		合計	環境省 RL 2020	東京都 RL 2020 区部	外来種
					① 東埼橋 上流付近	② 白藤橋 付近				
1	ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ			4	4	EN	EN	
2	コイ目	コイ科	オイカワ			16	16		DD	
3			アブラハヤ		3	2	5		VU	
4			マルタ			3	3		NT	
5			モツゴ			1	1			
6			ドジョウ科	ドジョウ		2		2	NT	DD
7	サケ目	アユ科	アユ			1	1			
8	スズキ目	ボラ科	ボラ			3	3			
9		ハゼ科	ウキゴリ			3	3		NT	
10			マハゼ			2	2			
11			ヌマチチブ			47	47		NT	
12			シマヨシノボリ		8		8		DD	
13			旧トウヨシノボリ類		5		5		DD	
14			スミウキゴリ		13		13			
計	4 目	6 科	14 種	種類数計	5	10	14	2	9	0
				個体数計	31	82	113			

・種名及び配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 2021」に従った。

地点別魚類捕獲状況

地点		No.	種名	体長(mm)		個体数	備考
				最大	最小		
白子川	①東埼橋上流付近	1	アブラハヤ	33	16	3	
		2	ドジョウ	62	37	2	
		3	シマヨシノボリ	64	34	8	
		4	旧トウヨシノボリ類	55	31	5	
		5	スミウキゴリ	95	47	13	
	②白藤橋付近	1	ニホンウナギ	520	412	4	
		2	オイカワ	29	23	16	
		3	アブラハヤ	31	21	2	
		4	マルタ	61	46	3	
		5	モツゴ	26	—	1	
		6	アユ	68	—	1	
		7	ボラ	65	53	3	
		8	ウキゴリ	52	50	3	
		9	マハゼ	82	84	2	
		10	ヌマチチブ	72	23	47	

個体写真



オイカワ



モツゴ



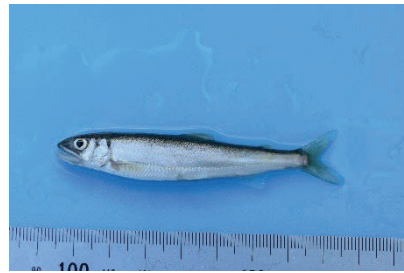
アブラハヤ



マルタ



ドジョウ



アユ



ボラ



ウキゴリ



ヌマチチブ

② 底生生物調査

白子川全体では、チリメンカワニナ、シマイシビル、カワリヌマエビ属、アメンボなど、13 目 25 科 29 種の底生動物が確認された。

出現種に、「環境省 RL2020」に該当している種はなかったが、「東京都 RL2020 本土部」の留意種に該当する種として、モクズガニが確認された。

外来種については「特定外来生物」に該当する種は確認されなかったが、「緊急対策外来種」に該当するアメリカザリガニ、「その他の総合対策外来種」に該当するフロリダマミズヨコエビが確認された。

モクズガニは、生息環境として「東京湾沿岸に注ぐ大型河川の下流域から中流域に生息する。水から離れることはなく、土手などに穴居するほか、石の下に潜む。」とされ、また、生存に対する脅威や保全上の留意点として、「河口域の水質汚染の影響を受ける他、特定外来生物であるチュウゴクモクズガニ(シャンハイガニ)との競合が懸念される。」とされている。(「レッドデータブック東京 2013～東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)解説版～」より抜粋)

アメリカザリガニは 1920 年代頃、米国から日本に食用ウシガエル養殖用の餌として持ち込まれ、湿地や水田など日本各地に広く分布する。雑食性で、さまざまな環境の動植物を摂食することから多くの生物に影響を及ぼす。

フロリダマミズヨコエビは北米原産で、国内では 1989 年に利根川支流にて初めて確認され、侵入後 20 年程度で日本各地に分布を拡大した。水槽で栽培されていた水草とともに野外に捨てられ、野性化した可能性が指摘されており、ペットショップで販売されているホテイアオイからも検出されている。本種の侵入地で多種のヨコエビが見られなくなる地域が報告されている。

○「環境省 RL2020」:環境省版レッドリスト(絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト)2020 年

○「東京都 RL2020 区部」:東京都レッドリスト(本土部)2020 年版)

○外来種

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」環境省. に指定された種(2017)。

「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」環境省及び農林水産省. に指定された種(2016)

緊 急:緊急対策外来種。対策の緊急性が高く、積極的に防除を行う必要がある種

その他:総合対策外来種のうち、緊急対策外来種、重点対策外来種以外の種

未評価:未評価であるが国外外来種



チリメンカワニナ



モクズガニ

底生動物調査結果

No.	目名	科名	種名	白子川		合計	環境省 RL 2020	東京都 RL 2020 区部	外来種	
				① 東埼玉橋 上流 付近	② 白藤橋 付近					
1	三岐腸目	サンカクアタマウズムシ科	アメリカツノウズムシ	26	1	27			未評価	
2	新生腹足目	カワニナ科	チリメンカワニナ	14		14				
3	汎有肺目	サカマキガイ科	サカマキガイ		1	1			未評価	
4		ヒラマキガイ科	ヒロマキミズマイマイ	1	2	3			未評価	
5	オヨギミズ目	オヨギミズ科	オヨギミズ科	1		1				
6	吻無蛭目	イシビル科	シマイシビル	5	2	7				
7		ナガレビル科	ナガレビル科		1	1				
8	ヨコエビ目	マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ	2		2			その他	
9	ワラジムシ目	ミズムシ科	ミズムシ	6	5	11				
10	エビ目	ヌマエビ科	カワリヌマエビ属	40	2	42				
11		アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	7		7			緊急	
12		モクズガニ科	モクズガニ	5	2	7		留		
13	カゲロウ目	マダラカゲロウ科	エラブタマダラカゲロウ	2	2	4				
14	(蜉蝣目)	コカゲロウ科	フタバコカゲロウ		1	1				
15			サホコカゲロウ		8	8				
16			ウスイロフトヒゲコカゲロウ	1		1				
17			ウデマガリコカゲロウ	5	5	10				
18	カメムシ目 (半翅目)	アメンボ科	アメンボ	4	5	9				
19	トビケラ目	シマトビケラ科	コガタシマトビケラ	1		1				
20	(毛翅目)		コガタシマトビケラ属	7		7				
21		クダトビケラ科	クダトビケラ属		2	2				
22		ヒメトビケラ科	ヒメトビケラ属	2	3	5				
23		ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ	1		1				
24		ヒゲナガトビケラ科	アオヒゲナガトビケラ属		2	2				
25	ハエ目	ガガンボ科	ガガンボ属	1		1				
26	(双翅目)	ユスリカ科	ヒゲユスリカ属	4	10	14				
27		ブユ科	ツノマユブユ属	1		1				
28	コウチュウ目	ガムシ科	コモンシジミガムシ	1		1				
29	(鞘翅目)	ヒラタドロムシ科	マスダチビヒラタドロムシ	2	8	10				
計	13 目	25 科	29 種	種類数計	23	18	29	0	1	5
				個体数計	139	62	201			

3 調査結果のまとめ

東埼橋上流付近の確認種は、経年的にスミウキゴリが多く、次いでドジョウなどが確認されている。調査水域は水深が浅く、瀬や淵、寄り州などの環境が少なく単調であるため、魚類にとっては生息環境が少ない地点で、確認種類数は、平成 22 年以前は 9 種、平成 23 年からは 3～6 種程度である。本年度はアブラハヤ、ドジョウ、スミウキゴリのほか、前回調査で確認されなかったシマヨシノボリ、旧トウヨシノボリ類が再び確認され、全体では 5 種の魚類が確認された。大きな変化はなく、例年通りの状況であった。

白藤橋付近では、平成 22 年以前は 19 種、平成 23 年からはコイ、マルタ、アユ、ボラ、ヌマチチブなど 7～12 種が確認されており、本年度も同様な種が確認され、全体では 10 種の魚類が確認された。この地点は砂泥や礫などの堆積があり、小規模ながら瀬、淵などの環境がある。廃棄された鉄パイプの中などにはニホンウナギやマハゼなどが確認されている。また、この地点は感潮域でニホンウナギ、マルタ、アユ、スズキ、ボラ、スミウキゴリ、マハゼ、ヌマチチブなど汽水域に生息する魚種を中心に確認種類の多い地点である。本年度もニホンウナギ、アユ、ボラ、マハゼ、ヌマチチブなど汽水域に生息する種が確認された。また、平成 29 年以外毎回到確認されていたコイは確認されなかったが、これまであまり確認されていなかったオイカワが、平成 23 年度以来、再び確認された。

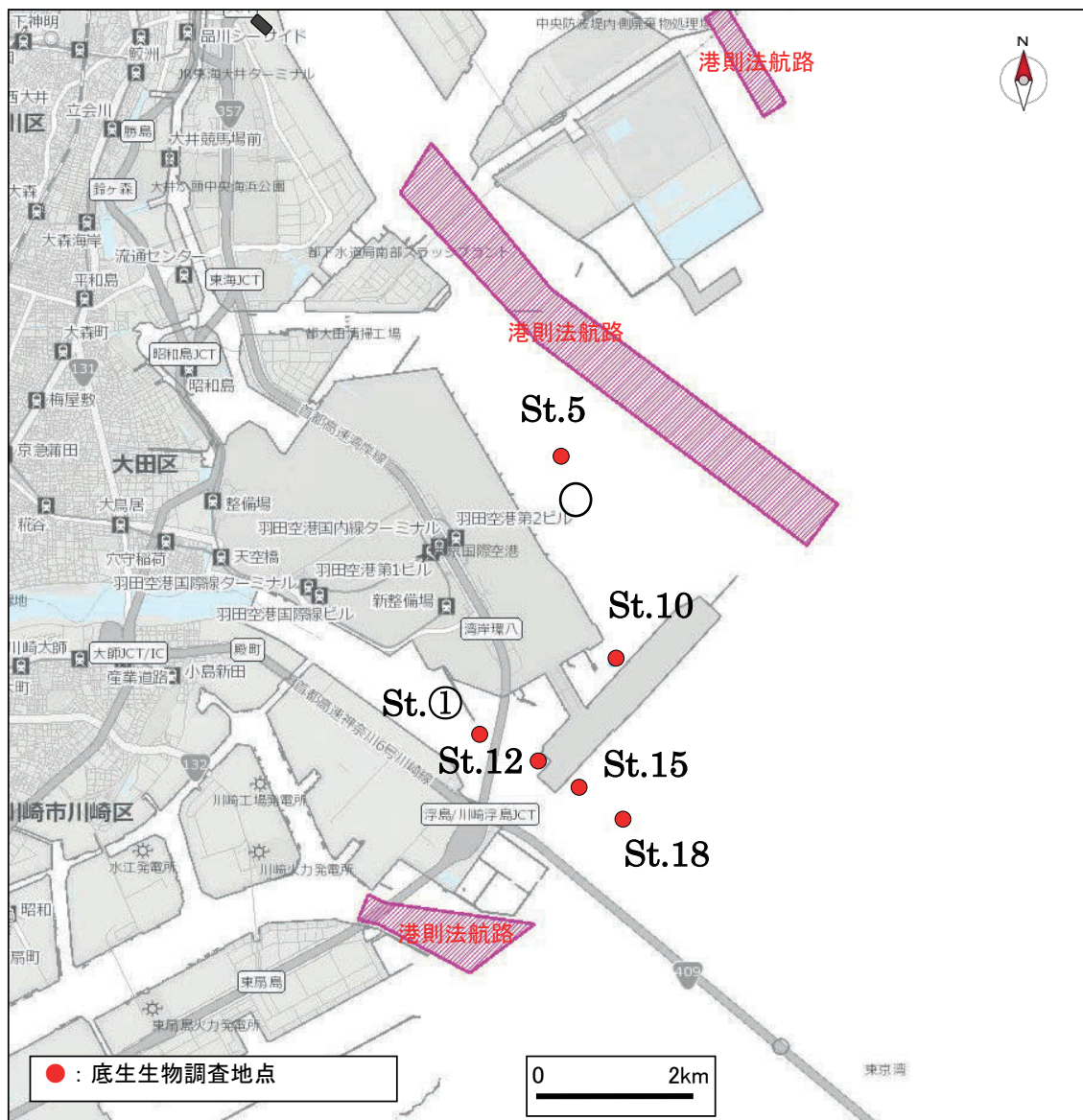
生息する種類や個体数の変動の要因としては、各調査地点とも河川構造が概ね単純な 3 面張り護岸となっており、近年多発するゲリラ豪雨等の急激な増水により河道が洗われてしまうため、大半の魚類が、下流に押し流されたり、逆に上流から流されて来たりすることによるものと考えられる。したがって、今後も魚類相の変化や個体数の変動について継続して把握することが必要であると考えられる。

生物調査（干潟以外）のレポート⑤

実施・主催機関	調査場所・地点名	実施日	調査内容
国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所	東京湾内	①8月3日 ②8月1日、2日、8日、10日	①海底に生息する底生生物、 ②浅場に生息する水生生物

生物調査の結果

団体名	東京空港整備事務所	
調査地点名	St. ⑤、St. 10、St. 12、St. 15、St. 18、St. ①	
位置座標	緯度	St. ⑤ 35° 33' 37.2"、St. 10 35° 32' 10.2" St. 12 35° 31' 29.4"、St. 15 35° 31' 18.0" St. 18 35° 31' 04.2"、St. ① 35° 31' 42.0"
	経度	St. ⑤ 139° 48' 11.4"、St. 10 139° 48' 39.0" St. 12 139° 48' 03.0"、St. 15 139° 48' 21.0" St. 18 139° 48' 43.8"、St. ① 139° 47' 30.0"
実施年月日	令和4年8月3日	



調査位置図

【対象生物】

海底に生息する底生生物

【調査の様子】

グラブ式採泥器を用いて1地点で底質を3回採取し、0.5mm 目のフルイでふるった後に残ったものを試料とした。試料を保存容器に入れて約10%濃度のホルマリンで固定し、分析室にて出現種の同定、個体数の計数、湿重量の測定を行った。



グラブ式採泥器



ふるい状況



底生生物試料

【主な出現種の写真】



環形動物門：シノブハネエラスピオ



環形動物門：イトエラスピオ



環形動物門：ハナオカカギゴカイ

※写真中の1メモリは、1mmを示す。

【調査結果】

出現種数は2～23種類の範囲であり、St. 15 で最も少なく、St. ①で最も多かった。

出現個体数は27～8,127 個体/m²の範囲であり、St. 12 で最も少なく、St. 10 で最も多かった。

出現種の湿重量は0.1～31.7g/m²の範囲で、St. 12 で最も少なく、St. ①で最も多かった。

主な出現種は、環形動物門のシノブハネエラスピオ、イトエラスピオおよびハナオカカギゴカイであった。また、河口域の St. ①では軟体動物門のホトトギスガイが多く出現した。

表 底生生物の調査結果概要

項目		地点	空港北東側	事業実施区域			沖合	多摩川河口域
		St.⑤	St. 10	St. 12	St. 15	St. 18	St. ①	
種数 (種/㎡)	環形動物門	4	13	3	2	2	10	
	軟体動物門		1				8	
	節足動物門						3	
	その他		1				2	
	合計	4	15	3	2	2	23	
個体数 (個体/㎡)	環形動物門	2,520	8,107	27	393	340	2,527	
	軟体動物門		13				960	
	節足動物門						187	
	その他		7				700	
	合計	2,520	8,127	27	393	340	4,374	
湿重量 (g/㎡)	環形動物門	4.4	14.8	0.1	0.9	1.5	7.8	
	軟体動物門		12.3				21.5	
	節足動物門						1.3	
	その他		1.7				1.2	
	合計	4.4	28.8	0.1	0.9	1.5	31.7	
個体数による優占種上位5種 (個体/㎡ (％)) ※8個体以上のみ記載		シノブハネエラスピオ	イトエラスピオ	カタマカギホシシイソメ	カタマカギホシホシイソメ	カタマカギホシホシイソメ	Tharyx属	
		1,160 (46.0)	2,773 (34.1)	13 (48.1)	340 (86.5)	280 (82.4)	1,413 (32.3)	
		イトエラスピオ	ハナオカカギゴカイ		ハナオカカギゴカイ	ハナオカカギゴカイ	ホトトギスガイ	
		767 (30.4)	2,293 (28.2)		53 (13.5)	60 (17.6)	700 (16.0)	
		カタマカギホシシイソメ	シノブハネエラスピオ				紐形動物	
		333 (13.2)	2,127 (26.2)				673 (15.4)	
		ハナオカカギゴカイ	Mediomastus属				Mediomastus属	
		260 (10.3)	500 (6.2)			627 (14.3)		
			Polydora属			ハナオカカギゴカイ		
			140 (1.7)			240 (5.5)		
備考		空白は、出現種(該当種)がないことを示す。 湿重量の「+」は、0.1m/㎡未満を示す。						

生物調査の結果

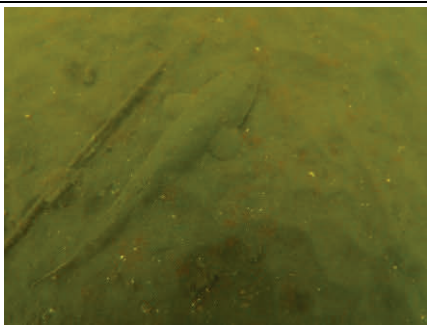
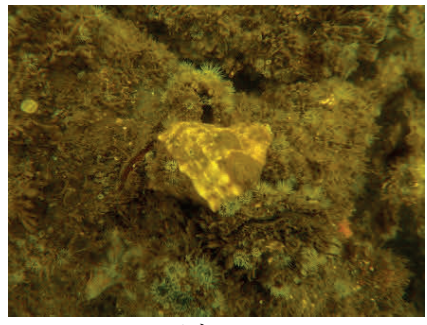
団体名	国土交通省関東地方整備局東京空港整備事務所	
調査地点名	①St. 1-1、②St. 1-2、③St. 1-3、④St. 1-4、⑤St. 3、⑥St. 5	
位置座標 (可能であれば)	緯度	①N35° 33' 59"、②N35° 34' 01"、③N35° 33' 55"、 ④N35° 33' 56"、⑤N35° 32' 08"、⑥N35° 32' 01"
	経度	①E139° 47' 27"、②E139° 47' 31"、③E139° 47' 31"、 ④E139° 47' 35"、⑤E139° 48' 21"、⑥E139° 47' 18"
実施年月日	①令和4年8月1日、②令和4年8月1日、③令和4年8月2日、 ④令和4年8月2日、⑤令和4年8月10日、⑥令和4年8月8日	

【対象生物】

浅場に生息する水生生物

【調査結果概要】

主な確認種の写真

	
マゴチ	イシガニ
	
アカニシ	マダコ
	
モミジガイ	海鰓目

① ～④ St. 1-1～St. 1-4 では、以下の種が認められました。

(底生動物)

調査方法：スミス・マッキンタイヤ型採泥器による3回採泥
 単 位：1m²あたりの個体数および湿重量(g)

No	種 名	調査地点		Stn. 1-1		Stn. 1-2		Stn. 1-3		Stn. 1-4	
		個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	ウミサツキヤ科	+	0.80	+	0.13	+	0.33				
2	ヒトリ虫綱			+	+						
3	イソギンチャク目	7	+	180	0.93					1,007	4.00
4	ヒラムシ目	20	+	40	0.07	80	0.20			20	+
5	紐形動物門	1,947	1.60	213	0.33	900	0.93			173	0.07
6	線形動物門			20	+					80	+
7	シマハマツボ					7	+				
8	リソツボ科			20	+	87	+				
9	シモノウツネカイ	53	0.13	180	5.53					20	0.20
10	アラムシロ									7	2.47
11	裸側目	7	+								
12	ヘコミツラカイ科	7	+			73	+				
13	キセツカイ属	60	4.40	40	1.13	87	2.00			120	0.27
14	カノコキセツカイ科	40	0.47	7	+	13	0.07				
15	ブトウカイ科			7	+	13	+				
16	<i>Orinella</i> sp.					27	0.07			7	0.20
17	<i>Turbonilla</i> sp.	7	+	13	0.07	40	0.20				
18	ミシヨイトカギ	13	0.13								
19	<i>Cingulina</i> sp.			7	+						
20	<i>Megastomia</i> sp.			27	0.13						
21	トウカカイ科			7	+	53	+				
22	腹足綱					7	+				
23	サルボウ			33	63.93	7	12.27			20	30.93
24	サルボウ属			7	+						
25	ムラサキカイ			13	+	7	+				
26	コウロエンカワヒバカリカイ	13	+	47	0.13						
27	ミドリカイ			73	0.13	33	+			47	+
28	ヒバカリカイ属	47	0.07	933	1.93					413	1.00
29	タマエカイ属	7	0.07	340	2.40	107	0.53			320	2.13
30	ホトキスカイ	11,900	93.67	2,527	92.47	7,093	81.33			1,687	36.33
31	ササナミカイ科					7	0.07			7	0.47
32	ブンゾクヤトリカイ科			167	0.20	7	+				
33	キヌマトカイ			67	3.67					13	0.53
34	ケシトリカイ	453	0.27	653	0.13	913	0.27			613	0.27
35	トリカイ	13	8.80								
36	サルカイ科	147	+	73	+	160	+				
37	ホンビノスカイ	7	0.07								
38	カガミカイ					40	0.47				
39	アザリ	413	5.47	1,267	73.33	460	48.07			7	0.20
40	ウチムラサキ									20	2.33
41	マルスターレカイ科			13	+	7	+			313	0.07
42	ウスカラシオツカイ	140	1.20	1,073	4.40	140	1.20			340	2.07
43	サクラカイ	7	0.27			27	0.33				
44	シラトリカイ属			13	0.13						
45	ニッコウカイ科	27	+	47	+	127	0.13				
46	シズクカイ	1,087	4.33	1,660	8.60	1,693	10.13			320	1.93
47	マテカイ属					7	0.07				
48	チヨハナカイ	47	0.67	47	0.47	127	6.93				
49	<i>Harmothoe</i> sp.	347	0.53	307	0.40	133	1.07			267	0.80
50	<i>Eumida</i> sp.	107	0.07	567	0.13	587	0.27				
51	サシハゴカイ科			140	+					7	+
52	アルハチロリ					27	0.13				
53	チロリ			20	0.67						
54	オノミチロリ	7	2.13	7	2.20						
55	<i>Glycera</i> sp.	13	0.33							7	0.20
56	<i>Glycinde</i> sp.	27	0.20	53	0.27	60	0.47			67	0.33
57	<i>Oxydromus</i> sp.	273	+	307	0.53	367	0.27			80	0.27
58	タレメトヒメ	13	+								
59	オトヒメゴカイ科	13	+			33	0.07				
60	ハナオカギゴカイ	3,920	3.13	2,707	2.40	3,240	4.60			1,173	0.87
61	<i>Typosyllis</i> sp.			7	+						

注：「+」がある場合、個体数欄は群體等の出現を、湿重量欄は0.01g未満を示す。

調査方法：スミス・マッキンタイヤ型採泥器による3回採泥
 単位：1m²あたりの個体数および湿重量(g)

No	種 名	調査地点		Stn. 1-1		Stn. 1-2		Stn. 1-3		Stn. 1-4	
		個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
62	シス亜科	7	+								
63	オキコカイ	33	0.60	73	2.53	60	1.00	33	0.20		
64	コカイ科			7	+	13	+	33	0.07		
65	<i>Bhawania</i> sp.	13	+	73	0.13	120	0.13	107	0.07		
66	ミナシロカネコカイ	100	1.00	13	0.13	107	0.93	7	+		
67	<i>Nephtys</i> sp.	40	0.07					7	+		
68	<i>Eunice</i> sp.			7	+						
69	カタカリギホシイソメ	67	0.27	60	0.13	60	0.47	33	0.07		
70	<i>Schistomeringos</i> sp.	20	+	127	0.13	20	0.13	133	+		
71	ケンサキシビオ	280	0.87	147	0.60	160	0.53	47	0.13		
72	<i>Boccardiella</i> sp.	60	0.13	67	0.27			27	+		
73	<i>Dipolydora</i> sp.	7	+	53	0.07	33	+	80	+		
74	スヘスヘハネエラスビオ	107	+	7	0.13						
75	シロハネエラスビオ	87	0.40	107	0.40	320	2.47	73	0.20		
76	<i>Polydora</i> sp.	80	0.27	333	0.20	953	0.80	353	0.13		
77	ミツハネビオ	220	+	127	0.13	260	0.27	107	0.07		
78	イトエラスビオ	20	+	2,480	0.53	393	+				
79	フタエラスビオ	120	+								
80	<i>Prionospio</i> sp.	80	+	7	+	53	+				
81	<i>Pseudopolydora</i> sp.	113	+	7	+						
82	<i>Scoelepis</i> sp.	967	0.73	273	0.13	880	1.80	33	+		
83	モロコカイ	13	0.33			7	0.20				
84	ツハサコカイ属	7	0.07	13	+						
85	アシビキツハサコカイ	7	+								
86	<i>Chaetozone</i> sp.	7	0.07			27	0.07	7	0.07		
87	ミスビコカイ	2,707	72.33	540	15.93	713	51.07	27	5.47		
88	<i>Tharyx</i> sp.	613	0.93	7	+	160	0.53	13	0.07		
89	<i>Timarete</i> sp.							7	8.80		
90	ミスビコカイ科					53	+				
91	ハボウキコカイ科	20	0.13			7	+				
92	イトコカイ属					107	+				
93	<i>Mediomastus</i> sp.	3,340	1.40	4,267	1.47	3,807	1.40	1,047	0.53		
94	<i>Notomastus</i> sp.					13	0.20	27	+		
95	チマキコカイ	160	1.13	100	2.53	87	0.20	27	0.67		
96	ウミサコムシ	7	0.07	20	0.80	33	0.33	13	0.33		
97	アリアケカンムリコカイ	367	1.13	187	0.53	93	0.20	320	0.27		
98	カザリコカイ科			53	0.53	13	0.07	47	0.20		
99	<i>Chone</i> sp.	693	6.93	1,287	9.87	1,580	7.87	540	4.40		
100	<i>Euchone</i> sp.	13	+			33	0.07				
101	<i>Parasabella</i> sp.					33	1.07	7	0.07		
102	ケヤリムシ科	7	+	167	+			53	+		
103	<i>Hydroides</i> sp.			7	0.07						
104	ウミグモ綱	7	+								
105	<i>Monocorophium</i> sp.			7	+						
106	ツノイトカリ属			13	3.87			13	0.87		
107	クモガニ科							7	+		
108	イッカククモガニ			27	1.40	13	1.00	13	0.93		
109	ヨコナカモトギ	20	0.20								
110	イソガニ属	7	0.07								
111	オキビソノ			20	0.27	7	0.33				
112	カクレガニ科							7	0.07		
113	カニ亜目			7	+						
114	<i>Phoronis</i> sp.	167	0.53	420	1.47	160	0.20	80	0.13		
115	カキクモヒトデ	13	0.20	40	0.73	7	0.13				
116	クモヒトデ綱			20	0.07			13	+		
117	カタユレイボヤ					33	74.33				
118	<i>Ciona</i> sp.					40	17.87				
119	サボヤ					33	8.13	27	3.60		
120	シロボヤ			13	53.80	7	12.40				
121	シロボヤ科			547	21.00	40	5.60	167	16.13		
122	フクロボヤ科	100	2.47	373	69.27	333	107.80	300	70.00		
123	杵綱	40	0.20	27	+	213	0.53	147	0.93		

注：「+」がある場合、個体数欄は群体等の出現を、湿重量欄は0.01g未満を示す。

(魚介類)

調査期日：令和4年8月1日、8月2日

調査方法：潜水目視観察

No	調査地点	St. 1-1, 1-2	St. 1-3, 1-4
	種 名		
1	珪藻綱	●	
2	イダシ科	●	●
3	海綿動物門	●	
4	ウミサボテン	●	●
5	海鰓目	●	●
6	ヒドロムシ綱	●	
7	イソギンチャク目	●	●
8	アカニシ	●	●
9	ツメタカイ(卵塊)	●	●
10	マダコ		●
11	ツバサコカイ科(棲管)	●	●
12	カンザシコカイ科	●	
13	ミスヒキコカイ	●	●
14	コカイ綱		●
15	イシカニ	●	●
16	モミシカイ	●	●
17	トゲモミシカイ	●	●
18	ユウレイホヤ	●	●
19	シロホヤ	●	●
20	ツバクロエイ		●
21	ハセ科	●	●
22	カワハギ	●	
23	マコチ	●	
24	カレイ科		●
25	ネスッホ科		●

⑤ St.3 では、以下の種が認められました。

(魚介類)

調査期日：令和4年8月10日

調査方法：潜水目視観察

No	種 名	調査地点	St.3
1	珪藻綱		●
2	イソギンチャク		●
3	海綿動物門		●
4	ウミサボテン		●
5	海鰓目		●
6	ヒトロムシ綱		●
7	タテシマキンチャク		●
8	イソギンチャク目		●
9	コケムシ綱		●
10	アカニシ		●
11	レイシカイ		●
12	ウミウシ目		●
13	ムラサキガイ		●
14	ミドリガイ		●
15	イタボカギ科		●
16	ツハサコガイ科(棲管)		●
17	カンザシコガイ科		●
18	ミスヒキコガイ		●
19	端脚目(棲管)		●
20	ヤトカリ亜目		●
21	イシガニ		●
22	クモヒトデ綱		●
23	イトマキヒトデ		●
24	マナコ		●
25	ユウレイボヤ属		●
26	エボヤ		●
27	シロボヤ		●
28	アカオビシマハゼ		●
29	マゴチ		●

⑥ St.5 では、以下の種が認められました。

(底生動物)

調査期日：令和4年8月8日

調査方法：スミス・マッキンタイヤ型採泥器による3回採泥

単 位：1m²あたりの個体数および湿重量(g)

No	種 名	調査地点 St. 5	
		個体数	湿重量
1	イソギンチャク目	7	0.60
2	紐形動物門	1,093	1.40
3	アラムシロ	187	91.20
4	ホトキスガイ	7	+
5	ホンビノスガイ	87	1.00
6	アサリ	627	18.33
7	マテガイ	387	5.73
8	ハカガイ	13	0.93
9	シオフキ	13	0.60
10	ハカガイ属	47	+
11	<i>Eteone</i> sp.	207	0.13
12	マキントシロリ	20	2.87
13	<i>Glycera</i> sp.	40	0.07
14	<i>Oxydromus</i> sp.	7	+
15	ハヤテシロカネコカイ	7	0.73
16	ミナシロカネコカイ	7	0.13
17	シノブハネエラスビオ	7	+
18	ヤマトスビオ	47	+
19	イトエラスビオ	20	+
20	ヒゲスビオ	120	0.07
21	マトカスビオ	7	+
22	<i>Mediomastus</i> sp.	247	0.33
23	<i>Armandia</i> sp.	260	0.13
24	ニッポントロコエビ	73	0.07
25	ムロミナウミナナシ	13	0.07
26	ミツオビクマ	20	+

注：「+」がある場合、個体数欄は群体等の出現を、湿重量欄は0.01g未満を示す。

生物調査（干潟以外）のレポート⑥

実施・主催機関	調査場所・地点名	実施日	調査内容
国土交通省 関東地方整備局	臨港パーク	8月5日	浅場（砂地）及び石積、護岸の水生生物

生物調査の結果

団体名	国土交通省 関東地方整備局		
調査地点名	臨港パーク（神奈川県横浜市）		
位置座標 （可能であれば）	緯度	N 35° 27′ 42.407″	
	経度	E 139° 38′ 17.795″	
実施年月日	令和４年８月５日		

【対象生物】

浅場（砂地）及び石積、護岸に生息する水生生物

【調査結果概要】

臨港パーク（神奈川県横浜市）で確認された水生生物について、添付の一覧表及び写真に示します。

東京湾一斉調査 生物調査(干潟以外) 臨港パーク確認種一覧

	門名	綱名	目名	科名	種名	施設環境、水深
植	緑藻植物	緑藻	アオサ	アオサ	アオサ属	砂底、コンクリート護岸 Y.P.+0.5～-1m
			ミル	ミル	ミル	石積 Y.P.-1.0～-4.0m
			シオグサ	シオグサ	シオグサ属	コンクリート護岸 Y.P.+0.5～±0.0m
物	紅藻植物	紅藻	スギノリ	ムカデノリ	ヒラムカデ	コンクリート護岸 Y.P.+0.5～±0.0m
	維管束植物	トクサ	オモダカ	アマモ	アマモ(※移植)	砂底 Y.P.-1.0m
	動	刺胞動物	ヒドロ虫			ヒドロ虫綱
花虫			イソギンチャク	タテジマイソギンチャク	タテジマイソギンチャク	石積、コンクリート護岸 Y.P.+0.5～-1.0m
軟体動物	二枚貝	カキ	イガイ	イタボガキ	マガキ	砂底、石積 Y.P.-1.0～-2.0m
				イガイ	ホトギスガイ	砂底 Y.P.-1.0m
				ムラサキイガイ		砂底、石積 Y.P.-1.0～-2.0m
				ミドリイガイ		砂底、石積 Y.P.-1.0～-2.0m
				マルスダレガイ	マルスダレガイ	ウスカラシオツガイ
					アサリ	砂底 Y.P.-1.0m
				腹足	吸殻	カリバガサガイ
				アツキガイ	レイシガイ	コンクリート護岸 Y.P.-2.0m
					イボニシ	砂底、石積、コンクリート護岸 Y.P.+0.5～-2.0m
				裸鰓	クロシタナシウミウシ	クロシタナシウミウシ
	頭足	タコ	マダコ	マダコ	砂面 Y.P.-1.0m	
	環形動物	多毛	ケヤリムシ		カンザシゴカイ科	砂底、石積、コンクリート護岸 Y.P.+0.5～-7.3m
			クテナドリルス		ミスヒキゴカイ科	砂底、石積、コンクリート護岸 Y.P.-4.0m
	苔虫動物	苔虫			苔虫綱	コンクリート護岸 Y.P.+0.5～±0.0m
	節足動物	顎脚	無柄	フジツボ	アメリカフジツボ	石積 Y.P.-1.0～-2.0m
				サンカクフジツボ	石積 Y.P.-4.0m	
軟甲		十脚	ガザミ/ワタリガニ	イシガニ	石積 Y.P.-1.0～-4.0m	
棘皮動物	ヒトデ	アカヒトデ	イトマキヒトデ	タイワンガザミ	砂底または石積 不明	
脊索動物	ホヤ	マメボヤ	ユウレイボヤ	カタユウレイボヤ	石積、コンクリート護岸 Y.P.-1.0～-7.3m	
		マボヤ	シロボヤ	シロボヤ	砂底、石積、コンクリート護岸 Y.P.-1.0～-7.0m	
	条鰭		ボラ	ボラ	ボヤ綱(単体性)	石積、コンクリート護岸 Y.P.±0.0～-4.0m
				ボラ		石積 Y.P.-1.0m
			スズキ	タイ	コショウダイ	砂底または石積 不明
					クロダイ	石積 Y.P.-2.0m
					キチヌ	石積 Y.P.-2.0m
					ウミタナゴ	石積 Y.P.-2.0m
					メジナ	石積 Y.P.-2.0m
					ペラ	砂底 Y.P.-1.0m
					ボンバラ	砂底 Y.P.-1.0m
					イソギンボ	石積 Y.P.-1.0m
					アゴハゼ属	石積、コンクリート護岸 Y.P.-1.0～-6.0m
					シマハゼ類	砂底、石積、コンクリート護岸 Y.P.±0.5～-6.0m
					マハゼ	砂底または石積 不明
		チチブ属	砂底または石積 不明			
物	フグ	カウハギ	アミマハギ	石積 Y.P.-1.0～-6.0m		
		フグ	コモシフグ	石積 Y.P.-1.0m		
				クサフグ	コンクリート護岸 不明	

生物調査（干潟以外）のレポート⑦

実施・主催機関	調査場所・地点名	実施日	調査内容
合同会社オフショアテクノロジー	神奈川県立観音崎公園 海岸園地前の磯	8月11日	潮間帯に生息する水生生物

団体名	合同会社オフショアテクノロジーズ		
調査地点名	神奈川県立観音崎公園 海岸園地前の磯		
位置座標 (可能であれば)	緯度	N 35° 15' 26.600"	
	経度	E 139° 44' 42.774"	
実施年月日	2022 年 8 月 11 日 (木) 9:00～11:30 頃 ※干潮：10:34, 10cm (横須賀), 大潮		

【対象生物】

潮間帯に生息する水生生物

【調査概要】

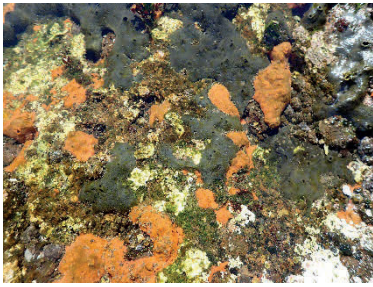
神奈川県立観音崎公園の海岸園地前の磯（下図の赤枠）にて、干潮時に底生生物を中心とした水生生物の目視による観察を行った。調査日の天気は、晴れ時々曇り、気温：29.5度、水温：26.2

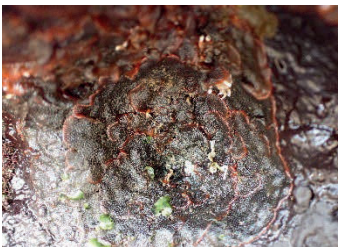


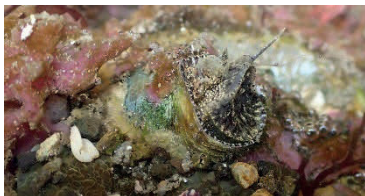
画像 ©2022 Google、画像 ©2022 Digital Earth Technology、Maxar Technologies、Planet.com、地図データ ©2022

【調査結果】

以下の 54 種の生物が観察された。

1	海綿動物	ダイダイイソカイメン		潮間帯の上部に多数生息していた。
2		クロイソカイメン		潮間帯の上部に多数生息していた。
3		ムラサキカイメン		ダイダイイソカイメンやクロイソカイメンよりも潮間帯の下の方に多く見られた。
4		ナミイソカイメン？		黄緑色をしたカイメン。数は少ない。
5		カイメンの一種		オレンジ色のカイメン。ダイダイイソカイメンよりも色が薄く、凹凸が多い。数は少ないが所々で見られた。
6	刺胞動物	タテジマイソギンチャク		潮間帯の比較的上部に密集して生息していた。調査地点の中では最も個体数の多い種のひとつであった。
7		ヨロイイソギンチャク		調査地点の至る所で多く見られたイソギンチャク。
8		ウメボシイソギンチャク		タテジマイソギンチャク、ヨロイイソギンチャクに比べて数は少ないが岩陰にて観察された。

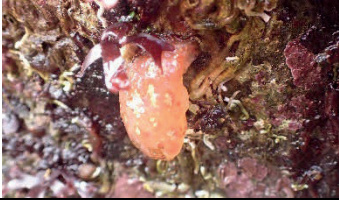
9		ベリルイソギンチャク		調査地点で多く見られた。
10		イソギンチャクの一種		潮間帯下部の岩陰の海藻上に付着。体幹部は透明で白い筋がある。触手の先端はややピンク色。体幹の直径 1cm 程度。数は少ない。
11		ヒドロ虫綱の一種？		潮間帯下部の岩陰の海藻上に付着していた。
12	触手動物	コケムシの一種		黒に赤の縁取りがされたコケムシの一種。潮間帯下部に普通に見られた。
13	軟体動物	ヒザラガイ		調査地点で多く見られた。
14		エガイ		転石の裏に足糸で付着していた。見つけたのはこの 1 個体のみ。
15		マツバガイ		調査地点で多く見られた。
16		ヨメガガサガイ		調査地点で多く見られた。

17	キクノハナガイ		調査地点で多く見られた。
18	ケガキ		潮間帯下部、波が良く当たる岩の上にて見られた。
19	スガイ		調査地点で多く見られた。
20	アマオブネ		調査地点で多く見られた。
21	オオヘビガイ		タイドプール内で数個体観察された。
22	イボニシ		調査地点で多く見られた。密集して生息していた。
23	巻貝の一種		体長約 1mm。紅藻の藻場にて観察された。
24	アカエラミノウミウシ		体地色は半透明の白色で、白色の斑点が散在する。潮間帯下部のタイドプール内にて観察された。

25		マダラウミウシ		調査地点で5個体程度見られた。
26	環形動物	ミズヒキゴカイ		岩の間の砂地に見られた。
27		ケヤリムシ		
28		ヤッコカンザシ		調査地点で多く見られた。
29	節足動物	イソガニ		
30		ヒライソガニ		
31		イワガニ		
32		ショウジンガニ		比較的好く目にした。調査中に少なくとも6個体は確認した。

33	ヨツハモガニ		
34	カメノテ		多くはないが数か所で密集しているのが観察された。
35	エビの一種		体長 1cm くらい。
36	エビの一種		体長 1cm くらい。
37	スジエビモドキ?		
38	クロフジツボ		潮間帯下部、波が良く当たる岩の上にて見られた。
39	イワフジツボ (?)		マツバガイの貝殻表面や岩の表面に密集しているのが多く見られた。
40	ワレカラの一種		体長約 7mm。紅藻の藻場を網ですくうとたくさん見られた。
41	ヨコエビの一種		体長約 5mm。紅藻の藻場を網ですくうとたくさん見られた。

42		ヘラムシ科の一種		転石の下に数個体がまとまって生息していた。
43		ホンヤドカリ		
44		フナムシ		非常にたくさん見られた。
45	棘皮動物	イトマキヒトデ		
46		ヌノメイトマキヒトデ		体長約 1.3 cm。転石の裏で見つけた。
47		ヒメヒトデ (?)		小型のヒトデ。潮間帯下部の岩に付着していた。
48		ムラサキウニ		調査地点全体では数は多くなかったが、まとまって数個体が見られた。
49	原索動物	群体性のホヤの一種		オレンジ色のイタボヤ様のホヤの仲間。
50		群体性のホヤの一種		赤紫色のイタボヤ様のホヤの仲間。

51		ホヤの一種		
52	脊椎動物	アゴハゼ		調査地点で多く見られた。
53		カサゴ		
54		ニシン目の稚魚？		群れで見られた。体長 1～2cm 程度。

【調査の様子】



調査地点の様子



調査の様子

生物調査（干潟以外）のレポート⑧

実施・主催機関	調査場所・地点名	実施日	調査内容
(株)日本海洋生物研究所	多摩川河口域	8月12日	コアマモ

生物調査の結果

団体名	(株) 日本海洋生物研究所		
調査地点名	多摩川河口域		
位置座標 (可能であれば)	緯度	N35° 32' 37.4" ～N35° 32' 37.6"	
	経度	E139° 45' 47.1" ～E139° 45' 47.2"	
実施年月日	2022 年 8 月 12 日 (大潮干潮時)		

【調査概要】

私たちは、2015年8月に大田漁業協同組合の組合員から寄せられた情報に基づき、多摩川河口（図1）において、東京湾では希少であるコアマモが局地的に生育していることを確認した。

2016年以降（コロナ禍であった2020・2021年を除く）は、東京湾一斉調査の一環として、その生育状況を継続的に調査している。

コアマモの生育面積は2016年から2019年にかけて5.1~16.3㎡の範囲で推移し（図2）、年により生育面積が増減するとともに中心位置が変化したものの、小規模ながら定着して地下茎が維持され、地上部の現存量が季節的・経年的に変化している多年生の群落として定着し維持されていることが確認された。

その後、2020年2月までは小群落が確認されたが、2020年6月以降はコアマモの生育は確認できていない。2022年も東京湾一斉調査にあわせて、8月の大潮の干潮時間帯に徒歩でコアマモの生育場所を広範囲に探査したが、発見することができなかった。多摩川河口域におけるコアマモ群落は消失したものと考えられる。



図1 調査地点

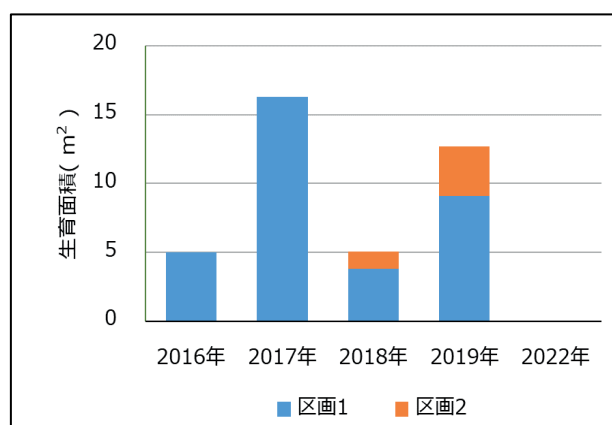


図2 生育面積の推移

しかしながら、2022 年 8 月上旬、図 1 の調査地点より上流の大田漁業協同組合地先において、 0.1m^2 未満の範囲にコアマモ数十株が生育しているのを新たに発見した。8 月下旬には株数が大幅に減少していたが、季節的な現存量変化の可能性もあるため、今後、観察を継続する予定である。



写真 1 2016 年 8 月の全景



写真 2 2017 年 8 月の全景



写真 3 2018 年 8 月の全景



写真 4 2019 年 8 月の全景



写真 5 2022 年 8 月の全景

生物調査（干潟以外）のレポート⑨

実施・主催機関	調査場所・地点名	実施日	調査内容
国土交通省 関東地方整備局 東京港湾事務所	東京湾内	8月23日 8月26日	底生生物、付着生物、動植物プランクトン

生物調査の結果

団体名	国土交通省 関東地方整備局 東京港湾事務所		
調査地点名	調査地点 1（Y 2 岸壁地先）、調査地点 2（第一航路付近）、調査地点 3（城南島地先）		
位置座標 （調査地点 1）	緯度	35° 35.2833′	
	経度	139° 47.9883′	
位置座標 （調査地点 2）	緯度	35° 34.2200′	
	経度	139° 48.2800′	
位置座標 （調査地点 3）	緯度	35° 34.9083′	
	経度	139° 47.1567′	
実施年月日	2022 年 8 月 23 日、8 月 26 日		

（1）底生生物調査

調査方法：スミスマッキンタイヤ型採泥器による2回採泥

単位：1m²あたりの個体数及び湿重量（g）

				調査地点1		調査地点2		調査地点3	
番号	門	綱	種名	個体数	湿重量	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	環形動物	多毛	カタマガリギボシイソメ			240	0.8	40	0.3
2			ハナオカカギゴカイ			150	0.2	50	0.1
3			シノブハネエラスピオ			3,100	8.2	5,040	15.3
4			<i>Polydora</i> sp.			10	+		
5	触手動物	簪虫	<i>Phoronis</i> sp.					10	+
	種類数			0		4		4	
	合計			0	0	3,500	9.2	5,140	15.7

注：個体数の「+」は群等、湿重量の「+」は0.1g未満を示す。

(2) 付着生物調査

調査方法：30cm×30cm方形枠採取

単位：個体/m²，g/m²

				調査地点 1		調査地点 3	
				第 1 層		第 1 層	
番 号	門	綱	種 名	個体数	湿重量	個体数	湿重量
1	腔腸動物	ヒドロ虫	ウミサカズキガヤ科	+	20.22	+	0.33
2		花虫	イソギンチャク目	956	8.11	2,056	79.67
3	扁形動物	渦虫	多岐腸目	533	15.33	556	5.33
4	紐形動物		紐形動物門	544	4.67		
5	環形動物	多毛	アシナガゴカイ	578	12.44	2,522	31.33
6			ヒゲブトゴカイ	33	0.33		
7			マサゴゴカイ	189	0.22		
8			ヤスリゴカイ	11	0.22		
9			デングクゴカイ	422	5.67	44	2.78
10			<i>Eulalia</i> sp.	100	1	44	0.44
11			アケノサシバ	22	0.11	44	3
12			シリス亜科	2,344	5.89	89	0.44
13			<i>Cirriformia</i> sp.	11	0.44		
14			<i>Polydora</i> sp.	11	+		
15	軟体動物	腹足	シマハマツボ			11	0.22
16			イボニシ	44	26.78	1,278	1,779.89
17		二枚貝	ムラサキイガイ	3,744	47.56		
18			ミドリイガイ	656	63.56	2,511	46.56
19			コウロエンカワヒバリガイ	114,844	2,123.33	122,844	1,605.11
20			マガキ	3,556	8,302.00	1,267	1,461.67
21			ウスカラシオツガイ	233	9.89	44	2.11
22		節足動物	海蜘蛛	33	+	22	+
23		甲殻	タテジマフジツボ	11	2.56		
24			アメリカフジツボ	11	2.56		
25			イワフジツボ	4,444	210.33		
26			シリケンウミセミ	3,200	13.56	1,100	3
27			<i>Ampithoe</i> sp.	33	0.11		
28			<i>Hyale</i> sp.	711	5.33	533	2.67
29			イソヨコエビ	356	2		
30			メリタヨコエビ属	44	0.11	11	+
31			<i>Stenothoe</i> sp.	533	1.22		
32			イソガニ	89	54.44	122	7
33			タカノケフサイソガニ	44	3.22		
34		昆虫	アシナガバエ科	144	0.89		
	種 類 数			33		19	
	合 計			138,484	10944.1	135,098	5,031.55

注：個体数の「+」は群體等を、湿重量の「+」は0.1g未満を示す。

(3) 動物プランクトン

調査方法：

単位：個体/m3

番 号	門	綱	種 名	調査地点1			調査地点2			調査地点3		
				17.2			11.7			8.1		
				上層	中層	下層	上層	中層	下層	上層	中層	下層
1	原生動物	根足虫	<i>Centropyxis</i> sp.							240	180	
2		放射足虫	<i>Acantharia</i>			68			361		180	36
3		繊毛虫	<i>Didinium</i> sp.	1202	1082	845	2360	541	1322	721	541	1550
4			<i>Oligotrichina</i> sp.	240	361	68	197		481			649
5			<i>Tintinnopsis beroidea</i>	721	180	34		180	120		180	72
6			<i>T. corniger</i>								180	
7			<i>T. radix</i>			34						
8			<i>T. spp.</i>	481		101	197		240	240		252
9			<i>Helicostomella subulata</i>	481	541	270	393		60		361	108
10			<i>Favella ehrenbergii</i>	18510	7752	1386	19668	4147	1502	16106	4147	1406
11			<i>Amphorellopsis acuta</i>		361	34						
12			<i>Eutintinnus lusus-undae</i>	2644	1803	270	3540	541	180	962	180	252
13			<i>E. sp.</i>	721	541	101			60			36
14			CILIATEA		180			180				
15	腔腸動物	ヒドロ虫	<i>Obelia</i> sp.						120			
16			Hydroida		180					962	180	
17	紐形動物		Pilidium larva of NEMERTINEA							240		
18	袋形動物	輪虫	<i>Brachionus plicatilis</i>	721	180							
19			<i>Synchaeta</i> sp.	721		68	2754	541	120	962	361	144
20			<i>Trichocerca marina</i>	240	361	101					180	36
21		線虫	NEMATODA						60			
22	環形動物	多毛	Larva of POLYCHAETA	721	1442	1893	1180	2704	3846	2644	10096	3641
23	軟体動物	腹足	L. of GASTROPODA								180	
24		二枚貝	D-shaped larva of BIVALVIA			68						
25			Umbo larva of BIVALVIA	4327	4688	338	4327	5589	1082	7212	1983	216
26	節足動物	甲殻	<i>Evadne tergestina</i>	962	180	34	2754	180	120	240		
27			<i>Penilia avirostris</i>	481			393					
28			<i>Acartia sinjiensis</i>	962	901			721	60		2344	72
29			Copepodite of <i>Acartia</i>	12019	5048	135	10621	8834	541	4087	15865	144
30			<i>Paracalanus crassirostris</i>					180				
31			<i>P. parvus</i>			68	393					
32			Copepodite of <i>Paracalanus</i>		180	101	197	1803	240	721	721	
33			C. of <i>Hemicyclops</i>			34						
34			<i>Oithona davisae</i>	721	3606	575	7867	17488	3605	8654	10277	721
35			<i>O. similis</i>						60			
36			Copepodite of <i>Oithona</i>	13221	9375	913	21241	12801	2824	21154	19652	1911
37			C. of <i>Oncaea</i>			34		180				
38			<i>Oncaea</i> sp.			34						
39			Copepodite of <i>Euterpina</i>				393					
40			Nauplius of COPEPODA	23077	4868	879	38943	2344	2043	22596	4147	1514
41			N. of Balanomorpha		361		197	361	180	1202	901	108
42			Cypris of Balanomorpha		180							
43	毛類動物	矢虫	Juvenile of <i>Sagitta</i>		180		393					
44	棘皮動物	クモヒトデ	Ophiopluteus of OPHIUROIDEA						120			
45	原索動物	尾索	<i>Oikopleura dioica</i>	721	361	68	7474	1803	421	4567	1262	36
46			<i>O. spp.</i>	962	2704	135	393	541		4808	1983	216
47	不明	不明動物	Trochophora of UNIDENTIFIED ANIMAL		180	237	787	361	120	962	5769	757
	種 類 数			22	27	29	23	21	26	20	24	22
	個体数合計			84856	47776	8926	126662	62020	19888	99280	81850	13877
	沈 殿 量(mL/m ³)			3	2.25	0.71	2.36	2.7	0.75	3.49	2.79	0.97

(4) 植物プランクトン

調査方法

単位 : 細胞/L

番 号	門	綱	種 名	調査地点1			調査地点2			調査地点3		
				17.2			11.7			8.1		
				上層	中層	下層	上層	中層	下層	上層	中層	下層
1	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	100800	7200	1800	158400	1800	600	144000	1200	
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	<i>Prorocentrum micans</i>	13200	1800		37200	1200	600	8400		
3			<i>P. minimum</i>	36000	1500	100	50400	3600		14400	600	1200
4			<i>P. triestinum</i>	7200			1200			1200		
5			<i>Oxyphysis oxytoxoides</i>		100			300	100		100	300
6			<i>Gymnodinium sanguineum</i>							400		
7			<i>G.</i> sp.				4800	300		3600		
8			<i>Gyrodinium</i> spp.			100						2400
9			<i>Polykrikos</i> sp.	400	200		1200					
10			Gymnodinales	86400	12600	7200	201600	12600	2400	122400	7800	12600
11			<i>Scrippsiella</i> sp.	12000	200		6000			12000		
12			<i>Ceratium furca</i>	800	300		1600	100				
13			<i>C. fusus</i>	1200	500		6000	200		2800		100
14			<i>Protoperdinium bipes</i>		300		1200	300		1200	200	
15			<i>P.</i> spp.	400	300			200		1200		
16			Peridinales	64800	300		36000	300	600	21600	1200	1200
17	黄色植物	黄金色藻 珧藻	<i>Ebria tripartita</i>	7200	3900		9600	18900	100	50400	5400	9600
18			<i>Coscinodiscus</i> spp.	400		100				400		
19			<i>Leptocylindrus danicus</i>	16800	3300	1800	8400	11400	700	2400	4000	7400
20			<i>L. minimus</i>	354000	63000	5500	517200	88200	7200	300000	39600	42000
21			<i>Cyclotella</i> sp.	21600			14400			7200	600	
22			<i>Skeletonema costatum</i>	748800	135000	243000	914400	97200	74400	1987200	52800	129600
23			<i>Thalassiosira</i> spp.	410400	73800	64800	698400	30600	16200	360000	17400	18600
24			Thalassiosiraceae	403200	50400	21600	576000	27000	13200	633600	18000	21600
25			<i>Rhizosolenia alata</i>			100						
26			<i>R. fragilissima</i>	13200	5700	2400	28800	9000	3800	14400	3000	12000
27			<i>R. imbricata</i>			100			100			
28			<i>R. setigera</i>	400	100	100					200	
29			<i>Cerataulina pelagica</i>	244800	90000	5100	252000	39600	7200	136800	21000	19800
30			<i>Chaetoceros affine</i>		400	500			200			
31			<i>C. compressum</i>			500						
32			<i>C. debile</i>		2600			1100	1700			1400
33			<i>C. didymum</i>					500				
34			<i>C. lorenzianum</i>	21600	2400	1500	9200	3600	1300	9600	1500	3200
35			<i>C.</i> spp.	180000	9000	10800	165600	5400	1800	129600	9000	16200
36			<i>Neodelphineis pelagica</i>	384000	43500	42900	531600	23700	16000	258000	8400	11800
37			<i>Thalassionema nitzschioides</i>	64800	9000	10800	69600	2100	1800	22800	1000	5800
38			<i>Amphora</i> sp.							1200		
39			<i>Navicula</i> spp.	1200	3600	600	1200	1800	400	7200	3000	2400
40			<i>Pleurosigma</i> sp.	7200	6900	2100	9600	4500	4000	4000	2600	6600
41			<i>Cylindrotheca closterium</i>	108000	14400	1800	93600	16200	1200	100800	3600	7800
42			<i>Pseudo-nitzschia</i> sp.	72000	37800	17400	80400	50400	13400	37200	29400	79800
43	ミドリムシ植物	ミドリムシ	EUGLENOPHYCEAE	28800	600		122400	300		72000	3000	
44	緑藻植物	プラシノ藻	PRASINOPHYCEAE				14400			14400		
45	不明	不明生物	UNIDENTIFIED FLAGELLATA	79200	9000	1800	180000	3600	600	86400	600	1800
	種 類 数			32	33	26	32	31	25	34	26	24
	細胞数合計			3490800	589700	444500	4802400	456000	169600	4568800	235200	415200
	沈 殿 量 (mL/L)			0.19	0.08	0.11	0.2	0.11	0.09	0.21	0.05	0.1

生物調査（干潟以外）のレポート⑩

実施・主催機関	調査場所・地点名	実施日	調査内容
東京都環境局自然環境部水環境課	東京湾内	① 8 月 24 日 ② 9 月 7 日 ③ 9 月 16 日 ④ 9 月 26 日	①底生生物 ②稚魚 ③成魚 ④鳥類

水生生物調査結果

東京都環境局自然環境部水環境課

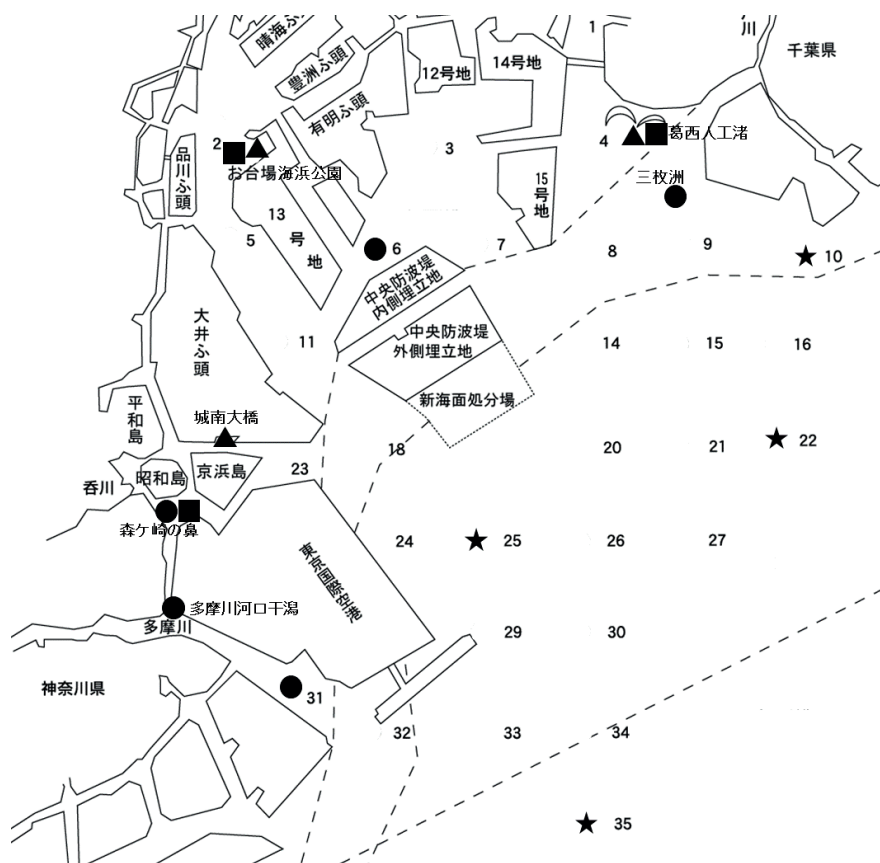
東京都環境局では、東京都内湾部、浅海部、干潟部において水生生物調査を実施している。
令和 4 年 7 月から 9 月には、稚魚、成魚、鳥類、底生生物の各種調査を実施した。
なお、稚魚調査は小型地引網、成魚調査は小型底引網を用いて調査している。

【調査実施日】

稚魚：9 月 7 日、成魚：9 月 16 日、鳥類：9 月 26 日、底生生物：8 月 24 日

【調査地点】

調 査 地 点		稚魚	成魚	鳥類	底生生物
内湾部	St. 6				●
	St. 22		★		
	St. 25		★		
	St. 35		★		
浅海部	St. 10 (江戸川河口・高洲)		★		
	三枚洲 (荒川河口)				●
	St. 31 (多摩川河口)				●
干潟部	葛西人工渚	▲		■	
	お台場海浜公園	▲		■	
	城南大橋	▲			
	森ヶ崎の鼻			■	●
	多摩川河口干潟				●
地 点 数		3	4	3	5



【調査結果概要】

1. 稚魚調査 (9月7日)

主に採取された魚種は次のとおり。(速報のため、種名等は未確定)

マハゼやビリングゴなどのハゼ科魚種が多く確認された。

また、城南大橋及び葛西人工渚では、魚類の餌となるニホンイサザアミが大量に出現した。

		城南大橋	お台場	葛西人工渚
魚類	ヒイラギ	c		
	トウゴロウイワシ		r	c
	サッパ	+		
	シロギス	r		
	マゴチ	r		r
	クロサギ		r	
	マハゼ	r		c
	ヒメハゼ		r	
	ビリングゴ		c	+
	ニクハゼ		+	
	ミミズハゼ			+
魚類以外	ニホンイサザアミ	G		G
	コウロエンカワヒバリガイ		r	
	アサリ		r	
	シラタエビ		r	m
	エビジャコ属			c

G:1000 個体以上、m:100～1000 個体未満、c:20～100 個体未満、+:5～20 個体未満、r:5 個体未満

○調査で確認した主な種



ニホンイサザアミ



2. 成魚調査 (9月16日)

採取された種は次のとおり。(速報のため、種名は未確定)

St. 10 を除き下層は貧酸素状態であり、魚類は St. 35 で網を引き上げる際に入ったカタクチイワシ 1 個体のみであった。

貝類の死殻が大部分を占めており、生きている個体は少なかった。

		St.35	St.25	St.22	St.10
下層DO[mg/L]		1.1	1.0	0.3	6.9
魚類	カタクチイワシ	r			
魚類	ホンビノスガイ			+	c
以外	サルボウガイ				r

c:20~100 個体未満、+:5-20 個体未満、r:5 個体未満

○調査で確認した種



3. 底生生物調査 (8月24日)

採取された種は次のとおり。(速報のため、種名は未確定)

St.6 では水深約 11m のところ、水深 3.5m 以深で貧酸素状態であった。

三枚洲 (荒川河口) や St.31 (多摩川河口) ではアサリが多く出現した。

	出現種
多摩川河口干潟	ヤマトオサガニ、ヤマトシジミ、紐形動物門
森ヶ崎の鼻	ミズヒキゴカイ、カワゴカイ属、ホトトギスガイ、ニホンドロソコエビ
St.6	生体は確認されず
三枚洲 (荒川河口)	アサリ、ホンビノスガイ、カガミガイ、紐形動物門、多毛類
St.31(多摩川河口)	アサリ、シズクガイ、マテガイ、アラムシロ、紐形動物門

○調査で確認した主な種



4. 鳥類調査 (9月26日)

当日の天候は晴、潮差は大潮であった。出現種と数は次のとおり。

東京都レッドリスト 2020 年版 (区部) で絶滅危惧ⅠA 類に指定されているヒクイナやダイシヤクシギが葛西人工渚で確認され、絶滅危惧ⅠB 類に指定されているミサゴが葛西人工渚と森ヶ崎の鼻で確認された。

	葛西人工渚 (東なぎさ) ※沖合含む	森ヶ崎の鼻	お台場 海浜公園
確認された種数	13種	13種	10種
カルガモ		6	13
カワウ	670	138	80
ゴイサギ			2
アオサギ	90	18	19
ダイサギ	61	17	1
チュウサギ	1		
コサギ	27	2	6
ヒクイナ	1		
ダイシヤクシギ	1		
イソシギ	2	3	8
ユリカモメ		15	
ウミネコ	961	54	1
セグロカモメ		5	
オオセグロカモメ	180	2	
ミサゴ	1	2	
トビ	1		2
カワセミ		1	
ハクセキレイ	2	3	2

○調査で確認した種



生物調査（干潟以外）のレポート⑪

実施・主催機関	調査場所・地点名	実施日	調査内容
株式会社横浜八景島	横浜市海の公園	8月29日	水生生物

生物調査の結果

団体名	株式会社横浜八景島（横浜・八景島シーパラダイス）		
調査地点名	横浜市海の公園		
位置座標 （可能であれば）	緯度		
	経度		
実施年月日	2022 年 8 月 29 日		

【実施場所】

海の公園南口に近い砂浜の中央付近沖合約100m水深約1.5m

【使用器具】

小型地曳網（使用時開口幅5m）

【実施方法】

アマモ場を目視で確認し25m×3回の曳網を実施

【採集生物】

アカオビシマハゼ	79匹	23-53mm
アカカマス	2匹	58-92mm
アイゴ	8匹	23-75mm
アオタナゴ	1匹	125mm
アマクサアメフラシ	1匹	70mm
アミメハギ	58匹	20-42mm
イシガニ	3匹	15-33mm
カミナリベラ	1匹	26mm
コショウダイ	1匹	28mm
ギマ	4匹	30-43mm
クサフグ	2匹	24-47mm
スジハゼ	133匹	15-70mm
ツノモエビ	6匹	19-33mm
トゲヨウジ	1匹	220mm

ニクハゼ	14 匹	32-43mm
ニジギンボ	1 匹	17mm
ヒメイカ	1 匹	12mm
ヒメハゼ	1 匹	39mm
フレリトゲアメフラシ	3 匹	28-54mm
マゴチ	1 匹	127mm

以上

9－3 「東京湾生物情報とりまとめおせっ会」による取組

(1) 取組の概要

「東京湾生物情報とりまとめおせっ会」が、様々な団体に観察結果の提供を呼びかけ、14 団体が 19 地点において 2022 年に東京湾で観察した生物種のとりまとめを実施しました。

※一部には 9－1 又は 9－2 との重複があります。

(2) 取組のレポート

生物調査の結果

団体名	東京湾生物情報とりまとめおせっ会	
調査地点名	東京湾全域	
位置座標	緯度	
	経度	
実施年月日	令和4年1月～12月	

【対象生物】

ベントスと魚類で全ての観察種情報

【調査概要】

東京湾生物に関する調査は、東京湾再生官民連携フォーラムモニタリング PT においても企画され、参加を呼びかけている。しかしながら、生物調査とくに一般市民の参加する調査は、安全対策や指導体制、機材の準備、生物採捕許可申請や調査地への立ち入りなど、多くの事前の検討準備と手続きが求められ、フォーラムの調査応募に対して、事前の参加申請が困難な側面がある。

一方、湾岸の施設管理団体や、各所で活動する地域 NPO は、市民とともに定期的あるいは日常的に生物観察を続けており、多くの生物生息情報を蓄積している。「東京湾生物情報とりまとめおせっ会」では、東京湾の生物多様性の具体的把握のために、様々な団体に観察結果の情報提供を呼びかけ、2022 年内（1 月から 12 月）に湾各地で観察できた生物種のリスト作成を行った。

昨年までは、甲殻類や貝類など、限られた生物群と種について集中的な回答を依頼したが、今年はベントスと魚類で全ての観察種情報の提供をお願いした。プランクトンについても情報提供の申し出を頂いたが、顕微鏡的観察が必要であり、市民レベルでは把握が困難なため今回は提供をお断りさせて頂いた。

【報告結果】

神奈川県、東京都、千葉県の湾岸で活動する 14 団体から 20 地点の報告があり、全部で 608 種群の生物観察報告を頂いた。種群とは、種レベルまでは同定が技術的に困難、または現在の知見では種の確定ができていない生物群をさす。それらの多くは複数種が含まれると予想されるため、今回の回答からは東京湾のベントスと魚類で少なくとも 600 種にのぼる生息確認ができた。この種数は事前の予測をはるかにしのぐもので、これまでの東京湾生物調査報告では見られなかった高い数字である。これは、東京湾の生物種多様性を示すとともに、民間レベルでの生物観察分類能力の高さを示す結果となった。生物群ではウミグモ類や甲殻類の節足動物が 144 種群で全体の種群の 23.6%を占め、ついで魚類の 126 種群 20.6%、多毛類（ゴカイ類）の 102 種群 16.7%と、これら 3 生物群で全体の 60%を超えた。さらにヒザラガイ類、巻貝類、ウミウシ・キセワタ類、

二枚貝類、タコ・イカ類からなる軟体動物は 129 種群 21.1%となり、これらの 4 つの大きな生物門で全体の 80%となった。

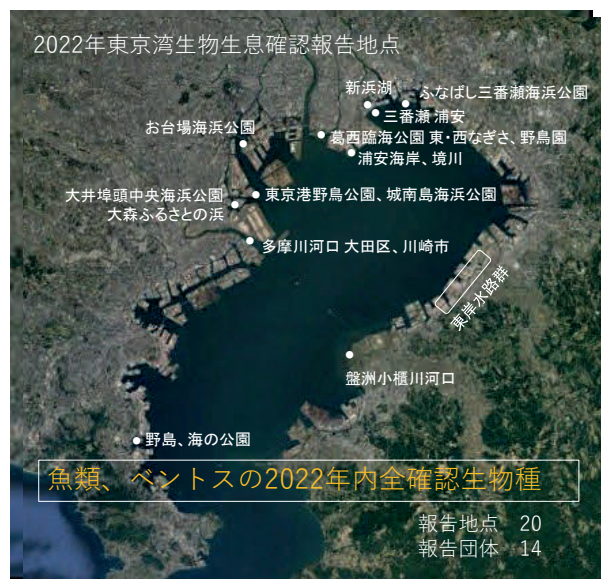
今回の報告から、横浜港から発見された外来種ハクリオオギガニの東京港内での出現があり、湾内で広く生息している可能性が指摘された。また、汽水性の稀少性の高いカニであるアリアケモドキが湾東岸の人工汽水水路群から報告され、人工的な環境でも希少生物が生息する貴重な環境があることも示された。

各種の分布特性から見ると、多くの干潟内湾性生物種とともに湾最奥部の三番瀬でフナムシ、クロフジツボ、ヒライソガニなど外洋海岸性の種が見られ、湾内奥まで外洋性の生物の侵入があることも明らかとなった。また、シラタエビ、ヤマトシジミなどの汽水性の種、さらには淡水と海水の間を移動するニホンウナギやモクズガニ、テナガエビなども多くの地点から報告され、東京湾生物群集は、外洋性、内湾生、汽水性の種に加え、海と川、湖沼との生物の広い水域環境間の移動と定住をもとに成立しているが示され、生物群集の保全再生のためには、各地の環境再生とともに、生物の往来を促す連続性も必要性も示された。

今回の報告者は、大学や博物館など、学術的な専門職の方は含まれておらず、民間ベースの高い生物分類調査能力の高さ、そして今後の調査の人的資源の豊富さも示された。これらの活動のほとんどは無償で行われていることが多く、今後の生物調査継続にあたっては調査許可や運営に対しての行政の許可手続さらには経済的、人材的支援の必要性も痛感された。

なお、今回の調査の呼びかけは「東京湾生物情報とりまとめおせっ会」が行なったが、実際の生物リストの作成、学術日本名ならびに学名の確認は多留聖典氏（東京港水中生物研究会）が行い、情報の整理にあたっては小澤鷹弥氏（ふなばし三番瀬学習館）と海上智央氏（浦安市三番瀬環境観察館）のご協力を得た。報告を頂いた個人・団体とともに、作成にご尽力いただいた方々にお礼申し上げる。

【調査データの解説】



報告生物群ごとの報告種群(種もしくは上位生物群)数

分類群	種群数	分類群	種群数
繊毛虫類	3	多毛類(ゴカイ類)	102
海綿類	4	コケムシ・ホウキムシ類	8
クラゲ・イソギンチャク類	32	節足動物(ウミグモ類・甲殻類)	144
クシクラゲ類	4	ギボシムシ類	2
ヒラムシ(扁形動物)類	3	ヒトデ・ウニ・ナマコ類	13
ヒモムシ類	10	ホヤ類	9
ヒザラガイ類	2	魚類	126
巻貝類	38	爬虫類	1
ウミウシ・キセワタ類	43	海藻類	18
二枚貝類	40	アマモ類	2
タコ・イカ類	6	総種群数	610

分類群区別は分類分地位とは無関係

上位3生物群：節足動物 23.6%、魚類 20.6%、多毛類 16.7%

驚きの610種群！報告種群の多さの理由

調査方法

- ・ 目視、素手、たも網調査（自由調査）
- ・ 潜水（水中潮下帯）調査
（作業許可：保安庁、港湾管理者、施設管理者）
- ・ 定置網調査（施設管理者、特別採捕許可）
- ・ 施設管理者の自主調査（定期、日常的）
- ・ 公園利用者の持ち込み

- ・ 多様な調査方法
- ・ 定期的調査や市民参加による調査
努力量の増大
- ・ 報告者の高い生物同定能力

海産外来種の新たな生息地（横浜港＋東京港）



湾最奥部での外洋性種の出現



豊富な両側回遊(淡水⇄海水)種



多くの汽水性種



東京湾生物多様性保全再生

東京湾の水生生物多様性は川－汽水－内湾－外洋の連携による
生物の分散や移動により成立

- ・河川・湖沼－河口－内湾－外洋の連続性と各域の生物生息場の安定性
- ・多様な環境からの生物生息報告
 - 自然環境：河川、河口、塩性湿地、前浜干潟、浅瀬、潮下帯
 - 人工環境：人工水路、親水公園、沿岸河川、自然観察施設、人工干潟、人工海浜、護岸堤防

多様な観察主体による観察の継続が必要

			報告地名	海の公園 横浜市	野島千両 横浜市	多摩川河口 麻布 川崎市	多摩川河口 羽田 大田区	東京港野島公園 大田区	城南島 海浜公園 大田区	大森ふもとの浜辺 大田区	大井埠頭 中央公園 大田区	お台場海浜 公園芝浦 港区	お台場海浜 公園有明 港区
	科	和名	学名										
縄毛虫類 3種群	ツリガネムシ科	エダワカヅツリガネムシの一種	<i>Garchesia</i> sp.		●								
	ズーナムニウム科	<i>Zoothamani</i> sp. <i>ni veum?</i>							●				
	ズーナムニウム科	<i>Zoothamani</i> sp. <i>pl umel a?</i>			●					●	●	●	●
海綿類 4種群	カワナシカイメン科	ヤウクダカイメン	<i>Heliclona</i> (<i>Heliclona</i>) <i>oculata</i>		●								
	イノカイメン科	ナミイノカイメン	<i>Helichondria</i> (<i>Helichondria</i>) <i>panicea</i>		●				●		●	●	●
	イノカイメン科	ダイダイイノカイメン	<i>Hymenastrea</i> <i>parvula</i>										
	ー	尋常海綿綱	<i>Demospongiae</i>						●		●	●	●
クラゲ・イソギンチャク類 32種群	ハナギンチャク科	ムラサキハナギンチャク	<i>Geryanthus filiformis</i>		●								
	ムシモドキギンチャク科	ギョウイムシモドキギンチャク近縁種	<i>Eudendria</i> aff. <i>alternobomen</i>						●				
	ムシモドキギンチャク科	ホノノギンチャク?	<i>Metendendria</i> cf. <i>akkeshi</i>	●					●		●		
	ムシモドキギンチャク科	ムシモドキギンチャク	<i>Eudendria</i> sp.						●				
	ウメボシイソギンチャク科	ヒメイソギンチャク	<i>Anthopleura asiatica</i>		●							●	
	ウメボシイソギンチャク科	ミドリイソギンチャク	<i>Anthopleura fuscoviridis</i>		●								
	ウメボシイソギンチャク科	バンワケイソギンチャク	<i>Anthopleura</i> sp.						●		●	●	●
	ウメボシイソギンチャク科	ウメボシイソギンチャク 属の一種	<i>Anthopleura</i> sp. 2	●						●		●	●
	ウメボシイソギンチャク科	ハナツケイソギンチャク	<i>Paracondria</i> sp.							●			
	セイダカイギンチャク科	チギリイソギンチャク	<i>Aiptasia omeria</i> sp.							●		●	●
	Andvaki i dae 科?	Andvaki i dae 科?	<i>Andvaki i dae</i> sp.						●				
	タチジマイソギンチャク科	タチジマイソギンチャク	<i>Diadumena lineata</i>		●				●		●	●	●
	科不確定	<i>Paraplatys</i> 属の一種?	<i>Paraplatys</i> sp.						●			●	●
	科不確定	ホウザウイソギンチャク	<i>Synanthus hokkaidoensis</i>						●			●	●
	ウミサボテン科	ウミサボテン	<i>Gavnerul aria obesa</i>		●								
	ヤサキウミエラ科	ホノウミエラ	<i>Sicyoptilus japonicus</i>		●								●
	クダウミヒドラ科	ベニクダウミヒドラ	<i>Ectopleura crocea</i>						●				●
	クダウミヒドラ科	クダウミヒドラ科の一種	<i>Tubularia</i> dae gen. sp.							●			
	エダアサクラガ科	エダアサクラガ	<i>Adonema pacificum</i>						●				
	タマウミヒドラ科	カシクラガ	<i>Spiracodonta salicaria</i>									●	
	シモツクラガ科	シモツクラガ	<i>Rathkea octopunctata</i>										
	ー	刺糸虫目の一種	<i>Filifera</i> fam. gen. sp.										
	ー	花水母目	<i>Anthothecata</i> fam. gen. sp.										
	オウゴンクラガ科	オウゴンクラガ	<i>Aequorea coerulescens</i>										
	ウミサカサクラガ科	オベリサクラガ属の一種	<i>Oellia</i> sp.										
	ホノガヤ科	ホノガヤ科	<i>Halosella</i> dae gen. sp.						●		●	●	●
	ウミシバ科	ウミシバ科	<i>Sertularia</i> sp.						●		●	●	●
	ハナガサクラガ科	カギノクラガ	<i>Goniopsis vertens</i>						●				
	ハナガサクラガ科	ハナガサクラガ	<i>Olindeia formosa</i>				●						
	ー	ヒドロ虫綱	<i>Hydrozoa</i>						●	●	●	●	●
	ミズクラガ科	ミズクラガ	<i>Aurelia</i> cf. <i>coerulea</i>		●	●	●		●		●	●	●
	オキクラガ科	アカクラガ	<i>Ocyropsis pacifica</i>				●					●	●
クラゲ類 4種群	カブトクラゲ科	カブトクラゲ	<i>Bolitopsis</i> sp. <i>nikado</i>						●			●	
	ウリクラゲ科	カンバウリクラゲ	<i>Beroë carpana</i>									●	
	ウリクラゲ科	ウリクラゲ	<i>Beroë</i> aff. <i>evanescens</i>										
	ウリクラゲ科	ウリクラゲ科の複数種	<i>Beroë</i> dae gen. spp.										
ヒラムシ(扁形動物)類 3種群	ウスヒラムシ科	ウスヒラムシ科の一種	<i>Nitipolani</i> dae gen. sp.						●				
	スチロヒラムシ科	スチロヒラムシ科の一種	<i>Stylochelys</i> dae gen. sp.							●	●	●	●
	ー	多岐属目	<i>Polysylla</i> dae		●			●					
ヒトモシムシ類 10種群	ケフノソコソコ科	ホトモシムシ属の一種	<i>Ophiothrix</i> sp.						●				
	カサハタ科	<i>Goniopsis</i> 属の一種	<i>Goniopsis</i> sp.						●				
	クリガヒトモシムシ科	クリガヒトモシムシ	<i>Tubularia punctatus</i>						●		●		
	リネウス科	<i>Oreobatrachus carnosus</i>	<i>Oreobatrachus carnosus</i>										
	リネウス科	ナミヒトモシムシ	<i>Oreobatrachus communis</i>		●							●	●
	リネウス科	リュウキュウヒトモシムシ	<i>Isotomella piperata</i>										
	リネウス科	<i>Lineosiphonia albilineus</i>	<i>Lineosiphonia albilineus</i>						●		●	●	
	ホノヒトリヒトモシムシ科	<i>Nemertopsis</i> 属の一種	<i>Nemertopsis</i> sp.							●			
	メノヒトモシムシ科	メノヒトモシムシ?	<i>Quasi tetrastemma nigricans?</i>						●				
	ー	紐形動物門	<i>Nemertea</i>		●		●			●			
ヒザラガイ類 2種群	ケハダヒザラガイ科	ケハダヒザラガイ	<i>Acanthochelone defilippii</i>										
	ケハダヒザラガイ科	ヒメケハダヒザラガイ	<i>Acanthochelone rubrolineata</i>	●									
巻貝類 38種群	ミナミカサ科	ベッコウカサ	<i>Otilina grata</i>										
	コガモガイ科	コウダカアマガイ	<i>Nipponacma concinna</i>										
	コガモガイ科	シボミ	<i>Patellaria confusa</i>										
	コガモガイ科	シボミ	<i>Patellaria pygmaea</i>										
	ニシキウズ科	チヂミ	<i>Cantharus japonicus</i>	●									
	ニシキウズ科	イシダタミ	<i>Monodonta confusa</i>	●									
	ニシキウズ科	イボキサゴ	<i>Umbonium moniliferum</i>	●									
	クボガイ科	コシダカガシラ	<i>Tagula rustica</i>		●								
	リュウケツ科	スガイ	<i>Lunella coreana</i>										
	アマオブネ科	アマガイ	<i>Nerita japonica</i>								●		
	ウミニナ科	ホノウミニナ	<i>Batillaria attramentaria</i>							●			
	ウミニナ科	ウミニナ	<i>Batillaria multiflora</i>										
	スズメハマツボ科	スズメハマツボ	<i>Diala semistriata</i>	●									
	ウツボ科	シマハマツボ	<i>Alaba pinta</i>	●					●				
	キバウミニナ科	フトヘナタリ	<i>Oritidia meerkii</i>										
	キバウミニナ科	カワアイ	<i>Reneella pupiformis</i>										
	タマキビ科	アラレタマキビ	<i>Echinolittorina radiata</i>						●			●	●
	タマキビ科	タマキビ	<i>Littorina brevicula</i>						●		●	●	●
	カワザンショウ科	クリイロカワザンショウ	<i>Agastasis m. nea castanea</i>										
	カワザンショウ科	キントシロカワザンショウ	<i>Agastasis m. nea</i> aff. <i>satsuma</i>							●	●		
	カワザンショウ科	ヨシダカワザンショウ	<i>"Agastasis m. nea" yoshi dayuki</i>										
	カワザンショウ科	ヒラダカワザンショウ	<i>"Asi m. nea" hi radoensis</i>										
	カワザンショウ科	カワザンショウガイ	<i>"Asi m. nea" japonica</i>										
	カワザンショウ科	カハタレカワザンショウ	<i>"Neri v. tree" sp.</i>										

			報告地名	海の公園 横浜市	野島平岡 横浜市	多摩川河口 麻村 川崎市	多摩川河口 河口 大田区	東京湾野島公園 大田区	城南島 横浜公園 大田区	大森ふもと との浜辺 大田区	大井埠頭 中央公園 大田区	お台場海浜 公園北半 港区	お台場海浜 公園南半 港区
	科	和名	学名										
巻貝類 続き	ヒズゴマツボ科	エドガワヒズゴマツボ	<i>Stenothyra edogawensis</i>							●			
	タマガイ科	サキグロタマガイ	<i>Laguncula pulchella</i>										
	タマガイ科	ツメタガイ	<i>Neverita di dyme</i>	●	●				●				
	タマガイ科	ホンヤツメタ	<i>Neverita di dyme hosoyai</i>										
	イカカガイ科	ナガヒメシメガイ	<i>Epi tonium castum</i>	●									
	イカカガイ科	クレハガイ	<i>Epi tonium olivaceum</i>	●									
	カリバガサ科	シマメノウツネガイ	<i>Orepi dula onyx</i>	●	●	●			●	●	●	●	●
	コロモガイ科	コロモガイ	<i>Sydaphera sponglioriana</i>										
	タモトガイ科	ムギガイ	<i>Mitrella bicincta</i>										
	オリイロヨフバイ科	ムシロガイ	<i>Nassarius livescens</i>	●									
	オリイロヨフバイ科	アラムシロ	<i>Reti cunassa festiva</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	アツキガイ科	アカニシ	<i>Rapano venosa venosa</i>		●				●	●	●	●	●
ウミウシ・キセウタ類 43種群	アツキガイ科	レイシ	<i>Reishia broni</i>		●				●			●	●
	アツキガイ科	イボニシ	<i>Reishia olivigera</i>		●				●	●	●	●	●
	オオシイミガイ科	ムラクモキジビキガイ	<i>Japanacteon nipponensis</i>	●					●				
	マメウランマ科	マメウランマ	<i>Ringicula dollaris</i>										
	イロウミウシ科	シロウミウシ	<i>Goni obranchus orientalis</i>		●								
	イロウミウシ科	シラユキウミウシ	<i>Verconia nivalis</i>		●								
	フジタウミウシ科	ハナツランシヤ	<i>Kalina ornata</i>		●								
	フジタウミウシ科	クロコンチウミウシ	<i>Polycera hedgpathi</i>						●				●
	クロシタシシウミウシ科	クロシタシシウミウシ	<i>Dendrodoris arborescens</i>		●				●			●	
	メリベウミウシ科	メリベウミウシ	<i>Melibe papillosa</i>		●								
	フジエラミノウミウシ科	コウワシノミノウミウシ	<i>"Githona" cf. perca</i>									●	
	フジエラミノウミウシ科	Tenellia adpersa	<i>Tenellia adpersa</i>						●				●
	オオモノウミウシ科	サラームミノウミウシ	<i>Baeolidia cf. salamina</i>						●				
	オオモノウミウシ科	イロミノウミウシ(イズミミノウミウシ)	<i>Spirillia braziliana</i>										●
	ヨツスジミノウミウシ科	スナチゴミノウミウシ	<i>Favosites</i> sp. 2						●				●
	ヨツスジミノウミウシ科	アカエラミノウミウシ	<i>Sakuraeolia enosimensis</i>						●	●	●	●	
	-	オオモノウミウシ属目の一様	<i>Aeolidia</i> fam. gen. sp.		●								
	-	裸鰓目	<i>Nudi branchia</i>						●				
	ヘコミツラ科	ヒメコミツラ	<i>Retusa minima</i>										●
	ブドウガイ科	カミズクイコガイイダマシ	<i>Ovulinatys yamagawai</i>						●				
	ブドウガイ科	ブドウガイ	<i>Heloa japonica</i>	●	●								
	キセウタガイ科	キセウタガイ	<i>Philine orientalis</i>		●								
	カノキセウタ科	ヤミ3キセウタ	<i>Minochlamys fukudai</i>					●	●				●
	カノキセウタ科	タリシキセウタ	<i>Minochlamys kobe</i>						●				
	カノキセウタ科	カノキセウタ	<i>Philinopsis cf. gigliolii</i>										●
	ウダタマガイ科	コメツガイ	<i>Decorifer inaequalis</i>	●					●				
	ウダタマガイ科	マツシマコメツガイ	<i>Decorifer matsumus</i>										
	アメフラシ科	アメフラシ	<i>Aplysia kurodai</i>						●				
	アメフラシ科	トゲアメフラシ	<i>Bursatella leachi</i>		●				●	●	●	●	●
	アメフラシ科	タツナミガイ	<i>Dolabella auricularia</i>										
	サドミドリガイ科	クロミドリガイ	<i>Elysia strobilifera</i>						●				
	ハダカモウミウシ科	アリモウミウシ	<i>Ecolania boodae</i>						●				●
	ハダカモウミウシ科	ミドリアモウミウシ	<i>Pleurola babai</i>						●				
	ハダカモウミウシ科	ベルグウミウシ	<i>Stiliger berghii</i>		●								
	コウダカウミウシ科	カラマツガイ	<i>Siphonaria japonica</i>										
	トウガガイ科	シオガクチケレ	<i>Brachystoma siogamensis</i>						●				
	トウガガイ科	ヒガタコトカケギリ	<i>Ongulina aff. circinata</i>	●					●				
	トウガガイ科	ヨコイトカケギリ	<i>Ongulina terebra</i>						●				●
	トウガガイ科	ミズジコトカケギリ	<i>Ongulina triarata</i>	●									
	トウガガイ科	クチキレモドキの一種	<i>"Oboloma" sp.</i>										
	トウガガイ科	クチキレガイ	<i>Tiberia pulchella</i>	●									
	トウガガイ科	シロイトカケギリ	<i>Turbonilla candida</i>						●	●			
	イノナドリ科	Leucotina 属の一種	<i>Leucotina</i> sp.										
	オカミミガイ科	ウスコミミガイ	<i>Laemodonta exaratoides</i>										
	オカミミガイ科	ナギサランタリ	<i>Micratria aetoeioides</i>								●		
二枚貝類 40種群	イガイ科	ムラサキイガイ	<i>Mytilus galloprovincialis</i>	●	●	●	●		●	●	●	●	●
	イガイ科	ミドリイガイ	<i>Perna viridis</i>	●	●				●	●	●	●	●
	イガイ科	ホトケス	<i>Musculista senhousia</i>	●		●		●	●	●	●	●	●
	イガイ科	コウロエンカワヒバリ	<i>Xanostrobus securis</i>			●		●	●	●	●	●	●
	イガイ科	コケガラス	<i>Modiolus modioloides</i>									●	
	フネガイ科	アカイ	<i>Anodonta broughtoni</i>						●				
	フネガイ科	サルホオ	<i>Anodonta kagoshimensis</i>	●	●				●	●	●	●	●
	ナミマダシワ科	ナミマダシワ	<i>Anomia chinensis</i>		●				●			●	●
	イタホダキ科	マガキ	<i>Crassostrea gigas</i>		●	●		●	●	●	●	●	●
	オキナガイ科	ソトオリガイ	<i>Exolaternula liautaudi</i>			●	●	●					
	オキナガイ科	オキナガイ科の一種	<i>Laternula</i> gen. sp.									●	
	マチガイ科	エゾマチガイ	<i>Solen krusensterni</i>										
	マチガイ科	マチガイ	<i>Solen strictus</i>	●	●		●		●		●		
	ウロコガイ科	オウキウロコガイ	<i>Galeomella utinomii</i>										
	ザリハギ科	ガタヅキ	<i>Arthritica cf. reikoe</i>										
	ザルガイ科	トリガイ	<i>Fulvia metica</i>	●									
	ニッコウガイ科	サゼシラトリ	<i>Limeola contabulata</i>			●			●				
	ニッコウガイ科	ヒメシラトリ	<i>Micome incongrua</i>	●					●			●	●
	ニッコウガイ科	サクラガイ	<i>Nitidodonta hokkaidensis</i>		●				●				
	ニッコウガイ科	ウスザクラ	<i>Nitidodonta minuta</i>	●									
	ニッコウガイ科	カクザクラ	<i>Nitidodonta valtonis</i>										
	シオサザナミ科	イソシジミ	<i>Nittalia japonica</i>										
	アサジガイ科	シズクガイ	<i>Theora lubrica</i>						●	●	●	●	●
	バカガイ科	バカガイ	<i>Myra chinensis</i>	●	●			●					
	バカガイ科	シオフキ	<i>Myra quadrangularis</i>	●			●	●				●	●
	サトセハナガイ科	サトセハナガイ	<i>Reeta pulchella</i>						●		●	●	●
	フタハシガイ科	ウメハナガイモドキ	<i>Falaniella sowerbyi</i>										
	フタハシガイ科	ウメハナガイ	<i>Falaniella sowerbyi</i>										
	フナガタガイ科	ウネサントマヤ	<i>Nostrapoda umiliatum</i>									●	

			報告地名	海の公園 横浜市	野島平海 横浜市	多摩川河口 河口 川崎市	多摩川河口 河口 大田区	東京港野島公園 大田区	城南島 海浜公園 大田区	大森ふも との浜辺 大田区	大井埠頭 中央公園 大田区	お台場海浜 公園北岸 港区	お台場海浜 公園南岸 港区	
	科	和名	学名											
二枚貝類 続き	マルスダレガイ科	オキシジミ	<i>Oculina</i> aff. <i>sinensis</i>				●	●						
	マルスダレガイ科	カガシガイ	<i>Dosinia japonica</i>	●										
	マルスダレガイ科	ホンビノスガイ	<i>Mercenaria mercenaria</i>					●	●	●	●	●	●	
	マルスダレガイ科	ハマダリ近似種	<i>Meretrix</i> aff. <i>lucoris</i>											
	マルスダレガイ科	シナハマダリ	<i>Meretrix petechialis</i>											
	マルスダレガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	マルスダレガイ科	ウスカラシオヅガイ	<i>Petricola</i> sp.	●										
	シジミ科	タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea</i>											
	シジミ科	ヤマトシジミ	<i>Corbicula japonica</i>			●	●	●						
	カワホトギス科	イガイダマシ	<i>Mytilopsis sallei</i>								●	●		
オオノガイ科	ヒメマスオ	<i>Cryptomya busuensis</i>										●		
オオノガイ科	オオノガイ	<i>Mia japonica</i>	●									●		
タコイカ類 6種群	コウイカ科	コウイカ属の一種	<i>Squilla</i> sp.											
	ダンゴイカ科	ミミイカ属の一種	<i>Eurypryma</i> sp.											
	ヒメイカ科	ヒメイカ	<i>Idiosquilla paradoxus</i>		●				●			●		
	ヤリイカ科	ジンドウイカ属?	<i>Lolololus</i> ? sp.											
	マダコ科	イイダコ	<i>Amphioctopus fangsii</i>	●										
	マダコ科	マダコ	<i>Octopus sinensis</i>		●									
	多毛類(ゴカイ類) 102種群	デマキゴカイ科	デマキゴカイ	<i>Owenia gonsoni</i>	●					●				●
		ツバサゴカイ科	ツバサゴカイ	<i>Chaetopterus caesus</i>		●								
		ツバサゴカイ科	アシビキツバサゴカイ近似種	<i>Spirochaetopterus</i> aff. <i>okudai</i>						●		●	●	
		ツバサゴカイ科	サンピンセツツバサゴカイ	<i>Spirochaetopterus sanbanzensis</i>										
スジホシムシモドキ科		スジホシムシモドキ	<i>Si phosoma cumenense</i>	●										
クロホシムシ科		クロホシムシ	<i>Thysanocaris nigra</i>											
-		ホシムシ下綱	<i>Sipuncula</i>	●	●									
ウロコムシ科		マダラウロコムシ	<i>Hermethoe</i> cf. <i>imbricata</i>	●					●		●	●		
ウロコムシ科		ウロコムシ亜科の一種	<i>Polydora nae</i> gen. sp.											
ウロコムシ科		ハモテウロコムシ	<i>Lepidodonta dentatus</i>											
ウロコムシ科	ウロコムシ	<i>Polydora</i>	●											
シリシ科	シロマダシリシ	<i>Syllis adamantea</i>												
シリシ科	<i>Syllis</i> 属の一種	<i>Syllis</i> sp.							●		●			
シリシ科	ミドリシリシ	<i>Magasyllis nipponica</i>												
シロガネゴカイ科	コクチャウシロガネゴカイ	<i>Nephtys callifornensis</i>	●											
シロガネゴカイ科	コクチャウシロガネゴカイ	<i>Nephtys neopoliphranchia</i>	●											
シロガネゴカイ科	ミナミシロガネゴカイ	<i>Nephtys polybranchia</i>	●							●	●			
シロガネゴカイ科	Nephtys 属の一種	<i>Nephtys</i> sp.												
カネゴカイ科	ハサオカネゴカイ	<i>Sigambra hasekai</i>	●						●	●	●	●		
ゴカイ科	オウケゴカイ	<i>Nemertea littoralis</i> complex												
ゴカイ科	イトメ	<i>Tylorhynchus osawai</i>			●	●								
ゴカイ科	ツバサゴカイ	<i>Sipholia erythraensis</i>	●						●					
ゴカイ科	ツバサゴカイ	<i>Platynereis bicantaliculata</i>	●						●					
ゴカイ科	ツバサゴカイ	<i>Pseudonereis variegata</i>												
ゴカイ科	ヤマトカワゴカイ	<i>Hediste diadema</i>			●	●								
ゴカイ科	ヤマトカワゴカイまたはヒメヤマトカワゴカイ	<i>Hediste diadema</i> or <i>H. atoka</i>				●								
ゴカイ科	ヒメゴカイ	<i>Neanthes acuminata</i> complex	●											
ゴカイ科	アシナゴカイ	<i>Neanthes succinea</i>							●	●	●	●	●	
ゴカイ科	オウギゴカイ	<i>Neotoneanthes oxygoda</i>	●						●		●	●		
ゴカイ科	ヒゲツゴカイ	<i>Nereis heterocerata</i>												
ゴカイ科	マサゴカイ	<i>Nereis multigutta</i>							●					
ゴカイ科	ゴカイ科の一種	<i>Nereis</i> cf. <i>dae</i> gen. sp.												
オヒメゴカイ科	モグリオヒメ	<i>Oxydromus okudai</i>							●	●	●	●	●	
オヒメゴカイ科	Oxydromus 属の一種	<i>Oxydromus</i> sp.							●		●	●	●	
オヒメゴカイ科	Nereis nympha 属の一種	<i>Nereis nympha</i> sp.							●		●	●	●	
オヒメゴカイ科	Syllis 属の一種	<i>Syllis</i> cf. sp.							●		●	●	●	
オヒメゴカイ科	オヒメゴカイ科	<i>Syllis</i> cf. <i>dae</i> gen. sp.							●		●	●	●	
チロリ科	マイヅルチロリ	<i>Glycera americana</i>	●											
チロリ科	ヒゲタチロリ	<i>Glycera macrotrocha</i>							●			●	●	
チロリ科	チロリ	<i>Glycera nishikawae</i>							●		●	●	●	
チロリ科	Glycera 属	<i>Glycera</i> sp. or spp.			●				●		●	●	●	
チロリ科	チロリ	<i>Glyceridae</i>	●					●						
ニカイチロリ科	チマチチロリ	<i>Glycyndia werneri</i>	●									●	●	
サンバゴカイ科	ホンミヤシバ	<i>Eteone</i> cf. <i>longa</i>	●								●	●	●	
サンバゴカイ科	サシバ	<i>Eulalia</i> cf. <i>viridis</i>							●		●	●	●	
サンバゴカイ科	Eumida 属の一種	<i>Eumida</i> sp.							●		●	●	●	
サンバゴカイ科	アケノサンバ	<i>Nereiphylla castanea</i>								●				
サンバゴカイ科	Phyllodoce 属の一種	<i>Phyllodoce</i> sp.	●						●				●	
サンバゴカイ科	サンバゴカイ科の一種	<i>Phyllodoce</i> cf. <i>dae</i> gen. sp.												
イソムシ科	イソムシ	<i>Eteone</i> sp.							●					
イソムシ科	イソムシ群の1種A	<i>Merphysa</i> sp. A												
イソムシ科	イソムシ群の1種E	<i>Merphysa</i> sp. E												
イソムシ科	イソムシ群	<i>Merphysa</i> spp. cf. <i>hamushi</i>												
ナナチイソムシ科	スゴカイイソムシ	<i>Diploporina sugokai</i>	●			●								
ナナチイソムシ科	スゴカイイソムシ	<i>Kinbergonuphis enoshimensis</i>												
ギボシイソムシ科	スゴカイイソムシ	<i>Scolotoma nipponica</i>												
コイソムシ科	スゴカイイソムシ	<i>Schistomeris ngas</i> cf. <i>rudolphii</i>									●	●	●	
コイソムシ科	スゴカイイソムシ	<i>Chelyotrocha urbis</i>												
スズヒキゴカイ科	スズヒキゴカイ群	<i>Grixi</i> form. sp. or spp.	●					●			●	●	●	
スズヒキゴカイ科	Dodecaeria 属の一種	<i>Dodecaeria</i> sp.									●	●	●	
カンザンゴカイ科	カンザン	<i>Ficopomatus enigmaticus</i>									●	●	●	
カンザンゴカイ科	スゴカイ	<i>Hydrobia azoensis</i>									●	●	●	
カンザンゴカイ科	スゴカイ	<i>Hydrobia</i> cf. <i>diathus</i>									●	●	●	
カンザンゴカイ科	スゴカイ	<i>Spirobranchus akitsushime</i>			?									
カンザンゴカイ科	スゴカイ	<i>Spirorbia</i> nae gen. sp.												
カンザンゴカイ科	スゴカイ	<i>Serpulidae</i> gen. sp.	●											
ケヤリムシ科	コウケヤリムシ	<i>Chone infundibuliformis</i>												
ケヤリムシ科	アモウサケヤリムシ	<i>Paralichone cincta</i> ?										●	●	
ケヤリムシ科	ウメサケヤリムシ	<i>Paralichone edomae</i>										●	●	
ケヤリムシ科	Parasabella 属の一種	<i>Parasabella</i> sp.							●	●	●	●	●	
ケヤリムシ科	ニッポンケヤリムシ	<i>Sabellastarte japonica</i>			●									
ケヤリムシ科	ケヤリムシ科の一種	<i>Sabellidae</i> gen. sp.	●											

			報告地名	海の公園 横浜市	野島千鳥 横浜市	多摩川河口 磯町 川崎市	多摩川河口 羽田 大田区	東京港野島公園 大田区	城南島 海浜公園 大田区	大森ふみふ との浜辺 大田区	大井埠頭 中央公園 大田区	お台場臨海 公園北岸 港区	お台場臨海 公園南岸 港区
	科	和名	学名										
多毛類(ゴカイ類) 続き	スピオ科	ケンサキスピオ	<i>Ani des oxycephala</i>	●					●	●	●	●	●
	スピオ科	シノバトエラスピオ	<i>Parapri onasp io pati ens</i>	●					●	●	●	●	●
	スピオ科	ヤマトスピオ	<i>Pri onasp io j apani ca</i>	●					●	●	●	●	●
	スピオ科	イトエラスピオ	<i>Pri onasp io pul chra</i>	●					●	●	●	●	●
	スピオ科	ヒダスピオ	<i>Rhynchosp io gl utaea compl ex</i>	●					●	●	●	●	●
	スピオ科	シタダスピオ	<i>Scol el ep i a (Scol el ep i a) l i ngul at a</i>	●					●	●	●	●	●
	スピオ科	マドカスピオ	<i>Spi o pi gment at a</i>	●					●	●	●	●	●
	スピオ科	ホリエリタテスピオ	<i>Strebl osp io j apani ca</i>	●					●	●	●	●	●
	スピオ科	ヒガタスピオ	<i>Pol ydora cornu ta</i>	●					●	●	●	●	●
	スピオ科	<i>Pol ydora neocaea</i>	<i>Pol ydora neocaea</i>	●					●	●	●	●	●
	スピオ科	<i>Pol ydora websteri</i>	<i>Pol ydora websteri</i>	●					●	●	●	●	●
	スピオ科	<i>Pol ydora</i> 属	<i>Pol ydora</i> sp. or spp.	●					●	●	●	●	●
	スピオ科	ドロオニスピオ	<i>Pseudopol ydora cf. kemp i</i>	●					●	●	●	●	●
	スピオ科	アミオニスピオ	<i>Pseudopol ydora bassarg i nensi s</i>	●					●	●	●	●	●
	スピオ科	コオニスピオ	<i>Pseudopol ydora pauci branchi at a</i>	●					●	●	●	●	●
	スピオ科	スピオ科	<i>Spi oni dae</i> gen. sp.	●					●	●	●	●	●
	オツリアゴカイ科	ツツオオツリア	<i>Armoni a cf. amakusaensi s</i>	●					●	●	●	●	●
	イゴカイ科	イゴカイ	<i>Ophi tel la cf. tel et a</i>	●					●	●	●	●	●
	イゴカイ科	<i>Heteromastus</i> 属の一種	<i>Heteromastus</i> sp.	●					●	●	●	●	●
	イゴカイ科	<i>Mediomastus</i> 属の一種	<i>Mediomastus</i> sp.	●					●	●	●	●	●
	イゴカイ科	<i>Nemomastus</i> 属の一種	<i>Nemomastus</i> sp.	●					●	●	●	●	●
	イゴカイ科	イゴカイ科	Ophi l i l i dae	●		●			●	●	●	●	●
	タマシキゴカイ科	イソタマシキゴカイ	<i>Aberoni col a paci fi ca</i>	●					●	●	●	●	●
	タマシキゴカイ科	タマシキゴカイ	<i>Areni col a brazi li ensi s</i>	●					●	●	●	●	●
	タケツノゴカイ科	タケツノゴカイ科	<i>Mi dai dae</i>	●					●	●	●	●	●
	フサゴカイ科	ギンギョウフサゴカイの一種	<i>Lani ce</i> sp.	●					●	●	●	●	●
	フサゴカイ科(広義)	フサゴカイ科(広義)	<i>Terebell i dae (sensu lato)</i>	●					●	●	●	●	●
	ウミイソゴムシ科	ウミイソゴムシ	<i>Lagi s bucki</i>	●					●	●	●	●	●
	ミスミズ科	イトミスミズ科の一種	<i>Tubi fici nae</i> gen. sp.	●					●	●	●	●	●
	フタミスズ科	イタミスズ	<i>Pentodril us l i t t e r a l i s</i>	●				●	●	●	●	●	●
コケムシ・ホウキムシ類 8種群	バレンシア科	ヒメズコケムシ	<i>Barentsi a cf. gracili s</i>	●					●	●	●	●	●
	フサコケムシ科	ナギサコケムシ近縁種	<i>Bagul i na stol oni f e r a</i>	●					●	●	●	●	●
	フサコケムシ科	フサコケムシの一種	<i>Bagul i na</i> sp.	●					●	●	●	●	●
	モングチコケムシ科	モングチコケムシの一種	<i>Cryptosul a</i> sp.	●					●	●	●	●	●
	アミコケムシ科	ヒラハコケムシの一種	<i>Membranipora</i> sp.	●					●	●	●	●	●
	-	外肛動物門	<i>Bryozoa</i>	●					●	●	●	●	●
	ホウキムシ科	ヒメホウキムシ	<i>Phoroni s i j i mai</i>	●					●	●	●	●	●
	ホウキムシ科	イサゴホウキムシ?	<i>Phoroni s psammophi l a?</i>	●					●	●	●	●	●
				●					●	●	●	●	●
				●					●	●	●	●	●
節足動物(ウミゴモ類+甲殻類)	イソウミゴモ科	シマウミゴモ	<i>Amethea hi gendorfi</i>	●					●	●	●	●	●
	144種群	イソウミゴモ科	<i>Amethei dae</i>	●					●	●	●	●	●
	トコリウミゴモ科	カイヤドリウミゴモ	<i>Nemphoni l l a tapeti s</i>	●					●	●	●	●	●
	-	ウミホタル属の一種	<i>Modocopi da</i> fam. gen. sp.	●					●	●	●	●	●
	モンストリウミゴモ科	<i>Menstrill opsi s</i> 属の一種	<i>Menstrill opsi s</i> sp.	●					●	●	●	●	●
	ウオジラミ科	トウダウオジラミ	<i>Oligus orientali s</i>	●					●	●	●	●	●
	ウオジラミ科	クロダウオジラミ	<i>Oligus latigenitali s</i>	●					●	●	●	●	●
	ウオジラミ科	ウキウオジラミ	<i>Oligus undul atus</i>	●					●	●	●	●	●
	ウオジラミ科	ウオジラミの一種	<i>Oligus</i> sp.	●					●	●	●	●	●
	ミョウガイ科	カメテ	<i>Ophi ul um melli a</i>	●					●	●	●	●	●
	イワフジツボ科	イワフジツボ	<i>Othamul us chal iengeri</i>	●					●	●	●	●	●
	フジツボ科	シロシフジツボ	<i>Fistul obol anus al bi costatus</i>	●		●			●	●	●	●	●
	フジツボ科	タチマフジツボ	<i>Argi bal anus argi tri te</i>	●					●	●	●	●	●
	フジツボ科	アメリカフジツボ	<i>Argi bal anus eburneus</i>	●					●	●	●	●	●
	フジツボ科	ヨーロッパフジツボ	<i>Argi bal anus i nprevi sus</i>	●					●	●	●	●	●
	フジツボ科	フジツボ科の一種	<i>Bal ani dae</i> gen. sp.	●					●	●	●	●	●
	クロフジツボ科	クロフジツボ	<i>Tetracl i t a j apani ca</i>	●					●	●	●	●	●
	クロムシ科	アナジャコクロムシ	<i>Saccul i na upogebi ae</i>	●					●	●	●	●	●
	シャコ科	シャコ	<i>Oratosquill a oratori a</i>	●					●	●	●	●	●
	コノハエビ科	コノハエビ	<i>Nebal i a cf. j apanensi s</i>	●					●	●	●	●	●
	アミ科	ニホンイサザアミ	<i>Neonysi s j apani ca</i>	●					●	●	●	●	●
	アミ科	イサザアミ	<i>Neonysi s awatschensi s</i>	●					●	●	●	●	●
	アミ科	<i>Neonysi s</i> 属	<i>Neonysi s</i> sp. or spp.	●					●	●	●	●	●
	テングヨコエビ科	テングヨコエビ属の一種	<i>Pleustes</i> sp.	●					●	●	●	●	●
	タテヨコエビ科	<i>Stenothoe</i> 属の一種	<i>Stenothoe</i> sp.	●					●	●	●	●	●
	ツルビヤヨコエビ科	<i>Eohaustori us</i> 属の一種	<i>Eohaustori us</i> sp.	●					●	●	●	●	●
	タカラヨコエビ科	ナイカイフノヨコエビ?	<i>Ochomael l a littoral i s ?</i>	●					●	●	●	●	●
	ナミナヨコエビ科	ウスガナミナヨコエビ	<i>Hauatori des furat ai</i>	●					●	●	●	●	●
	モクズヨコエビ科	<i>Apothys</i> 属の一種	<i>Apothys</i> sp.	●					●	●	●	●	●
	モクズヨコエビ科	フサモクズ	<i>Ptil othys</i> e. barbi corni s	●					●	●	●	●	●
	モクズヨコエビ科	モクズヨコエビ科の一種	<i>Hyal i dae</i> sp.	●					●	●	●	●	●
	ハマドムシ科	ミナモトハマドムシ	<i>Pyotakovesti a i masai</i>	●					●	●	●	●	●
	ハマドムシ科	ニホンスナハマドムシ	<i>Sinorchesti a ni pponensi s</i>	●					●	●	●	●	●
	ハマドムシ科	タイヘイヨクセメハマドムシ	<i>Platorchesti a paci fi ca</i>	●					●	●	●	●	●
	ハマドムシ科	ヒメハマドムシ種群	<i>Platorchesti nae</i>	●					●	●	●	●	●
	ユンボリヨコエビ科	フラブライヨコエビ	<i>Arai des curvi pes</i>	●					●	●	●	●	●
	ユンボリヨコエビ科	ニホンドラヨコエビ	<i>Grandi d e r e l l a j apani ca</i>	●					●	●	●	●	●
	ユンボリヨコエビ科	ヒメドラヨコエビ	<i>Paragranti d e r e l l a ni ni me</i>	●					●	●	●	●	●
	ドロダマシ科	アリアケドロダマシ	<i>Mnecorophi um acherusi cum</i>	●					●	●	●	●	●
	ドロダマシ科	トンボリドロダマシ	<i>Mnecorophi um i mai di osum</i>	●					●	●	●	●	●
	ドロダマシ科	ウエバドロダマシ	<i>Mnecorophi um uenoi</i>	●					●	●	●	●	●
	ドロダマシ科	ニホンドロダマシ	<i>Sinacrorophi um j apani cum</i>	●					●	●	●	●	●
	ドロダマシ科	タイリクドロダマシ?	<i>Sinacrorophi um si nensi s ?</i>	●					●	●	●	●	●
	ドロダマシ科	ドロダマシ科	<i>Corophi i nae</i> gen. sp.	●					●	●	●	●	●
	ヒメナガヨコエビ科	モズミヨコエビ	<i>Argi choe val i da</i>	●					●	●	●	●	●

			報告地名	海の公園 横浜市	野島平海 横浜市	多摩川河口 臨海 川崎市 大田区	多摩川河口 河口 大田区	東京港野島公園 大田区	城南島 臨海公園 大田区	大森ふも との浜辺 大田区	大井埠頭 中央公園 大田区	お台場臨海 公園北半 港区	お台場臨海 公園南半 港区
科	和名	学名											
節足動物(ウミガモ類・甲殻類) 続き	ウレカラ科	クビナガウレカラ	<i>Caprella equilibra</i>						●	●	●	●	●
	ウレカラ科	オオウレカラ	<i>Caprella kroeyeri</i>							●			
	ウレカラ科	マルエウレカラ	<i>Caprella penanti</i>						●	●	●	●	●
	ウレカラ科	トゲウレカラ	<i>Caprella scaura</i>						●			●	●
	ウレカラ科	ウレカラ 属	<i>Caprella</i> sp. or spp.						●			●	●
	メリタコエビ科	フトメリタコエビ	<i>Melita rylorae</i>						●		●	●	●
	メリタコエビ科	ヒゲツノメリタコエビ	<i>Melita setiflagella</i>						●	●		●	●
	メリタコエビ科	シミズメリタコエビ	<i>Melita shimizu</i>						●	●		●	●
	メリタコエビ科	Melita 属の一種	<i>Melita</i> sp.									●	●
	キタコエビ科	ボシエットグオコエビ	<i>Eogammarus posseticus</i>						●				
	-	"ヨコエビ様"	"Gammaridea"								●		
	ウミズミシ科	Izai 属の一種	<i>Izai</i> sp.			●	●						
	スナウミナナシ科	ムロミスナウミナナシ	<i>Qathura murumensis</i>			●	●						
	スナホリムシ科	スナホリムシ科の複数種	<i>Qrolani</i> det. gen. spp.										
	ウオノエ科	サツバノキンカ	<i>Anisocera clapei</i>										
	エビヤリムシ科	スナモグリヤドリムシ	<i>Iane cornuta</i>										
	ヘラムシ科	ハサビダヘラムシ	<i>Synidotea ezoniensis</i>										
	ヘラムシ科	ヘラムシ科の一種	<i>Idotea</i> det. gen. sp.			●		●	●	●	●	●	●
	フナムシ科	キタフナムシ	<i>Ligia cinerascens</i>		●		●		●	●	●	●	●
	フナムシ科	フナムシ	<i>Ligia exotica</i>			●				●			
	コブブムシ科	ヨシハコブブムシ	<i>Sphaeroma retrolaevis</i>										
	コブブムシ科	ナナツハコブブムシ	<i>Sphaeroma eiboldi</i>										
	コブブムシ科	Ghorimesphaeroma 属	<i>Ghorimesphaeroma</i> sp. or spp.						●	●	●	●	●
	タナイス科	キスイタナイス	<i>Sinellabus ki sui</i>						●	●	●		
	クマ科	ミツオビクマ	<i>Dastylis tricolorata</i>						●				
	-	クマ目	Quemoea						●				
	クルマエビ科	クルマエビ	<i>Penaeus japonicus</i>										
	クルマエビ科	ウシエビ	<i>Penaeus monodon</i>										
	サクラエビ科	アキアミ	<i>Acetes japonicus</i>										
	テッポウエビ科	テッポウエビ	<i>Alpheus brevirostratus</i>		●								
	テッポウエビ科	ニセオニテッポウエビ	<i>Alpheus rapacida</i>	●									
	テッポウエビ科	イソテッポウエビもしくは近縁種	<i>Alpheus aff. labidens</i>										
	テッポウエビ科	フトオビイソテッポウエビ	<i>Alpheus</i> sp. 1										
	テッポウエビ科	セジロムラサキエビ	<i>Athanas japonicus</i>										
	テッポウエビ科	クボミテッポウエビ	<i>Stenolpheops anacanthus</i>										
	ヒメサンゴモエビ科	アシナガモエビモドキ	<i>Haptacarpus futilirostris</i>		●								
	エビジャコ科	ウリタエビジャコ	<i>Orangon uritai</i>		●				●			●	
	エビジャコ科	カンオベエビジャコ	<i>Orangon casiope</i>										
	エビジャコ科	エビジャコ属	<i>Orangon</i> sp. or spp.	●									
	チナガエビ科	チナガエビ	<i>Macrobrachium nipponense</i>			●							
	チナガエビ科	コビナガエビ	<i>Palaeomon macrodactylus</i>		●				●	●	●	●	●
	チナガエビ科	イノシエビ	<i>Palaeomon pacificus</i>										
	チナガエビ科	スジエビモドキ	<i>Palaeomon serrifer</i>		●								●
	チナガエビ科	チュウゴウスジエビ	<i>Palaeomon sinensis</i>										
	チナガエビ科	シラタエビ	<i>Exopalaemon orientalis</i>			●			●			●	
	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>					●	●	●	●	●	●
	スナモグリ科	ニホスナモグリ	<i>Neotrypaea japonica</i>			●	●	●	●	●	●	●	●
	スナモグリ科	ハルマシスナモグリ	<i>Neotrypaea harmandi</i>										
	ハサミシヤコエビ科	ハサミシヤコエビ	<i>Laomedi a estacina</i>										
	アナジャコ科	アナジャコ	<i>Upogebi a majior</i>			●					●	●	
	ヤドリガニ科	コブヨコバサミ	<i>Oribanarius infrastratus</i>						●				●
	ヤドリガニ科	チナガツノヤドリガニ	<i>Orogenes nitidimanus</i>	●					●				
	ヤドリガニ科	ケツカミヨコバサミ	<i>Paguristes ortmanni</i>		●								
	ホンヤドリガニ科	ケアシホンヤドリガニ	<i>Pagurus lanuginosus</i>			●			●		●	●	●
	ホンヤドリガニ科	ユビナガホンヤドリガニ	<i>Pagurus minutus</i>	●		●			●	●	●	●	●
	ホンヤドリガニ科	ヨモギホンヤドリガニ	<i>Pagurus nigrofasciatus</i>						●		●	●	●
	カニダマシ科	フトウチネジレカニダマシ	<i>Risid a serratifrons</i>										
	キンセンガニ科	キンセンガニ	<i>Mtuta victor</i>										
	イサナガニ科	コイサナガニ	<i>Gibbicaracus amphioctus</i>						●				
	スベスベオウギガニ科	スベスベオウギガニ	<i>Sphaerzoea nitidus</i>										
	コブシガニ科	カネコブシガニ	<i>Phylla kanekoi</i>	●									
	コブシガニ科	マメコブシガニ	<i>Pyrilla pium</i>	●		●	●						
	モガニ科	ニッポンモガニ	<i>Pugettia nipponensis</i>	●									
	イッカクモガニ科	イッカクモガニ	<i>Pynomis tuberculata</i>						●	●		●	●
	ミドリガニ科	チチュウカイミドリガニ	<i>Qarolus aestuarii</i>										
	ガザガニ科	トゲノミガザガニ	<i>Squilla paramesain</i>										
	ガザガニ科	ノコギリガザガニの一種	<i>Squilla</i> sp.										
	ガザガニ科	タイワンガザガニ	<i>Portunus pelagicus</i>		●								
	ガザガニ科	ガザガニ	<i>Portunus trituberculatus</i>										
	ガザガニ科	イソガニ	<i>Charybdis (Charybdis) japonica</i>	●	●				●		●		●
	オウギガニ科	オウギガニ	<i>Leptodus affinis</i>										
	オウギガニ科	シフオウギガニ	<i>Macromedusa distinguendus</i>						●				
	ミナトオウギガニ科	ハクタイオウギガニ	<i>Acantholobus pacificus</i>							●		●	
	イワガニ科	イワガニ	<i>Pachygrapsus crassipes</i>										
	ベンケイガニ科	アカチガニ	<i>Oriromantes haematocheir</i>		●						●		
	ベンケイガニ科	ウメレベンケイガニ	<i>Olistocolome sinense</i>										
	ベンケイガニ科	クロベンケイガニ	<i>Oriasme dehaani</i>		●			●			●		
	ベンケイガニ科	ベンケイガニ	<i>Oriasme intermedium</i>					●					
	ベンケイガニ科	クレチガニ	<i>Parasasme affinis</i>										
	ベンケイガニ科	フタバチガニ	<i>Parasasme bidens</i>										
	ベンケイガニ科	カクベンケイガニ	<i>Parasasme pictum</i>							●	●	●	●
	モクズガニ科	ヒライノガニ	<i>Geeti ce depressus</i>						●				
	モクズガニ科	ケアシヒライノガニ(仮称)	<i>Geeti ce</i> sp.										
	モクズガニ科	ヒメアシハラガニ	<i>Helicana japonica</i>										
	モクズガニ科	アシハラガニ	<i>Helice tri dens</i>		●			●					
	モクズガニ科	モクズガニ	<i>Eriocheir japonica</i>		●					●	●		●
	モクズガニ科	スネナガイノガニ	<i>Hemigrapsus longitarsis</i>	●					●			●	
	モクズガニ科	クワサイノガニ	<i>Hemigrapsus penicillatus</i>		●			●				●	
	モクズガニ科	イノガニ	<i>Hemigrapsus sanguineus</i>		●			●	●	●	●	●	●
	モクズガニ科	タカノクワサイノガニ	<i>Hemigrapsus takanoi</i>	●		●		●	●	●	●	●	●

			報告地名	海の公園 横浜市	野島千両 横浜市	多摩川河口 麻村 山崎市	多摩川河口 河口 大田区	東京湾野島公園 大田区	城南島 海岸公園 大田区	大森ふもと の浜辺 大田区	大井埠頭 中央公園 大田区	お台場海岸 公園北岸 港区	お台場海岸 公園南岸 港区
	科	和名	学名										
節足動物(ウミガモ類・甲殻類) 続き	ムツハリアケガニ科	アリアケマドキ	<i>Delattonotus oristatus</i>										
	コメツキガニ科	チゴガニ	<i>Ilyoplax pusilla</i>			●	●	●					
	コメツキガニ科	コメツキガニ	<i>Scopimera glabosa</i>			●	●	●				●	●
	オサガニ科	オサガニ	<i>Macropthalmus abbreviatus</i>					●					
	オサガニ科	ヤマトオサガニ	<i>Macropthalmus japonicus</i>			●	●	●					
	スナガニ科	スナガニ	<i>Oxyope stimpsoni</i>										
	カクレガニ科	ノビズマメガニ	<i>Pinnixa bancu</i>	●									
	カクレガニ科	ウスノビマメガニ近縁種	<i>Pinnixa aff. rathbuni</i>	●									
ギボシムシ類 2種群	ギボシムシ科	ミサキギボシムシ	<i>Balanoglossus misakiensis</i>										
	ギボシムシ科	Gosobalanus 属の一種	<i>Gosobalanus</i> sp.										
ヒトデ・ウニ・ナマコ類 13種群	モミジガイ科	トゲモミジガイ	<i>Astropecten polyacanthus</i>		●								
	モミジガイ科	モミジガイ	<i>Astropecten scoparius</i>		●								
	イトマキヒトデ科	イトマキヒトデ	<i>Patiria pectinifera</i>		●								
	トグクモヒトデ科	クシノハクモヒトデ	<i>Qhiuraglypta kinbergi</i>						●			●	●
	チビクモヒトデ科	チビクモヒトデ	<i>Qhiactis savignyi</i>						●				
	チビクモヒトデ科	チビクモヒトデ科の一種	<i>Qhiactis</i> gen. sp.						●				
	トグクモヒトデ科	ナガトグクモヒトデ	<i>Qhiotheris exigua</i>						●				
	トグクモヒトデ科	トグクモヒトデ	<i>Qhiotheris panchyendyte</i>		●								
	サンショウウニ科	サンショウウニ	<i>Tenmoeurus torumeticus</i>		●								
	シカクサマコ科	ムラサキウニ	<i>Helicodonta oraspi na</i>		●								
	シカクサマコ科	アカナマコ	<i>Apostichopus cf. roseus</i>						●				
	シカクサマコ科	マナマコ	<i>Apostichopus japonicus</i>	●	●				●				
ホヤ類 9種群	マンジュウボヤ科	マンジュウボヤ	<i>Aplidium pliciferum</i>										
	ユウレイボヤ科	カユウレイボヤ	<i>Oona robusta</i>						●			●	●
	ユウレイボヤ科	ユウレイボヤ	<i>Oona savignyi</i>						●	●	●	●	●
	ユウレイボヤ科	Oona 属	<i>Oona</i> sp. or spp.							●	●	●	●
	ナツメボヤ科	ザラボヤ	<i>Ascidia zara</i>									●	
	ナツメボヤ科	ナツメボヤの一種	<i>Ascidia</i> sp.						●			●	
	シロボヤ科	シロボヤ	<i>Styela plicata</i>		●				●		●	●	●
	シロボヤ科	エボヤ	<i>Styela clava</i>		●								
	フクロボヤ科	マンハッタンボヤ	<i>Molgula manhattanensis</i>						●		●	●	●
魚類 128種群	アカエイ科	アカエイ	<i>Hemichthys akagi</i>					●	●	●	●	●	●
	ツバクロエイ科	ツバクロエイ	<i>Gymura japonica</i>						●	●		●	●
	ウナギ科	ニホンウナギ	<i>Anguilla japonica</i>								●		
	アナゴ科	マアナゴ	<i>Gonger myriaster</i>										
	ニシン科	コニシロ	<i>Konosirus punctatus</i>		●				●				●
	ニシン科	サウハ	<i>Sardinella zunasi</i>									●	●
	カササギワシ科	カササギワシ	<i>Engraulis japonica</i>						●				●
	カマツカ科	ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>										
	カマツカ科	モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>										
	ウグイ科	マルタ	<i>Pseudaspius brandtii merula</i>										
	ドジョウ科	ドジョウ	<i>Megurina oblongus</i>										
	ゴンズイ科	ゴンズイ	<i>Plecoglossus japonicus</i>		●								
	アユ科	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>									●	
	ヨウジウオ科	ガンテンインヨウジ	<i>Hippichthys penicillatus</i>										
	ヨウジウオ科	サンゴタツ	<i>Hippocampus nebulosus</i>		●								
	ヨウジウオ科	ヨウジウオ	<i>Syngnathus schlegelii</i>		●							●	
	ヨウジウオ科	オウゴウジ	<i>Urocampus nanus</i>		●								●
	ボラ科	オニボラ?	<i>Eliochelon vaigiensis</i>						●				
	ボラ科	ボラ	<i>Megalops cephalus</i>					●	●	●	●	●	●
	ボラ科	メナダ	<i>Pseudoscia haematocheilus</i>										
	トウゴロウイワシ科	トウゴロウイワシ	<i>Dobsonia bleekeri</i>										
	カダヤシ科	カダヤシ	<i>Gadus affinis</i>										
	サヨリ科	サヨリ	<i>Hyporhamphus sajori</i>										
	サヨリ科	サヨリ属の一種	<i>Hyporhamphus</i> sp.										
	トビウオ科	ニジシロウオ	<i>Hirundichthys speculiger</i>										
	ダツ科	ダツ科の一種	<i>Balistes gen. sp.</i>										
	メバル科	シロメバル	<i>Sebastes cheni</i>		●				●		●	●	●
	メバル科	ムナヅク	<i>Sebastes pachycephalus</i>		●								
	メバル科	メバル属の一種	<i>Sebastes</i> sp.		●				●				
	メバル科	カサゴ	<i>Sebastes marmoratus</i>		●				●				
	オニオコゼ科	オニオコゼ	<i>Imbricatus japonicus</i>		●								
	コチ科	イネコチ	<i>Ochetolabrus rostratus</i>										
	コチ科	マゴチ	<i>Platycephalus sp. 2</i>						●			●	●
	アイナメ科	クジメ	<i>Hexagrammos agrammus</i>		●								
	アイナメ科	アイナメ	<i>Hexagrammos otakii</i>		●								
	カジカ科	アサヒナハゼ	<i>Pseudobrama crenatus</i>		●								
	スズキ科	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>						●	●	●	●	
	テンジクダイ科	クロイシモチ	<i>Apogonichthys niger</i>		●								
	テンジクダイ科	オオスズイシモチ	<i>Ostorhinchus doederleinii</i>		●								
	テンジクダイ科	ネンブツダイ	<i>Ostorhinchus semilineatus</i>		●								
	アジ科	ギンガメアジ	<i>Caranx sexfasciatus</i>										
	アジ科	ブリ	<i>Seriola lalandi</i>										
	ヒラキ科	ヒラキ	<i>Notothenia nuchalis</i>										
	マツダイ科	マツダイ	<i>Lobosoma nuchalis</i>										
	クロサギ科	クロサギ	<i>Girella eques</i>		●							●	
	イサキ科	クロダイ	<i>Diplodus nuchalis</i>		●								
	イサキ科	コシウダイ	<i>Plectorhynchus nuchalis</i>		●								●

			報告地名	海の公園 横浜市	野島千両 横浜市	多摩川河口 磯町 川崎市	多摩川河口 羽田 大田区	東京港野島公園 大田区	城市島 海浜公園 大田区	大森ふもとの浜辺 大田区	大井埠頭 中央公園 大田区	お台場海浜 公園北岸 港区	お台場海浜 公園南岸 港区
	科	和名	学名										
魚類続き	タイ科	キナヌ	<i>Acanthopagrus latus</i>		●			●		●			
	タイ科	クロダイ	<i>Acanthopagrus schlegelii</i>		●			●	●	●		●	●
	タイ科	マダイ	<i>Pagrus major</i>						●				●
	タイ科	ヘダイ	<i>Rhabdosargus sarba</i>						●			●	
	ツエフキダイ科	ツエフキダイ属の一種	<i>Lethrinus</i> sp.		●								
	ニベ科	ニベ	<i>Nibea mitsukurii</i>										
	ニベ科	シログチ	<i>Pennahia argentata</i>										
	キス科	シロギス	<i>Sillago japonica</i>										
	ヒメジ科	オオスジヒメジ	<i>Parupeneus barberinus</i>		●								
	ヒメジ科	ヒメジ	<i>Upeneus japonicus</i>		●								
	チョウチョウウオ科	セグロチョウチョウウオ	<i>Oaetodon ephippium</i>		●								
	チョウチョウウオ科	アケボノチョウチョウウオ	<i>Oaetodon melanotus</i>		●								
	ウミタナゴ科	マタナゴ	<i>Ditrema temminckii pacificum</i>		●				●				
	スズメダイ科	オヤビツチャ	<i>Abudefduf valgiensis</i>		●								
	シマイサキ科	シマイサキ	<i>Rhyncoplates oxyrhynchus</i>		●								●
	シマイサキ科	コヒキ	<i>Terapon jarbua</i>										
	インダイ科	インダイ	<i>Oligonathus fasciatus</i>		●				●				
	インダイ科	インガキダイ	<i>Oligonathus punctatus</i>		●								
	メジナ科	メジナ	<i>Girella punctata</i>		●				●				
	ベラ科	ホンベラ	<i>Helichoeres tenuispinus</i>		●								
	ベラ科	キュウセン	<i>Parajulis pascioptera</i>		●				●				
	ベラ科	ホシササノハベラ	<i>Pseudolabrus siabadi</i>		●								
	ベラ科	コブダイ	<i>Semioscyphus reticulatus</i>		●								
	ベラ科	加減ナリベラ	<i>Stethojulis interrupta terima</i>		●								
	タウエギシ科	ダイナンギンボ	<i>Dityosoma temminckii</i>						●				
	ニンギンボ科	ギンボ	<i>Pholis nebulosa</i>						●				
	コウギンボ科	コウギンボ	<i>Neodinus bruyae</i>										
	イソギンボ科	ナベカ	<i>Orebanthus elegans</i>		●				●				
	イソギンボ科	トスカギンボ	<i>Orebanthus fasciolatocephalus</i>						●	●	●	●	●
	イソギンボ科	イダテンギンボ	<i>Orebanthus punctatus</i>						●				
	イソギンボ科	イソギンボ	<i>Parablennius yatabei</i>		●						●		
	イソギンボ科	ニジギンボ	<i>Petroscirtes brevicapsa</i>		●								●
	エイズ科	ハタテスズメ	<i>Callionymus valenciennesi</i>						●				
	ハゼ科	スジハゼ	<i>Acanthogobius virgatus</i>		●				●	●	●	●	●
	ハゼ科	ツマグロスジハゼ	<i>Acanthogobius</i> sp. 2						●	●	●	●	●
	ハゼ科	ヒメハゼ	<i>Favonigobius gymnauchen</i>		●				●	●	●	●	●
	ハゼ科	ウロハゼ	<i>Glossogobius olivaceus</i>								●	●	●
	ハゼ科	マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ハゼ科	アシシロハゼ	<i>Acanthogobius lineatus</i>						●	●	●	●	●
	ハゼ科	アゴハゼ	<i>Oaenogobius annularis</i>		●				●	●	●	●	●
	ハゼ科	ドロメ	<i>Oaenogobius gulosus</i>						●	●	●	●	●
	ハゼ科	ヒメハゼ	<i>Euteneiichthys gilii</i>				●					●	●
	ハゼ科	ビリンゴ	<i>Gymnogobius breunigii</i>			●			●	●	●	●	●
	ハゼ科	ニクハゼ	<i>Gymnogobius heptacanthus</i>		●				●	●	●	●	●
	ハゼ科	エドハゼ	<i>Gymnogobius macrognathos</i>			●							
	ハゼ科	チクゼンハゼ	<i>Gymnogobius uchiwai</i>						●			●	
	ハゼ科	ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>							●			
	ハゼ科	<i>Gymnogobius</i> 属の一種	<i>Gymnogobius</i> sp.								●		
	ハゼ科	イシスズハゼ	<i>Loxiogobius neriisii</i>										
	ハゼ科	スズハゼ属の一種	<i>Loxiogobius</i> sp.					●					
	ハゼ科	アベハゼ	<i>Megillogobius abei</i>			●		●			●	●	
	ハゼ科	トビハゼ	<i>Periopthalmus modestus</i>					●					
	ハゼ科	マサゴハゼ	<i>Pseudogobius masago</i>			●						●	
	ハゼ科	キヌハゼ	<i>Pterogobius elegans</i>		●								
	ハゼ科	ヒナハゼ	<i>Rodigobius biokolanus</i>								●	●	●
	ハゼ科	アカオビシマハゼ	<i>Tridentiger trigonocephalus</i>		●				●	●	●	●	●
	ハゼ科	シモフシマハゼ	<i>Tridentiger bifasciatus</i>						●			●	
	ハゼ科	スマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>										
	ハゼ科	チチブ	<i>Tridentiger obscurus</i>						●	●	●	●	●
	ハゼ科(広義)	ハゼ科(広義)	<i>Gobiodon (sensu lato)</i>						●	●	●	●	●
	クロユリハゼ科	サツキハゼ	<i>Periglossus dotui</i>						●			●	
	アイゴ科	アイゴ	<i>Siganus fuscescens</i>		●								
	タチウオ科	タチウオ	<i>Trichiurus japonicus</i>										
	ヒラメ科	ヒラメ	<i>Paralichthys olivaceus</i>		●								
	カレイ科	イシガレイ	<i>Platichthys bicoloratus</i>						●		●		●
	カレイ科	マコガレイ	<i>Pseudopleuronectes yokohamae</i>						●				●
	カレイ科	カレイ科	<i>Pleuronectes</i> dae sp. gen.								●		
	ササウシノシタ科	ササウシノシタ	<i>Heterometyrus japonicus</i>		●								
	ウシノシタ科	クロウシノシタ	<i>Parapagrus japonicus</i>										
	ギマ科	ギマ	<i>Triacanthus biaculeatus</i>		●				●				
	モンガラカワハギ科	アミモンガラ	<i>Qanthus maculatus</i>										
	ガウハギ科	アミハギ	<i>Ruderis ercodes</i>		●								
	ハコフグ科	コンゴウフグ	<i>Lactoria cornuta</i>	●									
	ハコフグ科	ハコフグ	<i>Ostracion immutatum</i>		●								
	フグ科	クサフグ	<i>Taki fugu albipunctus</i>		●								
	フグ科	コモンフグ	<i>Taki fugu flavipaterus</i>		●								
	フグ科	ヒガンフグ	<i>Taki fugu pardalis</i>						●				
	フグ科	トラフグ	<i>Taki fugu rubripes</i>										
	フグ科	フグ科	<i>Tetraodonidae</i>										
両生類 1 種群	ヌマガメ科	ミシシッピアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>						●				

			報告地名	海の公園 横浜市	野島平岡 横浜市	多摩川河口 瀬谷市	多摩川河口 羽田 大田区	東京湾野島公園 大田区	城南島 海浜公園 大田区	大森ふさふ との浜辺 大田区	大井埠頭 中央公園 大田区	お台場海浜 公園北岸 港区	お台場海浜 公園南岸 港区
	科	和名	学名										
海藻類 18種類	フジマツモ科	ショウジョウケソノ	<i>Polysiphonia senticulosa</i>						●	●	●	●	●
	オゴノリ科	オゴノリ	<i>Gracilaria vermiculophylla</i>						●				
	オゴノリ科	ベニオゴノリ	<i>Gracilaria rhodocaudata</i>						●				
	イギス科	イギス	<i>Oeramia</i>										
	ダジヤ科	ダジヤ科の一種	<i>Dasyaceae</i> gen. sp.										
	テングサ科	テングサ科の一種	<i>Gelidium</i> gen. sp.										
	ウネノリ科	スサビノリ	<i>Neopyrosia yezoensis</i>										
	カヤモノ科	セロウハシノリ	<i>Petalonia fasciata</i>										
	カヤモノ科	カヤモノ	<i>Sargassum flamentaria</i>										
	ホンダワラ科	スサビキモウ	<i>Sargassum ameghii</i>										
	ホンダワラ科	アカモク	<i>Sargassum horneri</i>						●	●	●	●	●
	シオミドロ科	シオミドロ	<i>Ectocarpus siliculosus</i>						●		●	●	●
	サガイン科	ウカド	<i>Undaria pinnatifida</i>						●				
	アオサ科	アナアオサ	<i>Ulva pertusa</i>						●	●	●	●	●
	アオサ科	ボウアオサノリ	<i>Ulva intestinalis</i>						●	●	●	●	●
	アオサ科	ウバ 属	<i>Ulva</i> sp. or spp.						●	●	●	●	●
	ミル科	ミル属の一種	<i>Codium</i> sp.						●	●	●	●	●
	ハネモ科	ハネモ	<i>Bryopsis plumosa</i>						●	●	●	●	●
アマモ類 2種	アマモ科	アマモ	<i>Zostera marina</i>						●				
	アマモ科	コアマモ	<i>Zostera japonica</i>						●	●			
総種群数 610													
			報告者名	尾島智仁 坂本昭夫 海上智夫	坂本昭夫	風谷田利夫 竹山雄彦	鈴木晶夫	川島賢治 崎村平樹 岩田幸治 小俣達一郎	尾島智仁 尾島雅子 多留聖典	尾島智仁 尾島雅子 多留聖典	尾島智仁 尾島雅子 多留聖典	尾島智仁 尾島雅子 多留聖典	尾島智仁 尾島雅子 多留聖典
			団体名	海をつくる会	海をつくる会	多摩川河口 生物研究会	大田区環境 マイスターの会	(公財) 日本野鳥の会	東京湾水中生物 研究会	東京湾水中生物 研究会	東京湾水中生物 研究会	東京湾水中生物 研究会	東京湾水中生物 研究会

			報告地名	東西海流公園 江戸川区	東西海流公園 東なぎさ 江戸川区	東西海流公園 江戸川区	東西海流公園 島間 江戸川区	堤川ならびに 浦安市沿岸 浦安市	三番瀬環境緑地 臨海 浦安市	三番瀬 ふなばし三番瀬 臨海公園 船橋市	新浜 浦安市	高東岸水路群 (市取市・木更津市・船ヶ浜市・若津市・富津市)	小堀川 河口千鳥 木更津市
	科	和名	学名										
線毛虫類 3種群	ツリガネムシ科	エダワカツリガネムシ科の一種	<i>Qerchesi</i> sp. sp.										
	ズーナムニウム科	<i>Zoot hamii</i> um ni veun?	<i>Zoot hamii</i> um ni veun?										
	ズーナムニウム科	<i>Zoot hamii</i> um pl umel a?	<i>Zoot hamii</i> um pl umel a?										
海綿類 4種群	カワナシカイメン科	ヤクダカイメン	<i>Heli clona</i> (<i>Heli clona</i>) ocul ata										
	イノカイメン科	ナミノカイメン	<i>Heli chondria</i> (<i>Heli chondria</i>) pani cea					●	●	●			●
	イノカイメン科	ダイダイイノカイメン	<i>Hymeni aci don per levis</i>					●	●				
	-	尋常海綿綱	<i>Demospongi</i> ae										
クラゲ・イソギンチャク類 32種群	ハナギンチャク科	ムラサキハナギンチャク	<i>Oer anthusa filiformis</i>										
	ムシモドキギンチャク科	ギョライムシモドキギンチャク近縁種	<i>Edwar dia</i> aff. al ternobomen										
	ムシモドキギンチャク科	ホノイノギンチャク?	<i>Mt edwar dia</i> cf. akkeshi										
	ムシモドキギンチャク科	ムシモドキギンチャク科	<i>Edwar dui</i> dae										
	ウメボシイノギンチャク科	ヒメイノギンチャク	<i>Anthopl eura asi ati ca</i>										
	ウメボシイノギンチャク科	ミドリイノギンチャク	<i>Anthopl eura fuscovi ri di s</i>										
	ウメボシイノギンチャク科	イソフケイノギンチャク	<i>Anthopl eura</i> sp.					●	●	●			
	ウメボシイノギンチャク科	Anthopl eura 属の一種	<i>Anthopl eura</i> sp. 2										
	ウメボシイノギンチャク科	ハサフケイノギンチャク	<i>Paracandi actis</i> sp.										
	モイタカイノギンチャク科	チギレイノギンチャク	<i>Aptasi enterpha</i> sp.										
	Andvaki i dae 科?	Andvaki i dae 科?	<i>Andvaki i dae?</i> gen. sp.										
	タチジマイノギンチャク科	タチジマイノギンチャク	<i>Diadema li neata</i>					●	●	●			●
	科不確定	Paratpasi a 属の一種?	<i>Paratpasi a?</i> sp.						●	●			
	科不確定	ホウザイノギンチャク	<i>Synandwaki a hozzamei</i>						●	●			●
	ウミサボテン科	ウミサボテン	<i>Qaver nul aria obosa</i>					●	●	●			
	ヤナギウミエラ科	ホウワウミエラ	<i>Scytal lum sprendens</i>										
	クダウミドラ科	ベニクダウミドラ	<i>Ectopl eura crocea</i>										
	クダウミドラ科	クダウミドラ科の一種	<i>Tubul ari i</i> dae gen. sp.										
	エダアシクラゲ科	エダアシクラゲ	<i>O adonema paci ficum</i>										
	タマウミドラ科	カミクラゲ	<i>Spi roodon saltator ix</i>							●	●		
	シニコクラゲ科	シニコクラゲ	<i>Rathkea octopunctata</i>							●	●		
	-	刺糸虫目の一種	<i>Filifera</i> fam. gen. sp.										●
	-	花水母目	<i>Anthoathecata</i> fam. gen. sp.						●	●			
	オウゴンクラゲ科	オウゴンクラゲ	<i>Aequorea coerulescens</i>						●	●	●		
	ウミサボテン科	オベリアクラゲ属の一種	<i>Obelia</i> sp.						●		●		
	ホノガヤ科	ホノガヤ科	<i>Hal eccl i</i> dae gen. sp.						●				
	ウミシバ科	ウミシバ科	<i>Sertul ari i</i> dae										
	ハナガサクラゲ科	カギノテクラゲ	<i>Goni onemus vertens</i>										
	ハナガサクラゲ科	ハナガサクラゲ	<i>O indi as faransa</i>										
	-	ヒドロ虫綱	<i>Hydrozoa</i>							●	●		
	ミズクラゲ科	ミズクラゲ	<i>Aurelia</i> cf. <i>coerulea</i>	●	●	●	●	●	●	●	●		●
	オキクラゲ科	アカクラゲ	<i>Orysaora paci fica</i>	●				●	●	●			●
クラゲ類 4種群	カブクラゲ科	カブクラゲ	<i>Bali nopsis mi kado</i>							●			
	ウリクラゲ科	カンバクウリクラゲ	<i>Beroe caspiana</i>										
	ウリクラゲ科	ウリクラゲ	<i>Beroe</i> aff. <i>cucumis</i>						●				
	ウリクラゲ科	ウリクラゲ科の複数種	<i>Beroi dae</i> gen. spp.							●			
ヒラムシ(扁形動物)類 3種群	ウスヒラムシ科	ウスヒラムシ科の一種	<i>Nitopl ani</i> dae gen. sp.										●
	スチロヒラムシ科	スチロヒラムシ科の一種	<i>Stylochi dae</i> gen. sp.					●	●	●			●
	-	多岐属目	<i>Poly chl i</i> dae					●	●	●			
ヒメムシ類 10種群	ケフマロツリウス科	ホリヒメムシ属の一種	<i>Ophal othrix</i> sp.						●				●
	カリマム科	Qer inome 属の一種	<i>Qer inome</i> sp.										
	クワガヒメムシ科	クワガヒメムシ	<i>Tubul anus punctatus</i>										
	リネウス科	<i>Qerebratul us carnosus</i>	<i>Qerebratul us carnosus</i>										●
	リネウス科	ナミヒメムシ	<i>Qerebratul us communis</i>						●				●
	リネウス科	リュウキュウヒメムシ	<i>I metanemertes pi perata</i>					●					
	リネウス科	<i>Lineosell oi</i> des albi li neus	<i>Lineosell oi</i> des albi li neus										
	ホノドリヒメムシ科	Nemer topasi s 属?の一種	<i>Nemer topasi s?</i> sp.										
	メノヒメムシ科	メノヒメムシ?	<i>Quasi tetrastemma ni grifrons?</i>										
	-	短形動物門	<i>Nemertea</i>		●			●					●
ヒザラガイ類 2種群	ケハダヒザラガイ科	ケハダヒザラガイ	<i>Acanthochoi tona defl i ppi i</i>					●		●			
	ケハダヒザラガイ科	ヒメケハダヒザラガイ	<i>Acanthochoi tona rubrol i neata</i>					●	●				
巻貝類 38種群	ヨマガサ科	ベッコウガサ	<i>Otil ana grata</i>							●			
	コガモガイ科	コウダカアオガイ	<i>Nipponosoma conoi ma</i>					●					
	コガモガイ科	ツボミ	<i>Patel loi da conul us</i>										●
	コガモガイ科	シボリガイ	<i>Patel loi da pygmaea</i>						●				
	ニシキウズ科	チダサガイ	<i>Qantheri dus japoni cus</i>										
	ニシキウズ科	イシダタミ	<i>Mnodonta confusa</i>							●			
	ニシキウズ科	イボキヤゴ	<i>Urbani um menil i ferum</i>						●	●			●
	ウボガイ科	コンダカガンガラ	<i>Tagul a rusti ca</i>					●	●	●			
	リュウケン科	スガイ	<i>Lunel la coraeensi s</i>						●	●			
	アマオブネ科	アマガイ	<i>Nerit a japoni ca</i>						●	●			
	ウミナナ科	ホソウミナナ	<i>Batill ari a attramentaria</i>					●	●	●	●	●	●
	ウミナナ科	ウミナナ	<i>Batill ari a mul ti form s</i>						●	●	●	●	●
	スズメハマツボ科	スズメハマツボ	<i>Di ala sem stri ata</i>						●				
	ウツボ科	シマハマツボ	<i>Ai aba pi ta</i>										●
	キバウミナナ科	フトヘナタリ	<i>Qer i thi dae merchi i</i>										●
	キバウミナナ科	カワアイ	<i>Pirenol i da pupi form s</i>								●		
	タマキビ科	アラレタマキビ	<i>Ech i nol i ttor i na radi ata</i>						●	●			
	タマキビ科	タマキビ	<i>Littori na brevi cul a</i>					●	●				●
	カワザンショウ科	クワイロカワザンショウ	<i>Angustassi m nea castanea</i>								●	●	●
	カワザンショウ科	キントニイロカワザンショウ	<i>Angustassi m nea</i> aff. <i>satumena</i>								●		●
	カワザンショウ科	ヨシダカワザンショウ	<i>"Angustassi m nea" yoshi dayuki oi</i>								●		●
	カワザンショウ科	ヒラダカワザンショウ	<i>"Asi m nea" hira doensi s</i>								●		●
	カワザンショウ科	カワザンショウガイ	<i>"Asi m nea" japoni ca</i>		●					●	●	●	●
	カワザンショウ科	カハタレカワザンショウ	<i>"Nani vi ttre a" sp.</i>										●

			報告地名	東西海浜公園 江戸川区	東西海浜公園 葛飾区	東西海浜公園 江戸川区	東西海浜公園 江戸川区	堤川ならびに 浦安市山崎 浦安市	三香湖環境植物 観察所 浦安市	三香湖 ふなばし三香湖 海浜公園 船橋市	新浜湖 市川市	高家原水跡群 (市原市・木更津 市・袖ヶ浦市・君 津市・富津市)	小堀川 河口平潟 木更津市
	科	和名	学名										
植物類 続き	ミズゴマツボ科	エドガワミズゴマツボ	<i>Stenothra edogawensis</i>								●		
	タマギイ科	サキグロタマギイ	<i>Laguncula pulchella</i>							●			●
	タマギイ科	ツメタギイ	<i>Neverita di dyme</i>					●	●		●		●
	タマギイ科	ホリツメタ	<i>Neverita di dyme hosoyai</i>					●	●				●
	イカクガイ科	ナガヒメナジガイ	<i>Epitonium castum</i>										
	イカクガイ科	クレハガイ	<i>Epitonium albertinum</i>										●
	ガリ/ハギイ科	シマメノウサギイ	<i>Orepiolus unyx</i>					●	●		●		●
	コロモガイ科	コロモガイ	<i>Sydaphera spengleriana</i>						●				
	タモトガイ科	ムギガイ	<i>Mitrella bicincta</i>						●	●			
	オリイロフバイ科	ムシロガイ	<i>Nassarius livescens</i>										
	オリイロフバイ科	アラムシロ	<i>Retinussa festiva</i>	●		●		●	●	●	●		●
	アツキガイ科	アカニシ	<i>Rapana venosa venosa</i>			●		●	●	●			●
	アツキガイ科	レイシ	<i>Reishia bronni</i>					●	●				●
	アツキガイ科	イボモシ	<i>Reishia olivacea</i>					●	●	●			●
ウミウシ・キセウタ類 43種群	オオシイミガイ科	ムラクモキジビキイ	<i>Japanacteon nipponensis</i>						●				●
	マメウシ科	マメウシ	<i>Ringicula dollaris</i>						●				
	イロウミウシ科	シロウミウシ	<i>Goniobranchus orientalis</i>										
	イロウミウシ科	シラユキウミウシ	<i>Verconia nivalis</i>										
	フジタウミウシ科	ハナフシヤ	<i>Kalina ornata</i>										
	フジタウミウシ科	クロコノチウミウシ	<i>Polycera hedghehi</i>										
	クロシタウミウシ科	クロシタウミウシ	<i>Dendrodois arborescens</i>					●	●				
	メリベウミウシ科	メリベウミウシ	<i>Melibe papillosa</i>										
	フジエウミウシ科	コウワノミウシ	<i>"Oithona" cf. perca</i>						●				
	フジエウミウシ科	<i>Tenellia adpersa</i>	<i>Tenellia adpersa</i>										
	オオモノウミウシ科	サラームモノウミウシ	<i>Beolidia cf. salamca</i>										
	オオモノウミウシ科	イロミモノウシ(イロミモノウミウシ)	<i>Spurilla braziliana</i>										
	ヨツズミモノウミウシ科	スターゴミモノウシ	<i>Favorinus sp. 2</i>										
	ヨツズミモノウミウシ科	アサエウミモノウシ	<i>Sakurazakiensis</i>										
	-	オオモノウミウシ類目の一様	<i>Aeolidia fam. gen. sp.</i>										
	-	種群目	<i>Nudi branchia</i>										
	ヘコツラ科	ヘコツラ	<i>Retusa mini me</i>										
	ブドウガイ科	加スジカメコガイダマシ	<i>Orichnatis yamaguchi</i>										
	ブドウガイ科	ブドウガイ	<i>Haliotis japonica</i>										
	キセウタガイ科	キセウタガイ	<i>Philine orientalis</i>					●	●				
	カノキセウタ科	ヤミヨキセウタ	<i>Melanochlamys fukudai</i>	●				●	●	●			●
	カノキセウタ科	タノレキセウタ	<i>Melanochlamys kahi</i>						●				
	カノキセウタ科	カノキセウタ	<i>Philineopsis cf. gladioli</i>										
	クダタマガイ科	コムツガイ	<i>Decorifer insigne</i>						●				●
	クダタマガイ科	マツシマコムツ	<i>Decorifer matusimae</i>						●				
	アメフラシ科	アメフラシ	<i>Aplysia kurodai</i>										
	アメフラシ科	トゲアメフラシ	<i>Bursatella leachi</i>										
	アメフラシ科	タツナミガイ	<i>Dolabella auricularia</i>							●			
	サリノドリガイ科	クロミドリガイ	<i>Elysia atrovirens</i>										
	ハダカモノウシ科	アリモノウシ	<i>Ercolania boodaea</i>										
	ハダカモノウシ科	ミドリアサモノウシ	<i>Racina babai</i>										
	ハダカモノウシ科	ベルグモノウシ	<i>Stiliger berghii</i>							●			
	コウダカラマツ科	カラマツガイ	<i>Siphonaria japonica</i>					●	●				
	トウガガイ科	シオガマクシ	<i>Brachystoma siogamensis</i>										●
	トウガガイ科	ヒガタコトカケギ	<i>Ongulina aff. circinata</i>						●				
	トウガガイ科	ヨコトカケギ	<i>Ongulina terebra</i>										●
	トウガガイ科	ミズヨコトカケギ	<i>Ongulina triarata</i>										
	トウガガイ科	クシキモドモキ	<i>"Oboloma" sp.</i>						●				
	トウガガイ科	クシキガイ	<i>Tiberia pulchella</i>						●				
	トウガガイ科	シロトカケギ	<i>Turbonilla candida</i>										
	イノナリ科	<i>Leucotina</i> 属の一様	<i>Leucotina sp.</i>										
	オホミガイ科	ウスミガイ	<i>Laomedon exaratus</i>										●
	オホミガイ科	ナギサシタタリ	<i>Microstalis astoosoides</i>										●
二枚貝類 40種群	イガイ科	ムラサキイガイ	<i>Mitilus galaprovencialis</i>					●	●				●
	イガイ科	ミドリイガイ	<i>Perna viridis</i>					●	●				
	イガイ科	ホトケス	<i>Masculista senhousia</i>					●	●		●		●
	イガイ科	コウロエンガフセリ	<i>Xenostrobus securis</i>	●									●
	イガイ科	コケガラス	<i>Modiolus modiolus</i>										
	フネガイ科	アカガイ	<i>Anadara broughtoni</i>										
	フネガイ科	サルボオ	<i>Anadara kagoshimensis</i>					●	●		●		
	ナミマガシフ科	ナミマガシフ	<i>Anomia chinensis</i>					●	●				
	イタボナ科	マガキ	<i>Grassostrea gigas</i>	●	●		●	●	●		●		●
	オキナガイ科	ソノガイ	<i>Ecolatella liautaudi</i>			●	●			●	●		●
	オキナガイ科	オキナガイ科の一様	<i>Laterculidae gen. sp.</i>						●				
	マテガイ科	エゾマテガイ	<i>Solen krusensteri</i>						●				
	マテガイ科	マテガイ	<i>Solen strictus</i>			●		●	●	●			●
	ウロコガイ科	オウギウロコガイ	<i>Gleomella utinomii</i>										
	サリハギ科	ガタヅキ	<i>Arthritica cf. reikoe</i>								●		●
	ザルガイ科	トリガイ	<i>Fulvia mutica</i>					●	●				
	ニッコウガイ科	サゼンサトリ	<i>Limecola contabulata</i>							●	●		●
	ニッコウガイ科	ヒメシラトリ	<i>Macoma incongrua</i>						●		●		
	ニッコウガイ科	サウラガイ	<i>Nitidostella hokkaidensis</i>						●				
	ニッコウガイ科	ウスザケラ	<i>Nitidostella mutata</i>										
	ニッコウガイ科	カビザケラ	<i>Nitidostella valtonis</i>										
	シオサザミ科	イソシジミ	<i>Nittalia japonica</i>							●			●
	アサギガイ科	シズクガイ	<i>Theora lubrica</i>										
	ハコガイ科	ハコガイ	<i>Modiola chinensis</i>					●	●				●
	ハコガイ科	シオツキ	<i>Modiola quadrangularis</i>	●	●	●		●	●	●	●		●
	サキモノガイ科	サキモノガイ	<i>Rostia pulchella</i>						●				
	フタノガイ科	ウメノガイ	<i>Falanella sowerbyi</i>										●
	フナガイ科	ウネサシタタリ	<i>Neostreptum liratum</i>		●				●	●	●		

			報告地名	東南海浜公園 江戸川区	東南海浜公園 東なぎさ 江戸川区	東南海浜公園 江戸川区	東南海浜公園野 鳥園 江戸川区	堤川なSFRに 満安市沿岸 満安市	三善湖環境観察 館周辺 満安市	三善湖 ふなばし三善湖 海水公園 船橋市	新浜湖 市川市	高家岸水路跡 (市原市・木更津 市・鎌倉市・横 濱市・富津市)	小堀川 河口平潟 木更津市
	科	和名	学名										
二枚貝類 続き	マルスダレガイ科	オキシジミ	<i>Ocellina</i> aff. <i>sinensis</i>					●		●	●		
	マルスダレガイ科	カガミガイ	<i>Dosinia japonica</i>					●	●				
	マルスダレガイ科	ホシノスガイ	<i>Mercenaria mercenaria</i>					●	●	●			
	マルスダレガイ科	ハマグリ近縁種	<i>Meretrix</i> aff. <i>lusoria</i>		●			●	●				●
	マルスダレガイ科	シナハマグリ	<i>Meretrix petechialis</i>	●				●	●				
	マルスダレガイ科	アザリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	●	●	●		●	●	●	●		●
	マルスダレガイ科	ウスカラシオツガイ	<i>Petricola</i> sp.					●	●				
	シジミ科	タイワンシジミ	<i>Corbicula fluminea</i>						●				
	シジミ科	ヤマトシジミ	<i>Corbicula japonica</i>	●	●		●						●
	カワホトギス科	イガイダマシ	<i>Mtlopis sallei</i>										
	オオノガイ科	ヒメマスオ	<i>Cryptomya busuensis</i>										
	オオノガイ科	オオノガイ	<i>Mya japonica</i>						●				
タコイカ類 6種群	コウイカ科	コウイカ属の一種	<i>Sepia</i> sp.					●		●			
	ダンゴイカ科	ミミイカ属の一種	<i>Euprymna</i> sp.								●		
	ヒメイカ科	ヒメイカ	<i>Idiocropus paradoxus</i>										●
	ヤリイカ科	ジンドウイカ属?	<i>Lolius?</i> sp.								●		
	マダコ科	イイダコ	<i>Amphioctopus fangsiao</i>										
	マダコ科	マダコ	<i>Octopus sinensis</i>							●			
多毛類(ゴカイ類) 102種群	ママキゴカイ科	ママキゴカイ	<i>Oenon gomonis</i>						●	●			
	ツバサゴカイ科	ツバサゴカイ	<i>Chaetopterus caesus</i>										
	ツバサゴカイ科	アネビキツバサゴカイ近縁種	<i>Sphaetopterus</i> aff. <i>okudai</i>										
	ツバサゴカイ科	サンハセツバサゴカイ	<i>Sphaetopterus sanbanzensis</i>										
	スジホシムシモドキ科	スジホシムシモドキ	<i>Siphonose cumanense</i>										
	クロホシムシ科	クロホシムシ	<i>Thysanocaris nigra</i>										●
	-	ホシムシ下綱	<i>Sipuncula</i>										
	ウロコムシ科	マダラウロコムシ	<i>Hermethoa cf. imbricata</i>					●	●				
	ウロコムシ科	ウロコムシ属科の一種	<i>Polydora</i> gen. sp.										
	ウロコムシ科	ハモテウロコムシ	<i>Lepidodonta dentatus</i>						●				
	ウロコムシ科	ウロコムシ科	<i>Polydora</i> sp.					●		●			
	シリシ科	シロマダラシリシ	<i>Syllis adamantea</i>						●				
	シリシ科	<i>Syllis</i> 属の一種	<i>Syllis</i> sp.										
	シリシ科	ミドリシリシ	<i>Megasyllis nipponica</i>										●
	シロガネゴカイ科	コクチャウシロガネゴカイ	<i>Nephtys californiensis</i>						●				
	シロガネゴカイ科	コクチンシロガネゴカイ	<i>Nephtys neopolobranchia</i>										●
	シロガネゴカイ科	ミナミシロガネゴカイ	<i>Nephtys polybranchia</i>						●				●
	シロガネゴカイ科	<i>Nephtys</i> 属の一種	<i>Nephtys</i> sp.										●
	カギゴカイ科	ハナオカガネゴカイ	<i>Sigantha hanaokai</i>						●				
	ゴカイ科	オウケゴカイ	<i>Nemertea littoralis</i> complex										●
	ゴカイ科	イトメ	<i>Tylorhynchus osawai</i>				●						●
	ゴカイ科	コケゴカイ	<i>Sipholisia erythraensis</i>						●				●
	ゴカイ科	ツルヒゲゴカイ	<i>Platynereis bicapillata</i>										●
	ゴカイ科	デシバクゴカイ	<i>Pseudonereis variegata</i>						●				
	ゴカイ科	ヤマトカワゴカイ	<i>Hediste diadema</i>		●							●	●
	ゴカイ科	ヤマトカワゴカイまたはヒメヤマトカワゴカイ	<i>Hediste diadema</i> or <i>H. atoka</i>							●			
	ゴカイ科	ヒメゴカイ	<i>Neanthes acuminata</i> complex										
	ゴカイ科	アンナゴゴカイ	<i>Neanthes succinea</i>	●									
	ゴカイ科	オウギゴカイ	<i>Nectonanthus oxyptoda</i>						●		●		
	ゴカイ科	ヒザブゴカイ	<i>Nereis heterocerata</i>						●				
	ゴカイ科	マサゴカイ	<i>Nereis muliginosa</i>										
	ゴカイ科	ゴカイ科の一種	<i>Nereis</i> gen. sp.			●							
	オヒヒメゴカイ科	モグリオヒヒメ	<i>Oxydromus okudai</i>										
	オヒヒメゴカイ科	<i>Oxydromus</i> 属の一種	<i>Oxydromus</i> sp.										
	オヒヒメゴカイ科	<i>Nereis</i> 属の一種	<i>Nereis</i> sp.										
	オヒヒメゴカイ科	<i>Syllisia</i> 属の一種	<i>Syllisia</i> sp.										
	オヒヒメゴカイ科	オヒヒメゴカイ科	<i>Nereis</i> gen. sp.						●				
	チロリ科	マイブルチロリ	<i>Glycera ameriana</i>							●			
	チロリ科	ヒガタチロリ	<i>Glycera macrotis</i>						●				●
	チロリ科	チロリ	<i>Glycera nishikawae</i>						●				●
	チロリ科	<i>Glycera</i> 属	<i>Glycera</i> sp. or spp.							●	●		●
	チロリ科	チロリ科	<i>Glyceridae</i>			●							
	ニギハチロリ科	チャメチロリ	<i>Glycide wreni</i>						●				
	サシバゴカイ科	ホシバサシバ	<i>Eteone</i> cf. <i>longa</i>										
	サシバゴカイ科	ササリサシバ	<i>Eulalia</i> cf. <i>viridis</i>										
	サシバゴカイ科	<i>Eteone</i> 属の一種	<i>Eteone</i> sp.										
	サシバゴカイ科	アケノサシバ	<i>Nereiphylla castanea</i>						●				
	サシバゴカイ科	<i>Phyllodoce</i> 属の一種	<i>Phyllodoce</i> sp.						●				
	サシバゴカイ科	サシバゴカイ科の一種	<i>Phyllodoce</i> gen. sp.			●							
	イソム科	イソム科の一種	<i>Eteone</i> sp.										
	イソム科	イソム科の一種A	<i>Merphysa</i> sp. A						●				
	イソム科	イソム科の一種E	<i>Merphysa</i> sp. E						●				●
	イソム科	イソム科の一種	<i>Merphysa</i> spp. cf. <i>inermis</i>							●			
	ナナキイソム科	スコカイイソム	<i>Dipodops snyderi</i>						●	●			●
	ナナキイソム科	エノシマイイソム	<i>Kibergomphus enoshimensis</i>										●
	ギボシイソム科	コシギボシイソム	<i>Scoloplosus nipponica</i>										●
	コイソム科	ルドルフイソム	<i>Schistomeringos</i> cf. <i>rudolphi</i>										
	コイソム科	ナミウチコイソム	<i>Chironotrocha urbis</i>										
	ミズヒメゴカイ科	ミズヒメゴカイ科の一種	<i>Glycidia</i> sp. or spp.						●	●	●		●
	ミズヒメゴカイ科	<i>Dodeaceria</i> 属の一種	<i>Dodeaceria</i> sp.										
	カンザシゴカイ科	カニヤドリカンザシ	<i>Ficopomatia enigmatica</i>						●				
	カンザシゴカイ科	エノカサネカンザシ	<i>Hydrobia enzensis</i>								●		
	カンザシゴカイ科	ナデシコカンザシ	<i>Hydrobia cf. dianthus</i>								●		
	カンザシゴカイ科	ヤッコカンザシ	<i>Spirorbanchus akitaensis</i>						●				
	カンザシゴカイ科	ウスマキゴカイ属科の一種	<i>Spirorbanchus</i> gen. sp.										●
	カンザシゴカイ科	カンザシゴカイ科の一種	<i>Spirorbanchus</i> gen. sp.					●		●			
	ケヤリムシ科	コウケヤリ	<i>Onchidium</i> cf. <i>buliforme</i>										
	ケヤリムシ科	アマクサケヤリムシ?	<i>Paradialychone cinerea?</i>										
	ケヤリムシ科	ウメテケヤリムシ	<i>Paradialychone edmonae</i>										
	ケヤリムシ科	<i>Parasabella</i> 属の一種	<i>Parasabella</i> sp.										
	ケヤリムシ科	ニッポンケヤリムシ	<i>Sabellaster japonica</i>										
	ケヤリムシ科	ケヤリムシ科の一種	<i>Sabellidae</i> gen. sp.										

			報告地名	東西海浜公園 江戸川区	東西海浜公園 東なぎさ 江戸川区	東西海浜公園 江戸川区	東西海浜公園野 島園 江戸川区	増川ならびに 湊安市沿岸 湊安市	三善湖環境観察 館周辺 湊安市	三善湖 ふなばし三善湖 海浜公園 船橋市	新浜湖 市川市	高東岸水跡群 (市原市・木更津 市・船ヶ山市・津 浦市・富津市)	小幡川 河口干潟 木更津市
	科	和名	学名										
多毛類(ゴカイ類) 続き	スピオ科	ケンサキスピオ	<i>Aoni des oxycephala</i>										
	スピオ科	シノブハナエラスピオ	<i>Parapri anospi o patiens</i>										
	スピオ科	ヤマトスピオ	<i>Pri anospi o japoni ca</i>										●
	スピオ科	イトエラスピオ	<i>Pri anospi o pul chra</i>										●
	スピオ科	ヒダスピオ	<i>Rhynchosp i o gl utaea compl ex</i>										●
	スピオ科	シタダスピオ	<i>Scol el epi s (Scol el epi s) lingu la ta</i>										●
	スピオ科	マドカスピオ	<i>Spi o pi gment a ta</i>										●
	スピオ科	ホリエリタテスピオ	<i>Strebl ospi o japoni ca</i>								●		
	スピオ科	ヒガタスピオ	<i>Pol ydora cornu ta</i>								●		
	スピオ科	<i>Pol ydora neoceae</i>	<i>Pol ydora neoceae</i>										
	スピオ科	<i>Pol ydora websteri</i>	<i>Pol ydora websteri</i>										
	スピオ科	<i>Pol ydora</i> 属	<i>Pol ydora</i> sp. or spp.										
	スピオ科	ドロオニスピオ	<i>Pseudopol ydora cf. kemp i</i>										●
	スピオ科	アミオニスピオ	<i>Pseudopol ydora bassargi nensi s</i>								●		●
	スピオ科	コオニスピオ	<i>Pseudopol ydora pauci branchi a ta</i>								●		●
	スピオ科	スピオ科	<i>Spi oni dae</i> gen. sp.			●			●				●
	オフリーアゴカイ科	ツツオフリーア	<i>Arandi a cf. amakusensi s</i>	●					●	●			●
	イトゴカイ科	イトゴカイ	<i>Capit el a cf. tel eta</i>										
	イトゴカイ科	<i>Heteromastus</i> 属の一種	<i>Heteromastus</i> sp.	●	●	●					●		●
	イトゴカイ科	<i>Medi omastus</i> 属の一種	<i>Medi omastus</i> sp.										
	イトゴカイ科	<i>Notomastus</i> 属の一種	<i>Notomastus</i> sp.						●				
	イトゴカイ科	イトゴカイ科	<i>Capit el li dae</i>							●			
	タマシキゴカイ科	イソタマシキゴカイ	<i>Abareni col a paci fi ca</i>										
	タマシキゴカイ科	タマシキゴカイ	<i>Areni col a brazi li ensi s</i>					●	●	●			●
	タケツツゴカイ科	タケツツゴカイ科	<i>Mil dani dae</i>										
	フサゴカイ科	ガンゼキフサゴカイの一種	<i>Lani ce</i> sp.										
	フサゴカイ科(広義)	フサゴカイ科(広義)	<i>Terebel li dae (sensu lato)</i>										
	ウミイサゴムシ科	ウミイサゴムシ	<i>Lagi s booki</i>						●				
	ヒスミズシ科	イトヒスミズシ科の一種	<i>Tubi fi ci nae</i> gen. sp.										●
	フナヒズシ科	イナヒズシ	<i>Pontodi li us littoral i s</i>										●
コケムシ・ホウキムシ類 8種群	ハレンシア科	ヒメズコケムシ	<i>Barentsi a cf. gracili s</i>										
	フサコケムシ科	ナギサコケムシ近縁種	<i>Bugli na stoloni fera</i>										
	フサコケムシ科	フサコケムシの一種	<i>Bugli na</i> sp.					●	●				
	モンダツコケムシ科	モンダツコケムシの一種	<i>Oryctosul a</i> sp.										
	アミメコケムシ科	ヒラハコケムシの一種	<i>Membranipora</i> sp.										
	-	外紅動物門	Bryozoa					●	●				
	ホウキムシ科	ヒメホウキムシ	<i>Phoroni s iijimi</i>					●	●				
	ホウキムシ科	イサゴホウキムシ?	<i>Phoroni s psammophi a?</i>										
節足動物(ワミグモ類-甲殻類) 144種群	イソウミグモ科	シマウミグモ	<i>Amechea hi gendorfi</i>					●	●				
	イソウミグモ科	イソウミグモ科	<i>Amechei dae</i>										
	トウクリワミグモ科	カイヤドリワミグモ	<i>Nephroni a tapeti s</i>					●	●				●
	-	ウミホタル亜綱の一種	<i>Medosopi da</i> fam. gen. sp.										
	モンストリヲ科	<i>Monstrillopsis</i> 属の一種	<i>Monstrillopsis</i> sp.										
	ウオジラミ科	トウヨウウオジラミ	<i>Cal i gus orientali s</i>							●			
	ウオジラミ科	クロダイウオジラミ	<i>Cal i gus lati geni tali s</i>										
	ウオジラミ科	ウキウオジラミ	<i>Cal i gus undul atus</i>										
	ウオジラミ科	ウオジラミの一種	<i>Cal i gus</i> sp.					●	●				
	ミョウガガイ科	カメノテ	<i>Capit ul um mi tell a</i>					●	●				
	イワフジツボ科	イワフジツボ	<i>Othamul us chal i engeri</i>					●	●				●
	フジツボ科	シロスジフジツボ	<i>Fi stul obal anus al bi costat us</i>		●			●	●		●		●
	フジツボ科	タシジマフジツボ	<i>Angi bal anus angul tri te</i>		●			●	●		●		●
	フジツボ科	アメリカフジツボ	<i>Angi bal anus eburneus</i>					●	●		●		
	フジツボ科	ヨーロッパフジツボ	<i>Angi bal anus improvi sus</i>					●	●		●		●
	フジツボ科	フジツボ科の一種	<i>Bal ani dae</i> gen. sp.										
	クロフジツボ科	クロフジツボ	<i>Tetracl ita japoni ca</i>						●				
	フクロムシ科	アサジャコフクロムシ	<i>Saccul i na upogebi ae</i>					●		●			
	シャコ科	シャコ	<i>Oratosquil la oratori a</i>								●		
	コノハエビ科	コノハエビ	<i>Nebal i a cf. japonensi s</i>										
	アミ科	ニホンイサザアミ	<i>Neomys i s japoni ca</i>						●	●			
	アミ科	イサザアミ	<i>Neomys i s awatschensi s</i>						●				●
	アミ科	<i>Neomys i s</i> 属	<i>Neomys i s</i> sp. or spp.					●			●		
	テングヨコエビ科	テングヨコエビ属の一種	<i>Pleustes</i> sp.						●				
	タテゾエビ科	<i>Stenothoe</i> 属の一種	<i>Stenothoe</i> sp.										
	ツルビガノエビ科	<i>Eohaustori us</i> 属の一種	<i>Eohaustori us</i> sp.										●
	タカサノエビ科	ナカイイワノエビ?	<i>Ochomani a littoral i s?</i>										
	ナミハノエビ科	ウスガサミノノエビ	<i>Hauatori a des furati a</i>										●
	モクズヨコエビ科	<i>Apolyal e</i> 属の一種	<i>Apolyal e</i> sp.						●				
	モクズヨコエビ科	フサダモクズ	<i>Pil otyal e barbi corni s</i>										●
	モクズヨコエビ科	モクズヨコエビ科の一種	<i>Hyal i dae</i> sp.					●					
	ハマドビムシ科	ミナモリハマドビムシ	<i>Pyatakovesti a iwasa i</i>										●
	ハマドビムシ科	ニホンシナハマドビムシ	<i>Si norchesti a ni pponensi s</i>										
	ハマドビムシ科	タイヘイヨシメハマドビムシ	<i>Pl atorchesti a paci fi ca</i>								●		●
	ハマドビムシ科	ヒメハマドビムシ種群	<i>Pl atorchesti i nae</i>		●					●			
	ユンボノエビ科	ブラブラノエビ	<i>Aori des curvi pes</i>										
	ユンボノエビ科	ニホンドロノエビ	<i>Grandi di eref i a japoni ca</i>			●			●		●		●
	ユンボノエビ科	ヒメドロノエビ	<i>Paragrandi di eref i a mi ni me</i>										●
	ドロクダムシ科	アリアケドロクダムシ	<i>Menocorophi um acherusi cum</i>								●		
	ドロクダムシ科	トンガリドロクダムシ	<i>Menocorophi um i nai di osum</i>										
	ドロクダムシ科	ウエノドロクダムシ	<i>Menocorophi um unnoi</i>										
	ドロクダムシ科	ニホンドロクダムシ	<i>Si nocorophi um japoni cum</i>										●
	ドロクダムシ科	タイリクドロクダムシ?	<i>Si nocorophi um si nensi s?</i>										
	ドロクダムシ科	ドロクダムシ亜科	<i>Corophi i nae</i> gen. sp.						●	●			
	ヒゲナガヨコエビ科	モズミヨコエビ	<i>Angi tho e val i da</i>					●	●				●

			報告地名	東西海浜公園 江戸川区	東西海浜公園 葛飾区 江戸川区	東西海浜公園 江戸川区	東西海浜公園 江戸川区	境川ならびに 浦安市山崎 浦安市	三香瀬環境観察 館周辺 浦安市	ふなばし三香瀬 海浜公園 船橋市	新浜湖 市川市	高家原水跡群 (市原市・木更津 市・袖ヶ浦市・君 津市・富津市)	小堀川 河口平潟 木更津市
	科	和名	学名										
節足動物(ウミガメ類・甲殻類) 続き	ウレカ科	ウレカワレカラ	<i>Caprella equilibrata</i>										●
	ウレカ科	ウレカ	<i>Caprella kroeyeri</i>										●
	ウレカ科	マルエラウレカラ	<i>Caprella penanti</i>					●					●
	ウレカ科	トゲウレカラ	<i>Caprella scaura</i>					●		●			●
	ウレカ科	ウレカ 属	<i>Caprella</i> sp. or spp.					●	●				●
	メリタコエビ科	メリタコエビ	<i>Abitta rufipes</i>					●	●				●
	メリタコエビ科	ヒザメメリタコエビ	<i>Abitta setiflagella</i>								●		●
	メリタコエビ科	シメズメリタコエビ	<i>Abitta shimizu</i>										●
	メリタコエビ科	メリタ 属の一種	<i>Abitta</i> sp.										●
	キタコエビ科	ボシエットグオコエビ	<i>Engammerus pascueticus</i>										●
	-	"ヨコエビ"類	"Gamberidea"							●	●		●
	ウミミズムシ科	ウミミズムシ 属の一種	<i>Iais</i> sp.								●		●
	スナウミナナフシ科	ムロミナナフシ	<i>Qaethura muronensis</i>		●	●							●
	スナホムシ科	スナホムシ科の複数種	<i>Orolaniidae</i> gen. spp.						●				●
	ウオノエ科	ウオノエ	<i>Anilocra clupei</i>	●		●		●					●
	エビヤドリムシ科	スナモグリヤドリムシ	<i>Ione cornuta</i>						●				●
	ヘラムシ科	ハナビラヘラムシ	<i>Synidotea tozoni</i>										●
	ヘラムシ科	ヘラムシ科の一種	<i>Idotea</i> gen. sp.	●		●							●
	フナムシ科	フナムシ	<i>Ligia cinerascens</i>		●		●	●	●	●	●		●
	フナムシ科	フナムシ	<i>Ligia exotica</i>						●				●
	コツブムシ科	ヨシコツブムシ	<i>Sphaeroma retrolaevis</i>								●		●
	コツブムシ科	ナナフシコツブムシ	<i>Sphaeroma subditi</i>								●		●
	コツブムシ科	コツブムシ 属	<i>Chorismesphaeroma</i> sp. or spp.		●				●	●	●		●
	タナイス科	タナイス	<i>Sinellus kii</i>										●
	クマコ科	ミツオビクマコ	<i>Dasyatis trilineata</i>						●				●
	-	クマコ目	Quemona										●
	クルマエビ科	クルマエビ	<i>Penaeus japonicus</i>						●	●			●
	クルマエビ科	クルマエビ	<i>Penaeus monodon</i>						●				●
	サクラエビ科	サクラエビ	<i>Acetes japonicus</i>	●			●				●		●
	テッポウエビ科	テッポウエビ	<i>Alpheus brevirostratus</i>	●		●					●		●
	テッポウエビ科	ニセオニテッポウエビ	<i>Alpheus rapax</i>						●				●
	テッポウエビ科	イソテッポウエビもしくは近縁種	<i>Alpheus aff. labidus</i>		●				●				●
	テッポウエビ科	オニテッポウエビ	<i>Alpheus</i> sp. 1			●	●						●
	テッポウエビ科	セジロムテッポウエビ	<i>Athanas japonicus</i>							●			●
	テッポウエビ科	クボミテッポウエビ	<i>Stenolpheus anacanthus</i>							●			●
	ヒメヤシロエビ科	ヒメヤシロエビ	<i>Heterosquilla japonica</i>							●			●
	エビヤシロ科	ウツエビヤシロ	<i>Orangon urizai</i>	●	●	●		●	●	●	●		●
	エビヤシロ科	カシオエビヤシロ	<i>Orangon cassis</i>										●
	エビヤシロ科	エビヤシロ 属	<i>Orangon</i> sp. or spp.										●
	テナガエビ科	テナガエビ	<i>Macrobrachium nipponense</i>				●				●		●
	テナガエビ科	ユビナガエビ	<i>Palaeomonetes macrodactylus</i>	●	●	●		●	●		●		●
	テナガエビ科	イソナガエビ	<i>Palaeomonetes pacificus</i>					●	●				●
	テナガエビ科	スズメエビ	<i>Palaeomonetes serrifer</i>					●	●				●
	テナガエビ科	チュウコウスズメエビ	<i>Palaeomonetes sinensis</i>								●		●
	テナガエビ科	シラエビ	<i>Exopalaemon orientalis</i>	●		●	●	●			●		●
	アサギエビ科	アサギエビ	<i>Procambarus clarkii</i>				●				●		●
	スナモグリ科	スナモグリ	<i>Neotrypaea japonica</i>	●	●	●			●		●		●
	スナモグリ科	スナモグリ	<i>Neotrypaea karami</i>										●
	ハヤシヤコエビ科	ハヤシヤコエビ	<i>Laomedi aestivalis</i>								●		●
	アナジャコ科	アナジャコ	<i>Upogebi a major</i>	●		●		●	●				●
	ヤドカリ科	コブコブヤドカリ	<i>Oribanetia infraspiciatus</i>					●	●				●
	ヤドカリ科	テナガツノヤドカリ	<i>Digenes nitidus</i>					●	●		●		●
	ヤドカリ科	ツバメヤドカリ	<i>Paguristes ortmanni</i>										●
	ホンヤドカリ科	クサヤドカリ	<i>Pagurus lamellosus</i>										●
	ホンヤドカリ科	ユビナガホンヤドカリ	<i>Pagurus minutus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●		●
	ホンヤドカリ科	ヨモギホンヤドカリ	<i>Pagurus nigrofasciatus</i>					●	●				●
	カニダマシ科	カニダマシ	<i>Palaemon serrifer</i>						●				●
	ケンセンゴコ科	ケンセンゴコ	<i>Mysis</i>						●				●
	イサナエビ科	イサナエビ	<i>Gobiosoma</i>										●
	スベスベウナギ科	スベスベウナギ	<i>Sphaeropsis nitida</i>						●				●
	コブシエビ科	コブシエビ	<i>Phylla kanehoi</i>										●
	コブシエビ科	マメコブシエビ	<i>Pyrrilla pum</i>	●	●	●		●	●	●	●	●	●
	モガニ科	ニッポンモガニ	<i>Pugettia nipponensis</i>							●			●
	イッカクモガニ科	イッカクモガニ	<i>Pyromela tuberculata</i>					●	●	●			●
	ミドリガニ科	ミドリガニ	<i>Carolinus aestuarii</i>								●		●
	ガザミ科	トゲノミ	<i>Squilla paramesina</i>										●
	ガザミ科	ノミガザミ	<i>Squilla</i> sp.										●
	ガザミ科	タイワンガザミ	<i>Portunus pelagicus</i>	●		●		●	●	●	●		●
	ガザミ科	ガザミ	<i>Portunus trituberculatus</i>	●				●	●				●
	ガザミ科	イソガニ	<i>Charybdis (Charybdis) japonica</i>					●	●		●		●
	オウギガニ科	オウギガニ	<i>Leptodius affinis</i>						●	●			●
	オウギガニ科	シロオウギガニ	<i>Macromedusa distinquenda</i>					●					●
	ミナトオウギガニ科	ミナトオウギガニ	<i>Acantholobus pacificus</i>										●
	イワガニ科	イワガニ	<i>Pachygrapsus crassipes</i>						●				●
	ベンケイガニ科	ベンケイガニ	<i>Chiromantes haematocheilus</i>		●		●				●		●
	ベンケイガニ科	ウミベンケイガニ	<i>Olisthodon sinense</i>								●		●
	ベンケイガニ科	クロベンケイガニ	<i>Olisthodon dehaani</i>		●		●		●		●		●
	ベンケイガニ科	ベンケイガニ	<i>Olisthodon intermedius</i>								●		●
	ベンケイガニ科	クサガニ	<i>Parasarcophaga affinis</i>										●
	ベンケイガニ科	フタノコガニ	<i>Parasarcophaga bicolor</i>										●
	ベンケイガニ科	カベベンケイガニ	<i>Parasarcophaga picta</i>		●				●		●		●
	モウズガニ科	モウズガニ	<i>Gastrea depressa</i>						●				●
	モウズガニ科	クサガニ	<i>Gastrea</i> sp.						●				●
	モウズガニ科	ヒメミナガニ	<i>Helicoma japonica</i>										●
	モウズガニ科	アサハガニ	<i>Helicoma tridens</i>		●		●			●	●	●	●
	モウズガニ科	モウズガニ	<i>Eriocheir japonica</i>			●	●		●		●		●
	モウズガニ科	スナガニ	<i>Hemigrapsus longitarsis</i>					●					●
	モウズガニ科	クサガニ	<i>Hemigrapsus penicillatus</i>					●					●
	モウズガニ科	イソガニ	<i>Hemigrapsus sanguineus</i>					●	●				●
	モウズガニ科	クサガニ	<i>Hemigrapsus takanoi</i>		●	●	●	●	●	●	●	●	●

			報告地名	葛西海浜公園 江戸川区	葛西海浜公園 東なぎさ 江戸川区	葛西海浜公園 江戸川区	葛西海浜公園野 鳥園 江戸川区	境川ならびに 浦安市沿岸 浦安市	三香湖環境観察 池田町 浦安市	三香湖 ふなばし三香湖 海浜公園 船橋市	新浜湖 市川市	流架岸水路群 (市川市・本芝津 市・袖ヶ浦市・君 津市・流架岸市)	小堀川 河口千瀬 水芝津市
	科	和名	学名										
節足動物(ワニガモ類・甲殻類) 続き	ムツハリアケガニ科	アリアケマドキ	<i>Deiratanotus cristatus</i>										
	コメダキガニ科	チゴニ	<i>Lyophas pusilla</i>		●		●			●	●	●	●
	コメダキガニ科	コメダキガニ	<i>Sopimera gibbosa</i>		●			●		●	●	●	●
	オサガニ科	オサガニ	<i>Microphthalma abbreviatus</i>		●	●				●			●
	オサガニ科	ヤマトオサガニ	<i>Microphthalma japonicus</i>	●	●		●	●			●	●	●
	スナガニ科	スナガニ	<i>Oxyopoda stipsoni</i>										●
	カクレガニ科	ハシズマダガニ	<i>Pinnixa banzu</i>										
	カクレガニ科	ラスハシマダガニ近縁種	<i>Pinnixa aff. rathbuni</i>										
	カクレガニ科	オオシロビシ	<i>Arcotheres sinensis</i>							●			
ギボシムシ類 2種群	ギボシムシ科	ミサキギボシムシ	<i>Belanoglossus misakiensis</i>										●
	ギボシムシ科	Gossobalanus 属の一種	<i>Gossobalanus</i> sp.										●
ヒトデ・ウニ・ナマコ類 13種群	モミジガイ科	トグモミジガイ	<i>Attropecten polyanthus</i>										
	モミジガイ科	モミジガイ	<i>Attropecten scoparius</i>										
	イトマキヒトデ科	イトマキヒトデ	<i>Patiria pectinifera</i>						●				
	トウカモヒトデ科	クシノハクモヒトデ	<i>Ophiuraglypha kinbergi</i>						●				
	チビクモヒトデ科	チビクモヒトデ	<i>Ophiactis savignyi</i>										
	チビクモヒトデ科	チビクモヒトデ科の一種	<i>Ophiactis</i> gen. sp.						●				
	トグクモヒトデ科	ナガトグクモヒトデ	<i>Ophiotrix exigua</i>										
	トグクモヒトデ科	トグクモヒトデ	<i>Ophiotrix panchyendyta</i>										
	サンショウウニ科	サンショウウニ	<i>Tamoplatus torumeticus</i>										
	ナガウニ科	ムラサキウニ	<i>Helicodonta crassispina</i>										
	シカクナマコ科	アカナマコ	<i>Apostichopus cf. roseus</i>										
	シカクナマコ科	マナマコ	<i>Apostichopus japonicus</i>										
	イカリナマコ科	ヒモイカリナマコ	<i>Patinapta opalax</i>										
ホヤ類 9種群	マンジュウホヤ科	マンジュウホヤ	<i>Aulidium pliciferum</i>						●				
	ユウレイホヤ科	カサユウレイホヤ	<i>Oona robusta</i>										
	ユウレイホヤ科	ユウレイホヤ	<i>Oona savignyi</i>										
	ユウレイホヤ科	Oona 属	<i>Oona</i> sp. or spp.						●				
	ナツメホヤ科	ザラホヤ	<i>Ancidia zara</i>										
	ナツメホヤ科	ナツメホヤの一種	<i>Ancidia</i> sp.										
	シロホヤ科	シロホヤ	<i>Styela plicata</i>					●	●	●			
	シロホヤ科	エホヤ	<i>Styela clava</i>										
	フクロホヤ科	マンリッタンホヤ	<i>Molgula mnhattensis</i>					●			●		
魚類 128種群	アカエイ科	アカエイ	<i>Hemitrygon akajei</i>	●				●	●	●	●		●
	ツバクロエイ科	ツバクロエイ	<i>Gymura japonica</i>	●					●	●	●		●
	ウナギ科	ニホンウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	●	●	●			●	●	●		●
	アナゴ科	マアナゴ	<i>Gonger myriaster</i>	●									●
	ニシン科	コシロ	<i>Konosirus punctatus</i>	●				●					●
	ニシン科	サッパ	<i>Sardinella zunasi</i>	●	●			●	●	●	●		●
	カサチウワシ科	カサチウワシ	<i>Engraulis japonica</i>	●	●				●	●	●		●
	カマツカ科	ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	●									
	カマツカ科	モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>			●					●		
	ウグイ科	マルタ	<i>Pseudaspius brandtii maruta</i>	●	●	●					●		
	ドジョウ科	ドジョウ	<i>Mugilur anguillicaudatus</i>								●		
	ゴンズイ科	ゴンズイ	<i>Plecotus japonicus</i>										
	アユ科	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>								●		
	ヨウジウオ科	ガンテンシンヨウジ	<i>Hoplunnthys penicillatus</i>					●		●			
	ヨウジウオ科	サンゴタツ	<i>Hippocampus mohnkei</i>						●				●
	ヨウジウオ科	ヨウジウオ	<i>Syngnathus schlegelii</i>										●
	ヨウジウオ科	オウゴウジ	<i>Urocampus natus</i>							●			●
	ボラ科	オニボラ?	<i>Elichthys vai gamsis</i>										
	ボラ科	ボラ	<i>Mugil cf. cephalus</i>	●		●	●	●	●	●	●		●
	ボラ科	メナダ	<i>Panilia haematocheilus</i>						●	●	●		
	トウゴロウイワシ科	トウゴロウイワシ	<i>Dobsonia bleekeri</i>								●		
	カダヤシ科	カダヤシ	<i>Gambusia affinis</i>			●					●		
	サヨリ科	サヨリ	<i>Hyporhamphus sajori</i>					●			●		
	サヨリ科	サヨリ属の一種	<i>Hyporhamphus</i> sp.							●	●		
	トビウオ科	ニンジトビウオ	<i>Hirundinichthys speculiger</i>							●			
	ダツ科	ダツ科の一種	<i>Belontiidae</i> gen. sp.					●					
	メバル科	シロメバル	<i>Sebastes cheni</i>					●					
	メバル科	ムラシ	<i>Sebastes pachycephalus</i>										
	メバル科	メバル属の一種	<i>Sebastes</i> sp.					●	●	●	●		
	メバル科	カサゴ	<i>Sebastes nemurus</i>										
	オニオコゼ科	オニオコゼ	<i>Iriomus japonicus</i>										
	コチ科	イネゴチ	<i>Ociella crocodilla</i>							●			
	コチ科	マゴチ	<i>Platycephalus</i> sp. 2	●		●		●	●	●	●		●
	アイナメ科	クジメ	<i>Hexagrammos agrammus</i>					●	●				
	アイナメ科	アイナメ	<i>Hexagrammos otakii</i>					●					
	カジカ科	アサヒアサハゼ	<i>Pseudobrama cottioides</i>										
	スズキ科	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●		●
	テンジクダイ科	クロシモチ	<i>Apogonichthys doederleinii</i>										
	テンジクダイ科	オオスジシモチ	<i>Ostorhynchus doederleinii</i>										
	テンジクダイ科	ネンブツダイ	<i>Ostorhynchus semilineatus</i>										
	アジ科	ギンガメアジ	<i>Oreoxiphus fasciatus</i>								●		
	アジ科	ブリ	<i>Seriola quinqueradiata</i>					●					
	ヒイラギ科	ヒイラギ	<i>Notothenia nuchalis</i>	●					●		●		●
	マツダイ科	マツダイ	<i>Labotes surinamensis</i>		●					●			
	クロサギ科	クロサギ	<i>Gerrhonotus</i>	●				●		●	●		
	イサギ科	コロギ	<i>Dagranne pictum</i>										
	イサギ科	コシウダイ	<i>Pterorhynchus olivaceus</i>					●		●			

			報告地名	東西海浜公園 江戸川区	東西海浜公園 東なぎさ 江戸川区	東西海浜公園 江戸川区	東西海浜公園野 鳥園 江戸川区	増川ならびに 湊安市沿岸 湊安市	三善湖環境観察 館周辺 湊安市	三善湖 ふなばし三善湖 海浜公園 船橋市	新浜湖 市川市	両草岸水路群 (市原市・木更津 市・船ヶ浜市・新 習志・富津市)	小幡川 河口干潟 木更津市
	科	和名	学名										
魚類続き	タイ科	キナス	<i>Acanthopagrus latus</i>						●	●	●		
	タイ科	クロダイ	<i>Acanthopagrus schlegelii</i>	●		●		●	●	●			
	タイ科	マダイ	<i>Pagrus major</i>										
	タイ科	ヘダイ	<i>Rhabdosargus sarba</i>										
	ツエフキダイ科	ツエフキダイ属の一種	<i>Lethrinus</i> sp.										
	ニベ科	ニベ	<i>Nibea mitsukurii</i>	●									
	ニベ科	シログチ	<i>Pennahia argentata</i>		●						●		
	キス科	シロギス	<i>Sillago japonica</i>							●			●
	ヒメジ科	オオスジヒメジ	<i>Parupeneus barberinus</i>										
	ヒメジ科	ヒメジ	<i>Upeneus japonicus</i>										
	チョウチョウウオ科	セグロチョウチョウウオ	<i>Chaetodon ephippium</i>										
	チョウチョウウオ科	アケボ/チョウチョウウオ	<i>Chaetodon melanotus</i>							●			
	ウミタナゴ科	マタナゴ	<i>Ditrema temminckii pacificum</i>										
	スズメダイ科	オヤビツチャ	<i>Abudefduf vaigiensis</i>					●					
	シマイサナギ科	シマイサナギ	<i>Rhynopelates oxyrinchus</i>	●			●	●		●	●		●
	シマイサナギ科	コヒキ	<i>Terapon jarbua</i>	●				●	●				
	インダイ科	インダイ	<i>Qlagnathus fasciatus</i>							●			
	インダイ科	インダイキダイ	<i>Qlagnathus punctatus</i>							●			
	メジナ科	メジナ	<i>Girella punctata</i>					●					
	ベラ科	ホンベラ	<i>Halichoeres tenuispinis</i>										
	ベラ科	キュウセン	<i>Parajulis poeciloptera</i>										
	ベラ科	ホシササノハベラ	<i>Pseudolabrus siobolii</i>										
	ベラ科	コブダイ	<i>Semioscyphus reticulatus</i>										
	ベラ科	カビナリベラ	<i>Stethojulis interrupta terima</i>										
	タウエギシ科	ダイナンギンボ	<i>Dityosoma temminckii</i>					●					
	ニシキギンボ科	ギンボ	<i>Pholis nebulosa</i>					●	●	●			
	コケギンボ科	コケギンボ	<i>Neolisus bryope</i>						●				
	イノギンボ科	ナベカ	<i>Oreobanchus elegans</i>					●	●				
	イノギンボ科	トスカギンボ	<i>Oreobanchus fasciolatocephalus</i>					●			●		
	イノギンボ科	イダチギンボ	<i>Oreobanchus punctatus</i>	●		●		●	●	●	●		
	イノギンボ科	イノギンボ	<i>Parablennius yabai</i>					●		●			
	イノギンボ科	ニジギンボ	<i>Petroscirtus brevicapsus</i>					●		●			
	ネズミ科	ハタタチヌメ	<i>Ogilbyornis valenciennesi</i>										
	ハゼ科	スジハゼ	<i>Acanthogobius virgatus</i>										
	ハゼ科	ツマグロスジハゼ	<i>Acanthogobius</i> sp. 2	●	●			●	●		●		
	ハゼ科	ヒメハゼ	<i>Favonigobius gymnauchen</i>				●	●	●	●			●
	ハゼ科	ウロハゼ	<i>Glossogobius olivaceus</i>				●				●		
	ハゼ科	マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>	●	●		●	●	●	●	●		●
	ハゼ科	アシシロハゼ	<i>Acanthogobius taenioides</i>	●	●		●	●	●	●	●		
	ハゼ科	アゴハゼ	<i>Oreogobius annularis</i>					●	●				
	ハゼ科	ドモ	<i>Oreogobius gulosus</i>										
	ハゼ科	ヒモハゼ	<i>Eutemichthys gilii</i>							●			●
	ハゼ科	ビリンゴ	<i>Gymnogobius breunigii</i>	●			●			●	●		
	ハゼ科	ニクハゼ	<i>Gymnogobius heptacanthus</i>	●						●	●		
	ハゼ科	エドハゼ	<i>Gymnogobius neogagathos</i>	●			●			●	●		●
	ハゼ科	チクセンハゼ	<i>Gymnogobius uchiwai</i>							●			●
	ハゼ科	ウキゴリ	<i>Gymnogobius urtanae</i>				●				●		
	ハゼ科	<i>Gymnogobius</i> 属の一種	<i>Gymnogobius</i> sp.								●		
	ハゼ科	イソミズハゼ	<i>Luciogobius mertensii</i>					●	●	●			
	ハゼ科	ミズハゼ属の一種	<i>Luciogobius</i> sp.						●				
	ハゼ科	アベハゼ	<i>Mugilogobius abei</i>				●				●		
	ハゼ科	トビハゼ	<i>Periopthalmus modestus</i>	●			●				●		
	ハゼ科	マサゴハゼ	<i>Pseudogobius masago</i>				●				●		●
	ハゼ科	キスリ	<i>Pterogobius elapoides</i>										
	ハゼ科	ヒナハゼ	<i>Redigobius biokanus</i>										
	ハゼ科	アカボシシマハゼ	<i>Tridentiger trigonocephalus</i>					●	●				
	ハゼ科	シモアジシマハゼ	<i>Tridentiger bifasciatus</i>	●	●	●	●	●	●	●	●		
	ハゼ科	スマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>						●	●			
	ハゼ科	チチブ	<i>Tridentiger obscurus</i>			●	●	●	●	●	●		
	ハゼ科(広義)	ハゼ科(広義)	<i>Gobiidae (sensu lato)</i>										
	クロミリハゼ科	サツキハゼ	<i>Periglossus dotui</i>										
	アイゴ科	アイゴ	<i>Siganus fuscus</i>					●	●	●			
	タチウオ科	タチウオ	<i>Trichiurus japonicus</i>					●					
	ヒラメ科	ヒラメ	<i>Paralichthys olivaceus</i>										
	カレイ科	インカレイ	<i>Platichthys bilobatus</i>					●	●	●	●		
	カレイ科	マコガレイ	<i>Pseudopleuronectes yokohamae</i>					●	●	●	●		
	カレイ科	カレイ	<i>Pleuronectes</i> sp.										●
	ササウシノシタ科	ササウシノシタ	<i>Heteromycteris japonicus</i>										
	ウシノシタ科	クロウシノシタ	<i>Paraplagusia japonica</i>	●				●	●				
	ギマ科	ギマ	<i>Triacanthus biaculeatus</i>					●	●				●
	モンガラカワハギ科	アミモンガラ	<i>Gantherius maculatus</i>							●			
	ガワハギ科	アミハギ	<i>Rudarius ercodes</i>										
	ハコフグ科	コンゴウフグ	<i>Lactoria cornuta</i>										
	ハコフグ科	ハコフグ	<i>Ostracion immaculatum</i>										
	フグ科	クサフグ	<i>Taki fugu albimaculatus</i>	●	●			●		●	●		●
	フグ科	コモンフグ	<i>Taki fugu flavipectus</i>										
	フグ科	ヒガンフグ	<i>Taki fugu pardalis</i>							●			●
	フグ科	トラフグ	<i>Taki fugu rubripes</i>								●		
	フグ科	フグ	<i>Tetraodonidae</i>					●		●	●		
両生類 1 種群	スマガメ科	ミシシッピアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>										

			報告地名	葛西海浜公園 江戸川区	葛西海浜公園 東なぎさ 江戸川区	葛西海浜公園 江戸川区	葛西海浜公園 野島園 江戸川区	増川ならびに 浦安市沿岸 浦安市	三香湖環境観察 館周辺 浦安市	三香湖 ふなばし三香湖 海浜公園 船橋市	新浜湖 市川市	高草岸水路群 (市原市・木更津 市・船ヶ山市・船 津市・富津市)	小幡川 河口干潟 木更津市
	科	和名	学名										
海藻類 18種群	フジマツモ科	ショウジョウケソノ	<i>Polysiphonia senticulosa</i>					●		●			
	オゴノリ科	オゴノリ	<i>Gracilaria verticillata</i>					●	●	●	●		
	オゴノリ科	ベニオゴノリ	<i>Gracilaria rhodocaudata</i>										●
	イギス科	イギス科	<i>Oeramiaceae</i>							●			
	ダジヤ科	ダジヤ科の一種	<i>Dasyaceae gen. sp.</i>					●					
	テングサ科	テングサ科の一種	<i>Gelidium gen. sp.</i>					●					
	ウシケノリ科	スサビノリ	<i>Neopyropia yezoensis</i>					●	●	●			●
	カヤモノリ科	セイロウハハシリ	<i>Petalonia fasciata</i>							●			
	カヤモノリ科	カヤモノリ	<i>Scytosiphon lomentaria</i>							●			
	ホンダワラ科	スサビキモク	<i>Sargassum amplexifolium</i>					●					
	ホンダワラ科	アカモク	<i>Sargassum horneri</i>							●			
	シオミドロ科	シオミドロ	<i>Enteromorpha flexilis</i>							●			
	ウラボシ科	ウラボシ	<i>Ulva pinnatifida</i>										
	アオサ科	アサアサ	<i>Ulva pertusa</i>					●		●			
	アオサ科	ボウアサノリ	<i>Ulva intestinalis</i>					●		●			●
	アオサ科	ウサ 属	<i>Ulva sp. or spp.</i>					●	●				●
	ミル科	ミル属の一種	<i>Oedogonium sp.</i>					●	●				
	ハネモ科	ハネモ	<i>Bryopsis plumosa</i>							●			●
アマモ類 2種	アマモ科	アマモ	<i>Zostera marina</i>							●			●
	アマモ科	コアマモ	<i>Zostera japonica</i>										●
総種群数 610			報告者名	木村成美	高木嘉雄	吉田地一	大原庄史 吉田地一	浦川賢二	海上智央	小澤康弥	野長瀬雅規 多留聖典	柚原 剛 野村英明	尾島智仁 尾島裕子 多留聖典 風谷田利夫
			団体名	葛西海浜公園 パートナーズ	江戸川区 こども未来館	NPO法人生態教育 センター	NPO法人生態教育 センター	浦安水辺の会・浦 安三香湖を大切に する会	浦安市三香湖環 境観察館	ふなばし三香湖環 境学習館	NPO法人自然 ほごくらふ・東京湾 水中生物 研究会	東京湾両生類長 瀬橋フナウラム 生き物生息場 プロジェクト	東京湾水中生物 研究会

（３）レッドリスト等への掲載状況

また、事務局において、確認された生物種について、環境省レッドリスト 2020（令和 2 年 3 月）及び環境省版海洋生物レッドリスト（平成 29 年 3 月）への掲載の有無を調べたところ、絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）と評価される種が 2 種、絶滅危惧ⅠＢ類（EN）と評価される種が 3 種、絶滅危惧Ⅱ類（VU）と評価される種が 9 種、準絶滅危惧（NT）と評価される種が 30 種含まれていることが確認できました。また、生態系被害防止外来種リスト（環境省及び農林水産省、2016）への掲載の有無について調べたところ、特定外来生物は含まれていなかったものの、総合対策外来種が 16 種含まれていることがわかりました。

【レッドリストへの掲載状況】

絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN） 2 種

サキグロタマツメタ、オウギウロコガイ

絶滅危惧ⅠＢ類（EN） 3 種

ツバサゴカイ、バンズマメガニ、ニホンウナギ

絶滅危惧Ⅱ類（VU） 9 種

カワアイ、カハタレカワザンショウ、カミスジカイコガイダマシ、ヤミヨキセワタ、ヒメマスオ、ウモレベンケイガニ、エドハゼ、チクゼンハゼ、マサゴハゼ

準絶滅危惧（NT） 30 種

ツボミ、イボキサゴ、ウミニナ、フトヘナタリ、クリイロカワザンショウ、ヨシダカワザンショウ、エドガワミズゴマツボ、クレハガイ、ムシロガイ
ムラクモキジビキガイ、ウスコミミガイ、コケガラス、サビシラトリ、サクラガイ
ウズザクラ、ヤマトシジミ、オオノガイ、スジホシムシモドキ、イトメ、
アナジャコフクロムシ、クボミテッポウエビ、ヨモギホンヤドカリ、ベンケイガニ
クシテガニ、ヒメアシハラガニ、オサガニ、ミサキギボシムシ、ドジョウ、ヒモハゼ
トビハゼ

情報不足 5 種

ヒガタヨコイトカケギリ、ガタヅキ、テナガツノヤドカリ、カネコブシガニ、オニボラ

【生態系被害防止外来種リストへの掲載状況】

総合対策外来種 16 種

シマメノウフネガイ、ムラサキイガイ、ミドリイガイ、ホトトギス、ホンビノスガイ
シナハマグリ、タイワンシジミ、イガイダマシ、カニヤドリカンザシ、タテジマフジツボ
アメリカフジツボ、ヨーロッパフジツボ、アメリカザリガニ、チチュウカイミドリガニ
モツゴ、カダヤシ

※提供されたリストに掲載されている順に従って記載。

※環境省レッドリストと海洋生物レッドリストについては、評価カテゴリーは絶滅（EX）、野生絶滅（EW）、絶滅危惧ⅠA類（CR）、絶滅危惧ⅠB類（EN）、絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）、絶滅危惧Ⅱ類（VU）、準絶滅危惧（NT）、情報不足（DD）、絶滅のおそれのある地域個体群（LP）の8つに分けられる。絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）は、絶滅の危機に瀕している種、絶滅危惧ⅠB類は、ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの、絶滅危惧Ⅱ類（VU）は、絶滅の危険が増大している種、準絶滅危惧（NT）は、現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては『絶滅危惧』に移行する可能性のある種、情報不足（DD）は、評価するだけの情報が不足している種とされている。

※生態系被害防止外来種リストについては、定着を予防する外来種（定着予防外来種）、総合的に対策が必要な外来種（総合対策外来種）、適切な管理が必要な産業上重要な外来種（産業管理外来種）の大きく3つに分類される。

※絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）のサキグロタマツメタについては、海外外来個体群の侵入による二枚貝の食害の発生も報告されている。

10. 環境啓発活動等のイベント開催実績

東京湾の海域及び流域河川の水質改善等に関する普及啓発活動を含むイベントは、表 10-1 のとおり、13 件の環境啓発活動等のイベントが開催されました。
(募集時に対象期間とした 7 月～10 月外のものも含まれます。)

表 10-1 環境啓発活動の開催実績 (実施日順)

報告書 番号	開催場所	実施日	活動内容等	主催
1	荒川区	5 月 7 日	水辺・水上でのリスク 回避行動の講習会	川はともだち
2	旭化成株式会社 製造統括本部 川崎製造所	6 月 1 日～ 6 月 30 日	製造所環境月間の取り 組み	旭化成株式会社 製造統括本部川崎製造所 環境安全部
3	石神井川 (東伏見橋 から下野谷橋まで)	6 月 11 日、 10 月 1 日	石神井川の清掃	都立保谷高校
4	東亜合成株式会社 川崎工場	6 月 20 日	構内一斉清掃	東亜合成株式会社 川崎工場
5	株式会社日本触媒 川崎製造所	6 月 24 日	2022 年度環境大会	株式会社日本触媒 川崎製造所
6	富津市下州海岸	6 月 25 日	富津海岸清掃活動	日本製鉄株式会社 技術開発本部
7	葛西海浜公園 西なぎさ	7 月 9 日、 7 月 30 日、 8 月 20 日、 9 月 10 日	西なぎさ発：東京里海 エイド	DEXTE-K
8	お台場海浜公園	7 月 30 日～ 8 月 7 日	お台場プラージュ (海水浴) 2022	港区、お台場プラージュ地 域連携チーム
9	調布市多摩川自然情 報館	7 月 31 日 8 月 11 日	多摩川の魚観察会	調布市多摩川自然情報館
10	葛西海浜公園 西なぎさ	7 月 17 日～ 8 月 24 日	海水浴体験	NPO 法人ふるさと東京を 考える実行委員会
11	葛西海浜公園 西なぎさ	7 月 17 日～ 8 月 28 日の日 曜日と祝日 の 9 日間	里海まつり	NPO 法人ふるさと東京を 考える実行委員会
12	横浜港大さん橋ホー ルおよび周辺海上	10 月 15 日～ 10 月 16 日	東京湾大感謝祭 2022	東京湾大感謝祭実行委員会
13	習志野市茜浜海浜公 園周辺・親水護岸	11 月 20 日	習志野市護岸の清掃活 動とゴミの種類調査	習志野の海を守る会

イベントレポート 1

主催機関	イベント名
川はともだち	水辺・水上でのリスク回避行動の講習会

【イベント概要】

水辺・水上でのリスク回避行動の講習会。(RAC に講師依頼)

【開催時期、参加人数】

令和4年5月7日(土)

聴講者15名

【その他】

ボート進水会は、5月、8月、11月に企画し、諸準備を進めたが、コロナ禍で延期を余儀なくされ、来年春に開催予定。

イベントレポート 2

主催機関	イベント名
旭化成株式会社 製造統括本部 川崎製造 所 環境安全部	製造所環境月間の取り組み

【イベント概要】

環境月間に合わせて、製造所内で各種取り組みを実施した。

【開催時期】

令和 4 年 6 月 1 日（水）～ 6 月 3 0 日（木）

【場所】

旭化成㈱製造統括本部川崎製造所内の各部署

【主なイベント内容】

製造所内の各部署で下記 1 ～ 3 の活動を実施した。活動の結果は「活動整理表」にまとめ、環境安全部に提出した。

<活動内容>

1. 公害発生源施設及び公害防止施設の総点検
2. 従業員への環境研修及び啓発
(部場における環境関連設備等に関する教育・周知、トラブル時の対応訓練、等)
3. 施設内・周辺の美化及び環境保全対策
(排水溝の清掃、通路の清掃、施設内の除草、配水管の清掃)

イベントレポート 3

主催機関	イベント名
都立保谷高校 (協力) 西東京市環境保全課	石神井川の清掃

【イベント概要】

都立保谷高校の生徒が東伏見橋から下野谷橋まで川の中を歩きながらゴミ拾いをしました。

【開催時期】

令和4年6月11日(土)、10月1日(土)

【場所】

石神井川(東伏見橋から下野谷橋まで)

【主なイベント内容】

都立保谷高校の生徒約40名が東伏見橋から下野谷橋まで川の中を歩きながらゴミ拾いを行いました。コロナウイルス感染防止のため、マスク着用の上、密にならないよう注意しながら行いました。

イベントレポート 4

主催機関	イベント名
東亜合成株式会社 川崎工場	構内一斉清掃

【イベント概要】

敷地境界線付近、工場内通路および緑地の除草、ゴミ拾い、防液堰内の雑草抜取など。

【開催時期】

令和4年6月20日（月）

【場所】

東亜合成株式会社川崎工場

イベントレポート 5

主催機関	イベント名
株式会社日本触媒 川崎製造所	2022年度 環境大会

【イベント概要】

製造所で従業員、協力会社員を対象に環境大会を開催し、183名が参加した。

【開催時期】

令和4年6月24日（金）

【場所】

自社（千鳥工場をメイン会場として、千鳥工場と浮島工場を Teams で繋ぎ、会場を分散して開催）

【主なイベント内容】

従業員及び協力会社員に製造所の環境負荷量推移や環境関連の規制動向等について説明した。

イベントレポート 6

主催機関	イベント名
日本製鉄㈱技術開発本部	富津海岸清掃活動

【イベント概要】

日本製鉄㈱技術開発本部富津地区の勤務者から有志を募り、地元である富津市下洲海岸の清掃活動を実施しました。

【開催時期】

令和4年6月25日(土)

【場所】

富津市下洲海岸

【主なイベント内容】

日本製鉄㈱技術開発本部富津地区の勤務者72名が参加して、10時～11時まで清掃活動実施。海岸のごみが一掃され、美しい砂浜になりました。

(活動状況)



(回収されたごみ)



イベントレポート 7

主催機関	イベント名
DEXTE-K	西なぎさ発：東京里海エイド

【イベント概要】

葛西海浜公園／西なぎさにおける漂着ごみのクリーンアップ活動。

【開催時期】

令和4年7月9日（土）、7月30日（土）、8月20日（土）、
9月10日（土）、10月15日（土）、10月22（土）

【場所】

葛西海浜公園／西なぎさ

【主なイベント内容】

東京都および近郊に住む一般市民を対象に募集をおこない、葛西干潟に漂着するごみのクリーンアップ活動を実施。活動前に西なぎさの歴史やロケーション上の特異性、生息する生物や多様性の実態などの話をおこない、活動後には収集した漂着ごみを全員で確認しながら振り返りを実施した。

7月30日（土）の活動は、臨時開催でした。関東地方北部にゲリラ豪雨が連日降った後に漂着ごみがたくさん漂着したためです。

【活動成果】

・7/9（土）参加者数：47名（大人：43名、こども：4名）収集したごみ（45ℓごみ袋換算）：12袋

飲料ペットボトル：54、ビン類：14、缶類：8、危険ごみ：2、粗大ごみ：17他

・7/30（土）参加者数：28名（大人：26名、こども：2名）収集したごみ（45ℓごみ袋換算）：33袋

ペットボトル：367、ビン類：167、缶類：116、危険ごみ：10、粗大ごみ：25他

・8/20（土）参加者数：34名（大人：30名、こども：4名）収集したごみ（45ℓごみ袋換算）：24袋

飲料ペットボトル：45、ビン類：15、缶類：7、危険ごみ：8、粗大ごみ：20他

・9/10（土）参加者数：31名（大人：31名、こども：0名）収集したごみ（45ℓごみ袋換算）：6袋

飲料ペットボトル：50、ビン類：12、缶類：9、危険ごみ：5、粗大ごみ：30他

・10/15（土）参加者数：62名（大人：52名、こども：10名）収集したごみ（45ℓごみ袋換算）：10袋

飲料ペットボトル：67、ビン類：12、缶類：9、危険ごみ：6、粗大ごみ：30他

・10/22（土）参加者数：41名（大人：38名、こども：3名）収集したごみ（45ℓごみ袋換算）：7袋

飲料ペットボトル：97、ビン類：6、缶類：9、危険ごみ：5、粗大ごみ：20 他



イベントレポート 8

主催機関	イベント名
港区、お台場プラージュ 地域連携チーム	お台場プラージュ（海水浴）2022

【イベント概要】

東京 2020 大会のレガシーとして「泳げる海、お台場」の実現をめざす取組の一環として、「泳げるセーヌ」復活をめざすパリ市と連携した海水浴イベント「お台場プラージュ」を 3 年ぶりにお台場海浜公園のビーチで開催しました。

セーヌ川沿いでバカンス気分を楽しめるイベント「パリ・プラージュ」の雰囲気をお台場に再現し、パリ市や港区の東京 2020 大会での取組を PR するブースを設置しました。

台場地区の地域住民で構成する「お台場プラージュ地域連携チーム」メンバーやボランティアスタッフの協力のもと、安全・安心なイベント運営に努めました。

9 日間で、13,000 名（うち遊泳者は約 4,900 名）を超える方に来場いただきました。

【開催期間】

令和 4 年 7 月 30 日（土）～ 8 月 7 日（日）

【場所】

都立お台場海浜公園（台場一丁目 4 番）

【主催】

港区、お台場プラージュ地域連携チーム

【後援】

東京都、在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会

【協力】

パリ市、東京港埠頭株式会社、港区トリアスロン連合、青少年対策お台場地区委員会、港区教育委員会事務局、港区立小中一貫教育校お台場学園、港区立台場児童館等

【来場者数】

13,000 名（うち遊泳者は約 4,900 名）／9 日間

【広報】

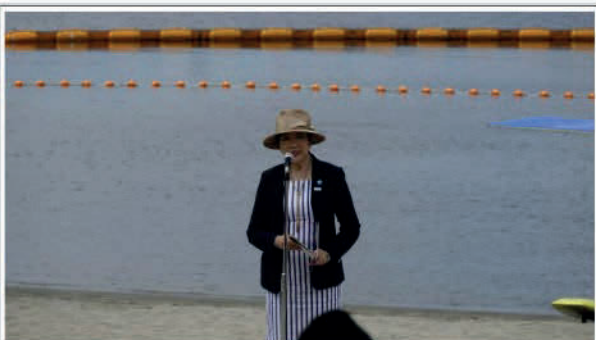
https://www.city.minato.tokyo.jp/shiba-koudaibatan/event/odaiba_plage2022.html

【お台場プラージュの様子（抜粋）】

オープニングセレモニー



武井雅昭港区長



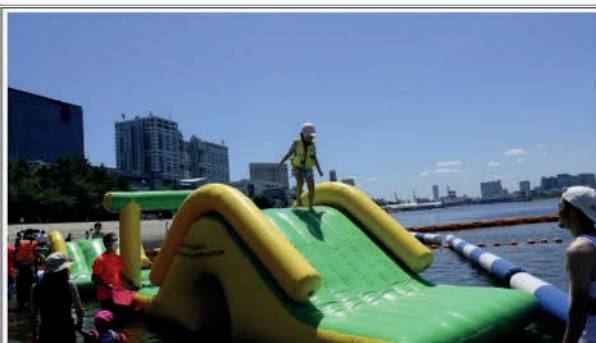
小池百合子東京都知事



フィリップ・セトン駐日フランス大使



子ども向けアトラクション



地引網体験



イベントレポート 9

主催機関	イベント名
調布市多摩川自然情報館 (運営受託事業者株式会社セルコ)	7月、8月の月別イベント多摩川の魚観察会

内容は実施報告書のとおり。

7月の月別イベント実施報告書

タイトル	多摩川の魚観察会
実施日時	令和4年7月31日（日）9時30分～12時00分
参加者数	小学生10人，大人12人
配布資料	多摩川の魚観察会（配布資料）
講師	君塚芳輝（淡水魚類研究者）
講座内容	魚の先生の解説を聞き，先生と一緒に多摩川で魚やエビをタモ網で探して，その名前を調べました。また，投網の実演を行いました。 〈採取した生き物〉アユ，オイカワ，コクチバス，スゴモロコ，スミウキゴリ，タモロコ，ヌマチチブ，マルタウグイ 全8種  タモ網の実演  投網の実演  採集の様子  採集したオイカワ
参加者の感想	【多摩川自然情報館でこれからやってみたいこと】 ・虫捕り ・爬虫類、両生類の紹介
担当解説員 （敬称略）	君塚芳輝（講師），講師付き添い三人（講師補助），竹内（全体進行・陸上監視・写真撮影），石川・鎌田（会場設置・河川内監視），福田（会場設置・採取補助），浅野（受け付け案内・写真撮影・河川内監視），紺野：情報館内（水位監視・警報確認），インターン実習生1人（監視補助他）

8月の月別イベント実施報告書

タイトル	多摩川の魚観察会
実施日時	令和4年8月11日（木・祝）9時30分～12時00分
参加者数	小学生11人，大人10人，付き添いの幼児1人
配布資料	多摩川の魚観察会（配布資料）
講師	君塚芳輝（淡水魚類研究者）
講座内容	魚の先生の解説を聞き，先生と一緒に多摩川で魚やエビをタモ網で探して，その名前を調べました。また，投網の実演を行いました。 〈採取した生き物〉アブラハヤ，アユ，ウキゴリ，オイカワ，スミウキゴリ，デメモロコ，ニゴイ，ヌマチチブ，マルタウグイ 全9種 タモ網の実演 採集の様子 採集したニゴイ
参加者の感想	【多摩川自然情報館でこれからやってみたいこと】 ・虫捕り ・爬虫類、両生類の紹介
担当解説員（敬称略）	君塚芳輝（講師），講師付き添い三人（講師補助），竹内（全体進行・陸上監視・写真撮影），石川・鎌田（会場設置・河川内監視），福田（会場設置・採取補助），浅野（受け付け案内・写真撮影・河川内監視），紺野：情報館内（水位監視・警報確認），インターン実習生2人（監視補助他）

イベントレポート 10

主催機関	イベント名
NPO 法人ふるさと東京 を考える実行委員会	海水浴体験

夏休み期間の7月17日～8月28日までの43日間、10時～16時まで葛西海浜公園西なぎさにおいて、海水浴体験を実施し、6万8千人が海水浴を楽しんだ。



イベントレポート 11

主催機関	イベント名
NPO 法人ふるさと東京 を考える実行委員会	里海まつり

夏休み期間の7月17日～8月28日までの日曜日と祝日の9日間、葛西海浜公園西なぎさにおいて、以下の表に掲げる様々な海遊びを行い、千名以上が参加した。

里海まつり参加者一覧(体験者数 ※保護者を除く)

	投網 体験 定員 30名	釣り 体験 定員 10組	生物解 説 定員 30名	巻き 体験 定員 30名	めはり 体験 定員 50名	海での泳ぎ 方教室 定員15名	スイカ 割り 定員 50名or 20名	ペカ舟 定員 50名	紙芝居 定員 30名	水辺の安 全教室 定員30名	レスキュー ボード体験 定員30名	ビーチ クリーン	石笛 演奏	カヌー 体験	バリアフ リー ビーチ	計
7月17日	44		44						20							108
7月18日							50	50	50							150
7月24日						20			50			88			3	161
7月31日	35		38	32					38							143
8月7日		10				14	20		32							76
8月11日	43		42		56											141
8月14日	43		34		52											129
8月21日		43								20	35			63		161
8月28日							17	22				37	40			116
計	165	53	158	32	108	34	87	72	190	20	35	125	40	63	3	1185

イベントレポート 12

主催機関	イベント名
東京湾大感謝祭実行委員会	東京湾大感謝祭 2022

【イベント概要】

東京湾大感謝祭は、市民や企業、団体と国や自治体がともに、海の再生やライフスタイルシフトのあり方を考え、行動するきっかけを提供する場として、2013 年秋に初開催されました。その後、横浜赤レンガ倉庫とその周辺海上を舞台に開催され、多くの市民や企業、団体、国、自治体の関係者が参加しているイベントです。

東京湾大感謝祭 2022 は、3 年ぶりの対面開催となりました。東京湾再生のための行動計画改定に向けて「海にいいこと、やさしいこと、はじめよう！」をテーマに、ステージでは全 10 プログラムを、展示企画では全 3 企画を、会場イベントでは全 3 プログラムを実施しました。

【開催期間】

令和 4 年 10 月 15 日（土）、16 日（日）

【場所】

横浜港大さん橋ホールおよび周辺海上

【主催】

東京湾大感謝祭実行委員会

【共催】

国土交通省関東地方整備局、横浜市、東京湾再生官民連携フォーラム、（一財）みなと総合研究財団、東京湾の環境をよくするために行動する会、横浜港ポート天国推進連絡協議会

【特別協力】 環境省

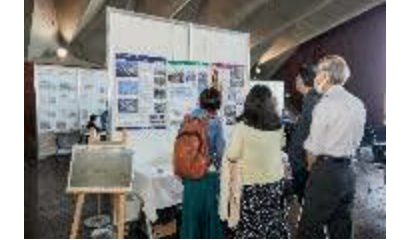
【後援】 水産庁

【来場者数】

6,572 名／2 日間

【取材】

16 社（テレビ 3 社、ラジオ 2 社、新聞 4 社、雑誌 2 社、その他 5 社）





イベントレポート 13

主催機関	イベント名
習志野の海を守る会 (NPO 法人さざなみ)	習志野市護岸の清掃活動とゴミの種類調査

【概要】

習志野の海を守る会（NPO 法人さざなみ）スタッフ及び地域住民約 40 名により海辺の清掃活動、ゴミ調査を行いました。

【開催時期】

令和 4 年 11 月 20 日（日）午前

【場所】

習志野市茜浜海浜公園周辺・親水護岸

【内容】

習志野の親水護岸に漂着した海ゴミおよび陸からの廃棄ごみを回収しました。同時にごみの種類についても分析し、当会の経時的な調査に必要なデータを抽出しました。調査結果は東京湾大感謝祭や国際キャンペーンなどへ出展・提出させて頂いております。



11. 用語解説

表 11-1 水質指標について

項目	説明	環境との関連
溶存酸素量 (DO)	水中に溶けている酸素量のこと で、酸素供給（大気からの溶解や植物プランクトンを含む藻類による光合成など）と消費（有機物の分解、生物の呼吸など）や移流・拡散のバランスを示します。水中に溶ける酸素量は水温が高くなると減少し、水温 20℃の時に約 9 mg/L で飽和状態となります。底層溶存酸素量（底層 DO）とは海底から 1 m 以内の底層で測定された溶存酸素量のことです。	貧酸素状態が続くと、好気性微生物（酸素を必要とする生物）にかわって嫌気性微生物（酸素を必要としない生物）が増殖するようになります。嫌気性微生物の活動により有機物の腐敗（還元・嫌氣的分解）が起こり、メタンやアンモニア、有害な硫化水素が発生し、悪臭の原因となります。また、溶存酸素濃度が 3 mg/L を切ると魚類を含めた多くの底生生物は生息できなくなり、生物多様性が低下します。
塩分	海水 1 kg 中に溶解している塩化ナトリウムなどを主とした固形物質の全量に相当します（絶対塩分）。海水には非常に多くの物質が溶け込んでおり、絶対塩分を直接測定することは困難なので、精度良く測定できる海水の電気伝導度から換算式を用いて仮定の塩分（実用塩分）を求める方法が一般的です。 ※単位は psu（実用塩分）	海面を通じての降水量と蒸発量の差や、河川水等による淡水流入の影響で変化します。低塩分の海水は密度が小さく、相対的に軽いため、表層に低塩分水が分布すると、底層と表層の海水が混ざりにくくなります。こうなると底層の水へ酸素が供給されにくくなることから底層の貧酸素化に影響します。
①透明度 ②透視度	どちらも水の清濁を表現するための指標です。①は直径 30 cm の白色円盤（セッキ板）を水中に沈め、水面から肉眼で確認できる限界の深さをいい、②は透明な管に試料を入れて上部から透視し、白色の標識盤に書かれた印が初めて明らかに確認できるときの水層の高さをいいます。	①、②ともに値が大きいほど水が澄んでいることを表します。主に①は海や湖沼、②は河川や排水の調査等で使用されます。一般的に、水中に浮遊物質や生物が多くなると値は低下します。ダイビングにおいても透視度という用語を用いますが、これは水平方向に見通せる距離を表したものです。

項目	説明	環境との関連
化学的 酸素 要求量 (COD)	水中の有機物を酸化剤で化学的に酸化する際に消費される酸化剤の量を酸素量に換算したもので、水中の有機物の分解に必要な酸素の量を表します。	湖沼・海域などの停滞性水域や藻類の繁殖する水域の有機汚濁の指標に用いられます。CODが高い状態が続くと、生物生息環境の多様性が低下し、魚類を含めた底生生物は生息できなくなります。
全窒素 (T-N)	全窒素・全リンは、湖沼や内湾などの閉鎖性水域の富栄養化の指標として用いられています。水中では、窒素・リンは、硝酸・リン酸イオンなどの無機イオンや含窒素・含リン有機物として存在しています。	窒素やリンは、植物の生育に不可欠なものです。過剰な窒素やリンが内湾や湖に流入すると富栄養化が進み、植物プランクトンの異常増殖を引き起こすことがあります。そのため、湖沼におけるアオコや淡水赤潮の発生、内湾における赤潮発生の直接の原因となります。
全リン (T-P)		
クロロ フィル- <i>a</i>		
	全ての藻類に含まれる光合成色素であることから、水中の植物プランクトン量の指標として用いられます。	

○水質汚濁現象について

・赤潮（水質指標キーワード：全窒素、全リン、クロロフィル-*a*）

水中に生存している植物プランクトン等が異常に増殖し、水の色が著しく変わる現象です。水の色は原因となるプランクトンの種によって異なり、赤褐色、茶褐色などの色を呈します。赤潮が発生する背景としては、窒素やリンの流入負荷量増加に伴う水域の富栄養化が原因のひとつと指摘されています。大量に発生した赤潮生物は死滅後、微生物によって分解される過程で大量の酸素を消費するため、貧酸素水塊の形成要因のひとつとされています。この他にも、毒性を持つプランクトンによる赤潮は、その水域の生物に直接的に被害を与えることがあります。



写真：千葉港内（平成15年8月11日）



写真：隅田川河口部（平成22年7月5日）

・青潮（水質指標キーワード：DO）

富栄養化や有機物による水質汚濁の進んだ内海の底層では、大量発生したプランクトンの死骸が微生物に分解される過程で酸素が消費され、貧酸素水塊が形成されます。貧酸素水塊中では、底質中の硫黄化合物の還元が促進され、次第に水中への硫化水素の蓄積が進みます。このような水塊が風などによって表層まで湧き上がると、含まれていた硫化水素が酸素と反応して硫黄のコロイドを大量に生成します。コロイドは、太陽光を反射して海水を乳青色や乳白色に変色させます。青潮も赤潮と同様に水生生物の大量死を引き起こすなど、生物に被害を与えます。東京湾ではアサリの大量死が起こることもあります。



写真：羽田沖（平成16年8月18日）



写真：千葉港（平成23年8月30日）

・貧酸素水塊（水質指標キーワード：DO）

生物に影響を及ぼすほど酸素の濃度が低くなった水塊のことです。境界値についてはさまざまな指標がありますが、水産用水基準においては 4.3 mg/L が「底生生物の生息状況に変化を引き起こす臨界濃度」とされています。また、環境省が告示する生活環境の保全に関する環境基準において、生息段階において貧酸素耐性の低い水生生物が生息できる場を保全・再生する水域又は再生産段階において貧酸素耐性の低い水生生物が再生産できる場を保全・再生する水域の基準は 4.0 mg/L 以上、生息段階において貧酸素耐性の低い水生生物を除き、水生生物が生息できる場を保全・再生する水域又は再生産段階において貧酸素耐性の低い水生生物を除き、水生生物が再生産できる場を保全・再生する水域は 3.0 mg/L 以上とされています（詳しくは、<https://www.env.go.jp/kijun/mizu.html> をご覧ください）。

1 2. 問い合わせ先等

(1) 問い合わせ先

本資料の内容や東京湾環境一斉調査についてのお問い合わせ・ご意見は、下記連絡先までお願いします。

- 東京湾再生推進会議モニタリング分科会事務局
海上保安庁海洋情報部大洋調査課 03-3595-3635
環境省水・大気環境局水環境課閉鎖性海域対策室 03-5521-8319
- 九都県市首脳会議環境問題対策委員会水質改善専門部会
令和4年度幹事 埼玉県環境部水環境課 048-830-3081
- 東京湾岸自治体環境保全会議
令和4年度幹事 千葉県環境生活部水質保全課 043-223-3816
- 東京湾再生官民連携フォーラム
東京湾環境モニタリングの推進プロジェクトチーム 03-5157-5235

(2) 情報掲載先

東京湾環境一斉調査の報告書は東京湾環境一斉調査 WEB サイトに掲載しています。また、調査結果を分かり易くまとめた「東京湾環境 MAP」を国土技術政策総合研究所 WEB サイトにて掲載しています。

東京湾環境一斉調査の観測データは、東京湾環境情報センターから入手することができます。

- 東京湾環境一斉調査 WEB サイト
https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB_Renaissance/Monitoring/General_survey/index.htm
- 国土技術政策総合研究所 WEB サイト（東京湾環境マップと事例集に関する情報）
<http://www.ysk.nilim.go.jp/kakubu/engan/kaiyou/kenkyu/map-sympo.html>
- 東京湾環境情報センター（国土交通省関東地方整備局港湾空港部横浜港湾空港技術調査事務所）
<https://www.tbeic.go.jp/>

(参考)

- 東京湾再生推進会議 WEB サイト
https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB_Renaissance/index.html